

第1章 はじめに	1-1
はじめに.....	1-1
必要なシステム環境.....	1-2
第2章 導入準備	2-1
システムのインストール.....	2-2
起動.....	2-7
基本項目の設定.....	2-8
第3章 シミュレーション	3-1
太陽光パネルマスタ設定.....	3-22
副資材項目マスタ、副資材マスタ設定.....	3-24
労務費、見積りマスタ設定.....	3-30
第4章 作図	4-1
物件情報登録.....	4-5
屋根伏図の作成.....	4-8
柱芯の作成.....	4-10
軒・袖の指定.....	4-16
屋根線の修正.....	4-17
面の指定.....	4-24
太陽光モジュールの設置.....	4-29
系統設定.....	4-39
積算.....	4-40
帳票編集.....	4-41
帳票印刷.....	4-47
物件の保存.....	4-54
過去の物件を開く.....	4-55
物件の書き出し・読込.....	4-56
サンプル図面.....	4-57
マスタ・データの保存.....	4-61
マスタ・データの回復.....	4-62

第1章 はじめに

必要なシステム環境と商品構成

1. コンピュータ本体
Windows が動作しているパーソナルコンピュータ
2. 対応 OS（基本ソフトウェア）
Windows XP/Vista/7 をサポート
- 3.
4. メモリー
1GB 以上必要（推奨 2GB 以上）です。
5. ディスプレイ
解像度 1,024×768 以上が表示可能なカラーディスプレイ。
6. ハードディスク容量
1GB 以上の空き容量のあるハードディスク。
7. プリンター
Windows XP/Vista/7 で使用できるもの。
※プリンタドライバの制限等の理由により正常に動作しない場合があります。
8. マウス
Windows XP/Vista/7 で使用可能なマウス。

商品構成

■ セットアップCD-ROM	……	1 セット
■ マニュアル	(本書) ……	1 部
	使用許諾契約書 ……	1 枚

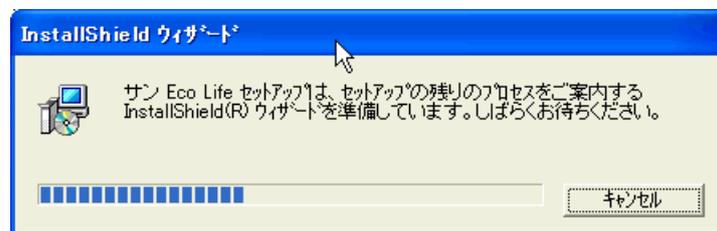
第2章 導入準備

システムのインストール.....	2-2
起動.....	2-8
終了.....	2-8
基本項目の設定.....	2-9

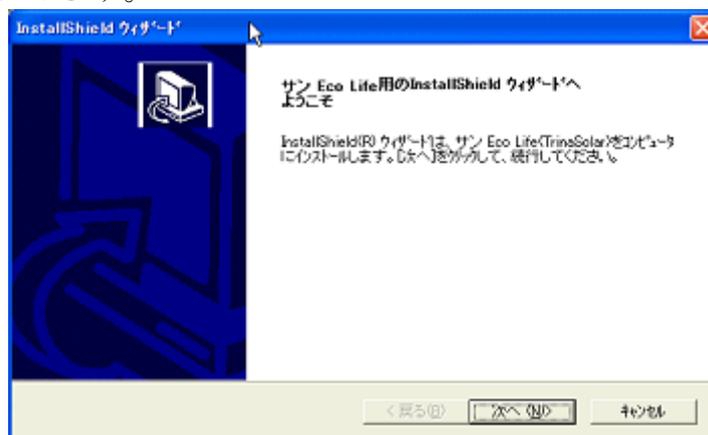
インストール

サン Eco Life を使用するにはパソコンへの導入（インストール）が必要です。インストール手順は以下の通りです。

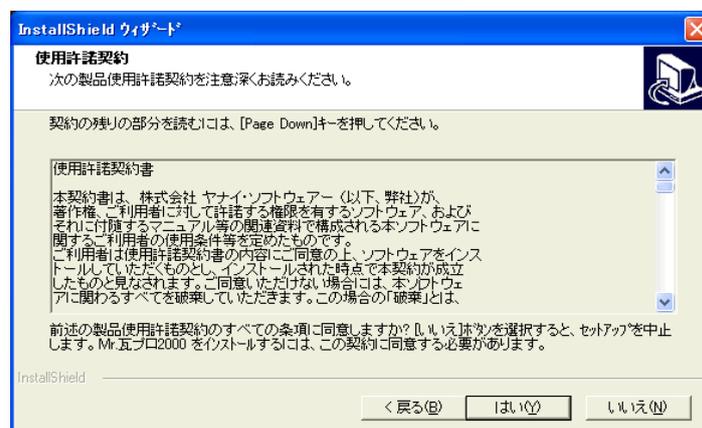
1. パソコンの電源を入れます。
2. パソコンが起動後 CD をパソコン本体にセットします。
3. しばらくすると「InstallShield ウィザード」が出て自動的にインストールプログラムが起動します。



4. 「セットアップ」画面が表示されますので [次へ (N)] をマウスで左クリックします。



5. 「使用許諾契約」画面が表示されますので、内容を御確認頂き、ご同意戴ける場合に [はい (Y)] をマウスで左クリックします。



6. 「ユーザーの情報」を入力し登録終了後に「次へ (N)」をマウスで左クリックします。

ユーザーの情報

名前、会社名、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックしてください

名前(N):

会社名(C):

郵便番号(P):

住所(A):

TEL(T):

FAX(F):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. 下記の画面が表示されますので、「シリアル番号通知書」に記載のシリアルナンバーを入力して「次へ (N)」をマウス左クリックします。

シリアル番号の入力

製品シリアル番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックしてください

シリアル番号(S): - -

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. 「登録確認」画面が表示されますので内容を確認し、正しければ「はい (Y)」をマウスで左クリックします。

登録確認

次の登録情報が入力されました:

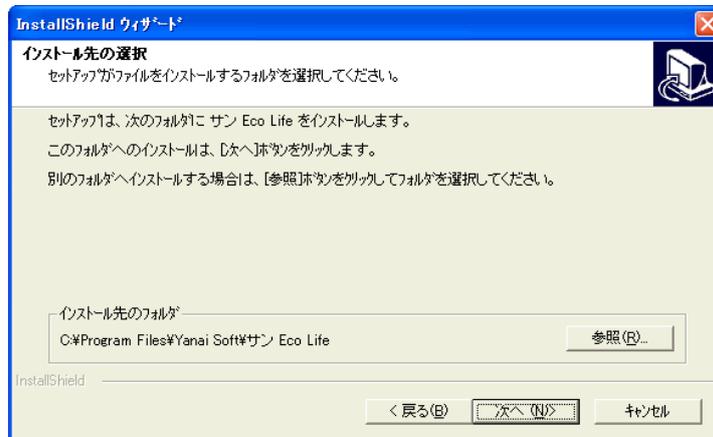
名前: 名前

会社: Upsolar Japan 株式会社

シリアル番号: *****

この登録情報でよろしいですか?

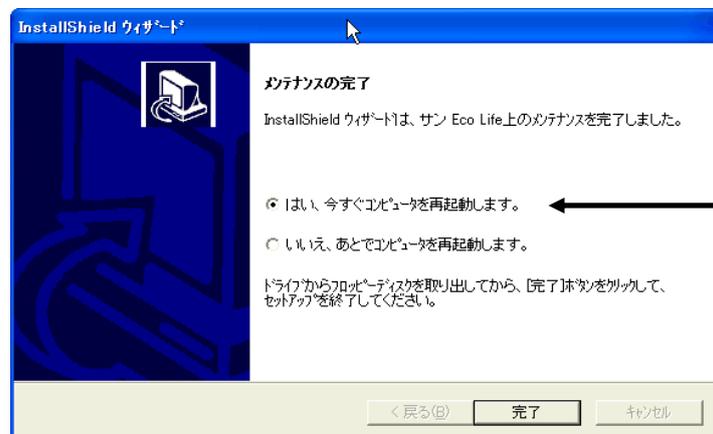
9. 「セットアップ」画面が表示されますので、[次へ (N)] をマウスで左クリックします。



10. 「プログラムフォルダの選択」画面が表示され「プログラムフォルダ」項目に「YanaiSoft」と表示されますので、[次へ (N)] をクリックします。



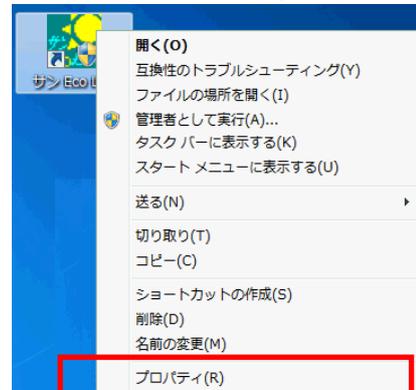
11. 「セットアップステータス」画面に切り換わり、セットアップを開始します。
 12. 「メンテナンスの完了」画面が出ますので、「今すぐコンピュータを再起動します。」が付いているのを確認して、[完了] をマウスで左クリックします。



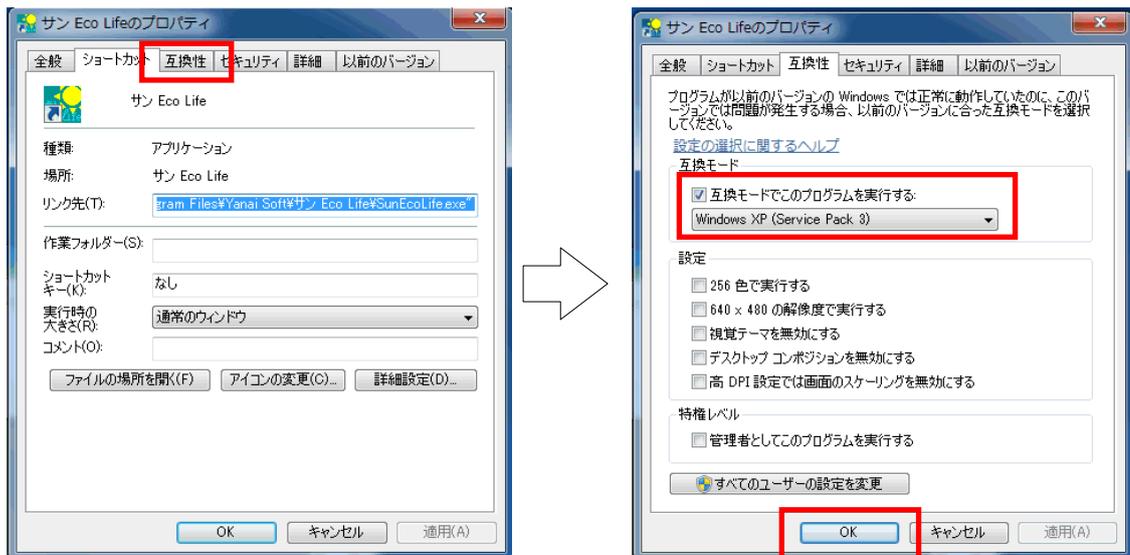
以上で新規インストール作業は終了です

Windows 7/Vista をご利用のお客様は以下に進んでください。

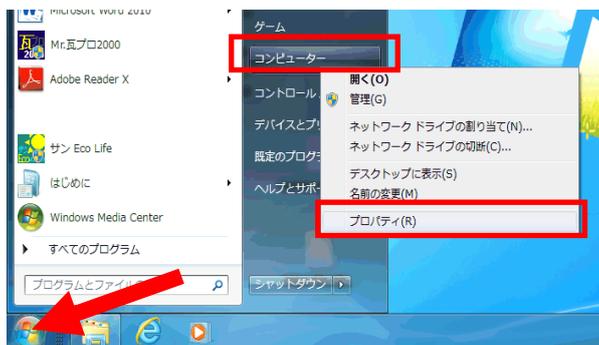
13. インストール後にアイコンがデスクトップ上に表示されます。アイコンの上で (右) クリックし「プロパティ」を選択します。



14. 「プロパティ」の画面が表示されますので、「互換性」を選択し「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れ WindowsXP (Service Pack3) を選択します。次に OK ボタンを押します。

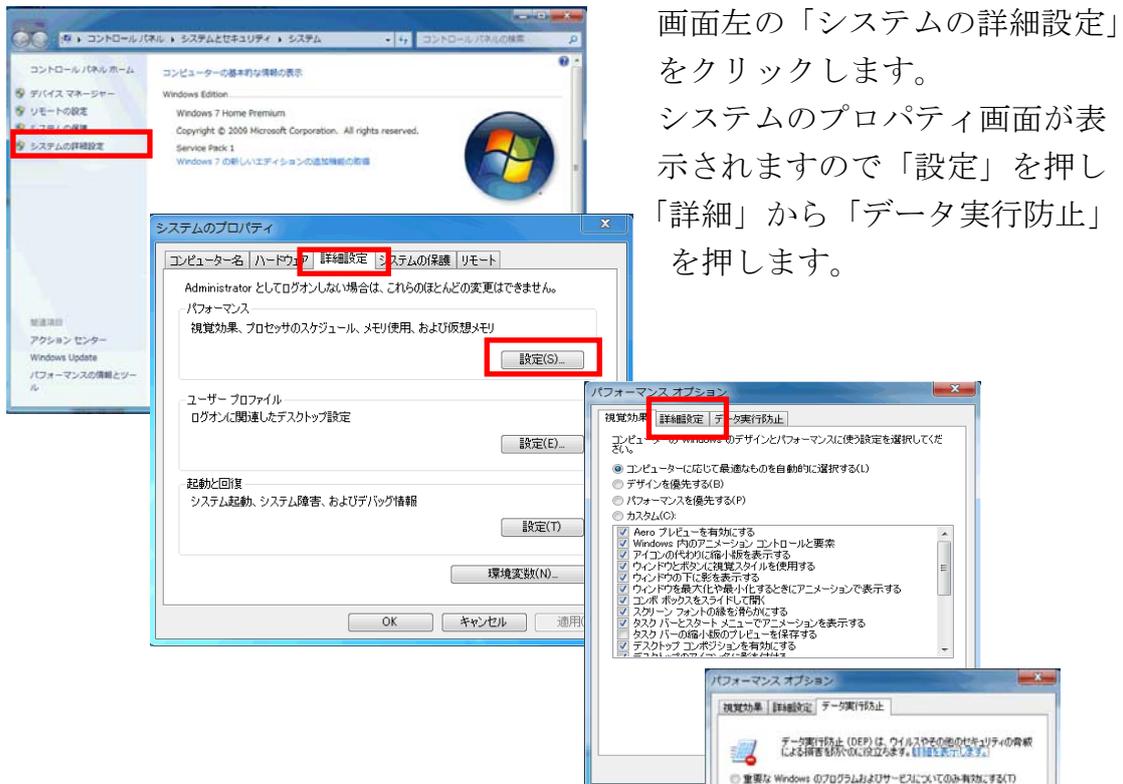


15. 画面左下の「スタート」をクリックします。



メニューが表示されます「コンピューター」の上で右クリックし「プロパティ」を選択します。

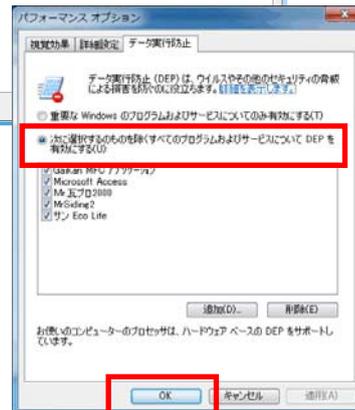
16. 「コンピューターの基本的な情報の表示」が表示されます。



画面左の「システムの詳細設定」をクリックします。

システムのプロパティ画面が表示されますので「設定」を押し「詳細」から「データ実行防止」を押します。

17. 「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」を選択し「追加」ボタンを選びます。



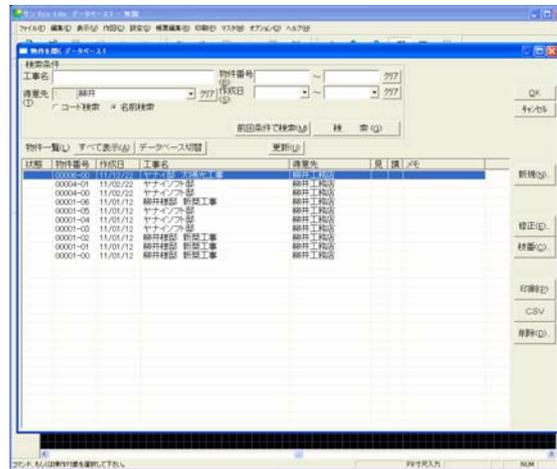
18. ファイルを開くから

C:\Program Files\Yanai Soft\サン Eco Life(****) \SunEcoLife****.exe
を追加します

19. 以上で、設定の変更は完了です。「OK」ボタンを押し画面を閉じます。

起動

起動すると、下図のような画面が表示されます。



下記の①～③の何らかの操作を行なうことで、終了する事ができます。



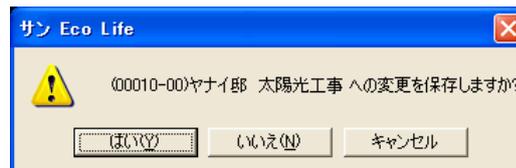
- ① ウィンドウの左上にあるアイコンをクリックして、表示されたメニューの[サン Eco Life(****)](X)をクリックする。

または、①に見えるアイコン  をダブルクリックします。

- ② ウィンドウの右上にある終了ボタン  をクリックします。



- ③ メインメニューの [ファイル(F)] をクリックし、[サン Eco Life (X)] をクリックします。
- ④ 終了前に [上書き保存] を実行していないと下記の物件の保存を確認する画面が表示されます。

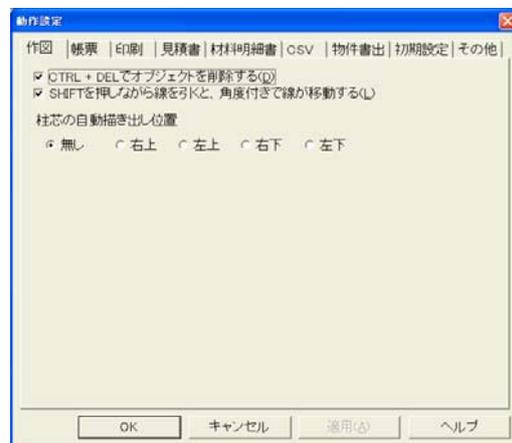
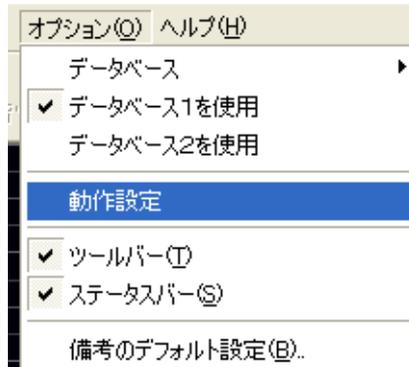


通常は【はい(Y)】ボタンをクリックし、データを保存して終了します。
保存する必要が無い場合は【いいえ(N)】ボタンをクリックすると保存せずに終了します。

基本項目の設定

下記の内容をあらかじめ登録・設定する必要が有ります。次項以降に設定方法を説明します。

「オプション (O)」を左クリックし、動作設定を選択します。
動作設定画面が表示されますので、該当する項目をここで入力設定します。



(1) 初期設定

- 基準物件番号
物件一覧表で表示される積算番号の開始番号を指定します。



・システム変数登録

	変 数	内 容
1	{自社名}	Upsolar Japan 株式会社
2	{自社タイトル}	
3	{自社〒}	105-6224
4	{自社住所1}	東京都港区愛宕2丁目5-1
5	{自社住所2}	愛宕グリーンヒルズMORIタワー24階
6	{自社TEL}	03-5408-8018
7	{自社TEL2}	
8	{自社FAX}	03-5408-8017
9	{自社HOMEPAGE}	www.upsolar.co.jp
10	{自社EMAIL}	
11	{自社名2}	
12	{自社2〒}	
13	{自社2住所1}	
14	{自社2住所2}	
15	{自社2TEL}	
16	{自社2TEL2}	
17	{自社2FAX}	
18	{自社2HOMEPAGE}	

見積書に表示される自社の情報を設定します。

設定する項目は以下の通りです。

No.	変数名	説明	備考
1	自社名	会社名	見積書等に表示
2	自社タイトル	タイトル	見積書等に表示
3	自社〒	郵便番号	見積書等に表示
4	自社住所 1	住所 1 行目	見積書等に表示
5	自社住所 2	住所 2 行目	見積書等に表示
6	自社 TEL	電話番号	見積書等に表示
7	自社 TEL2	電話番号 2	見積書等に表示
8	自社 FAX	FAX 番号	見積書等に表示
9	自社 HOMEPAGE	ホームページ URL	見積書等に表示
10	自社 EMAIL	メールアドレス	見積書等に表示
11	自社名 2	会社名	
12	自社 2〒	郵便番号	
13	自社 2 住所 1	住所 1 行目	
14	自社 2 住所 2	住所 2 行目	
15	自社 2TEL1	電話番号 1	
16	自社 2TEL2	電話番号 2	
17	自社 2FAX	FAX 番号	
18	自社 2HOMEPAGE	ホームページ URL	
19	自社 2EMAIL	メールアドレス	

No.	変数名	説明	備考
20	見積受渡期限	受け渡し期限	見積書にて表示
21	見積有効期限	有効期限	見積書にて表示
22	見積支払条件	支払い条件	見積書にて表示
23	発注受渡期限	受け渡し期限	発注書にて表示
24	発注有効期限	有効期限	発注書にて表示
25	発注支払条件	支払い条件	発注書にて表示
26	搬入車単位	現在使用していません	
27	振込銀行 1	取引銀行名 1	
28	振込支店 1	支店名 1	
29	口座番号 1	口座番号 1	
30	振込銀行 2	取引銀行名 2	
31	振込支店 2	支店名 2	
32	口座番号 2	口座番号 2	
33	自社ロゴ U	自社ロゴファイル名設定	見積書で使用
34	自社ロゴ L	自社ロゴファイル名設定	見積書で使用
35	自社ロゴ U2	自社ロゴファイル名設定	
36	自社ロゴ L2	自社ロゴファイル名設定	

- ・ 勾配区分の設定
勾配区分変数の勾配範囲設定を行います

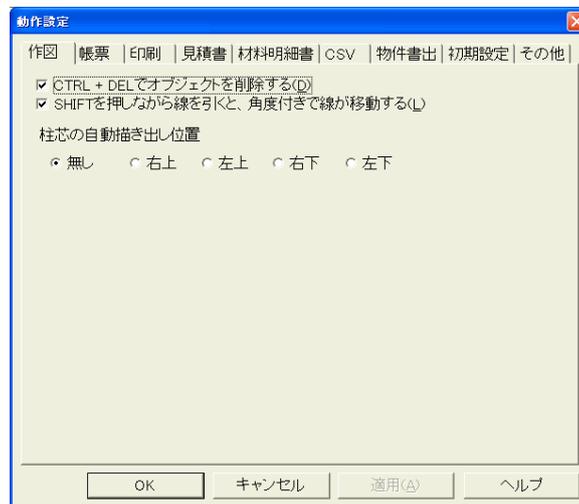


設定する内容は以下の通りです。

名称	説明	備考
コード	このコードの内容で各マスタに設定されている計算式で積算をします 勾配区分[1] 勾配区分[2]	マスタの計算式で使用
勾配区分名称	区分名称の入力	
勾配 (以上・未満)	勾配の範囲を設定します 01 0.00 ~ 6.00 寸 02 6.00 ~ 7.00 寸	

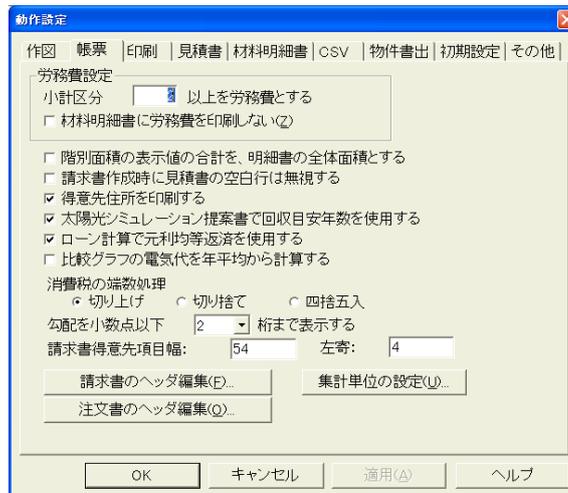
(2) 作図

- ・屋根モードでの作図設定を行います。



名称	説明
CTRL+DEL で線の削除を行う	屋根モードで線の削除を行う時に CTRL+DEL で線の削除機能の有無を設定します。
SHIFT キーを押しながら線を引くと角度付で線が移動する	SHIFT キーを押しながら線を引くと角度付で線が移動します
柱芯の自動書き出し位置	柱芯の作図時に最初の開始位置を設定します

(4) 帳票



- 各帳票の印刷設定を行います。

名称	説明
労務費設定	設定された小計区分以上を労務費とします 労務費の表示有無を設定します
階別面積の表示値の合計を明細書の全体面積とする。	階別面積表示は端数処理により全体の面積と相違が出る場合がありますので強制的に合せる機能です
請求書作成時に見積書の空白行は無視する	請求書の作成時に見積書での空白行は無視します。
太陽光シミュレーション提案書で回収目安年数を使用する	太陽光シミュレーション回収目安年数を使用する。
ローン計算で元利均等返済を使用する	ローン計算で元利均等返済を使用する。
比較グラフの電気代を年平均から計算する	比較グラフの電気代を年間平均金額から計算する。
消費税の端数処理	消費税の小数以下の端数処理を設定します
集計単位の設定	単位ごとの集計を行います。

請求書ヘッダ編集

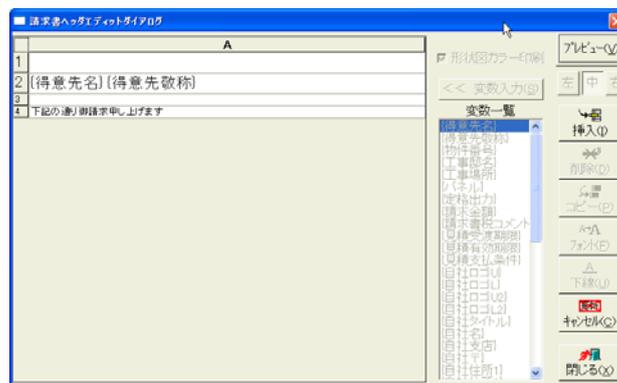
請求書ヘッダを押すと下記画面が表示されます。
請求書印刷時のヘッダ修正変更を行います。



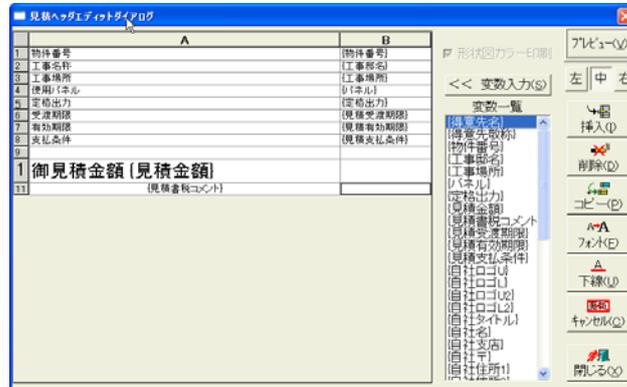
タイトルの設定変更画面



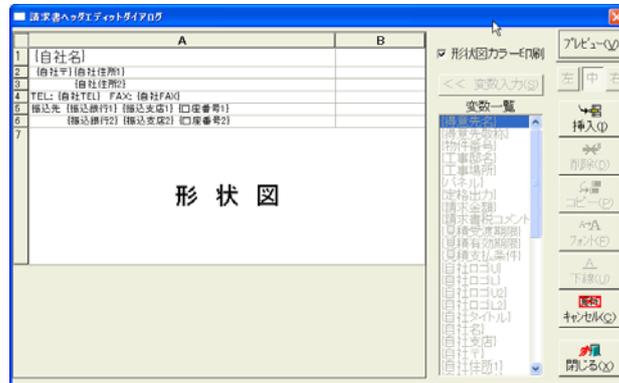
得意先名称の設定変更画面



見積り内容の設定変更画面

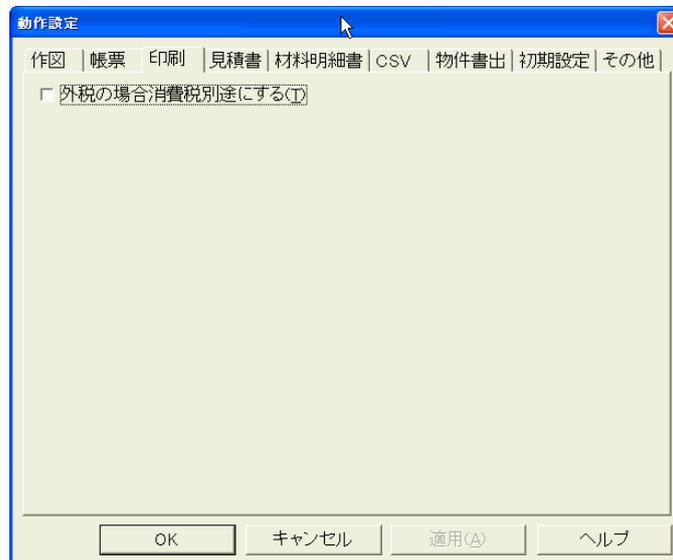


自社情報の設定変更画面



(8) 印刷

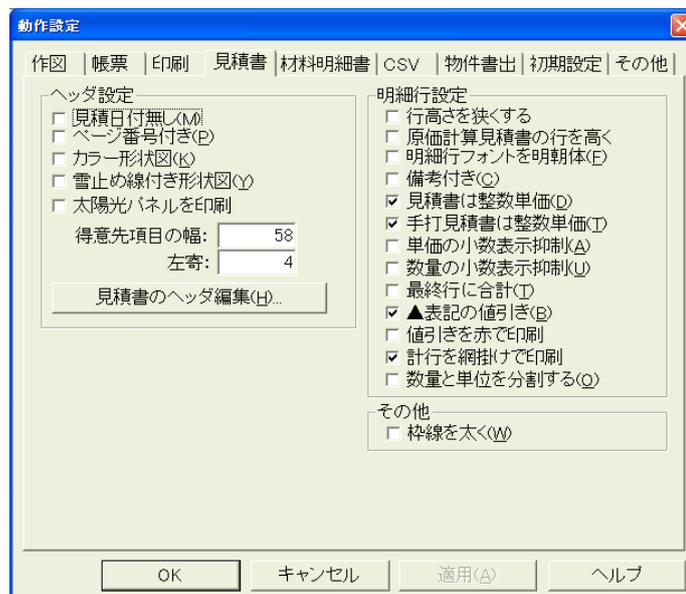
- ・ 税設定を変更します。



名称	説明
外税の場合消費税別途にする	印刷時、外税の場合に消費税別途にする

(9) 見積書

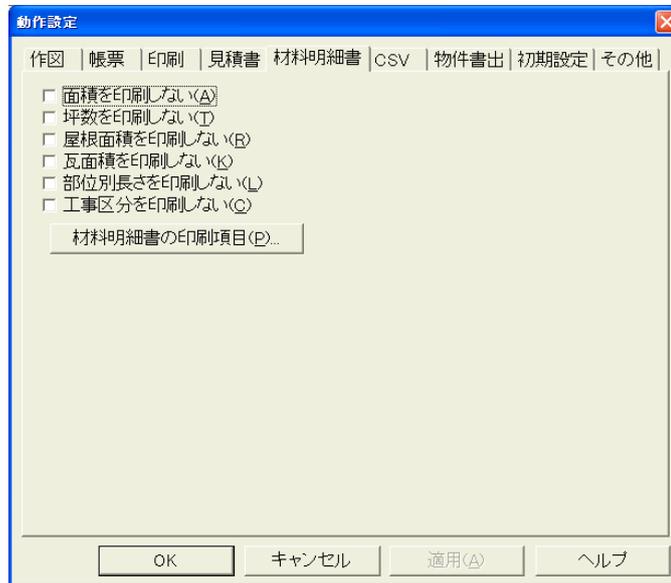
- ・ 作成する見積書の出力内容を設定します。



名称	説明
ヘッダ編集	見積書のヘッダ編集で自社名、住所等の編集、バランス設定を行います
明細行設定	見積書の明細行の各種調整を行います
その他	印刷時の罫線、旧タイプ（数量と単位の間罫線あり）の見積を印刷する場合に設定します

(10) 材料明細書

- ・材料明細書で表示する項目の設定をおこないます。

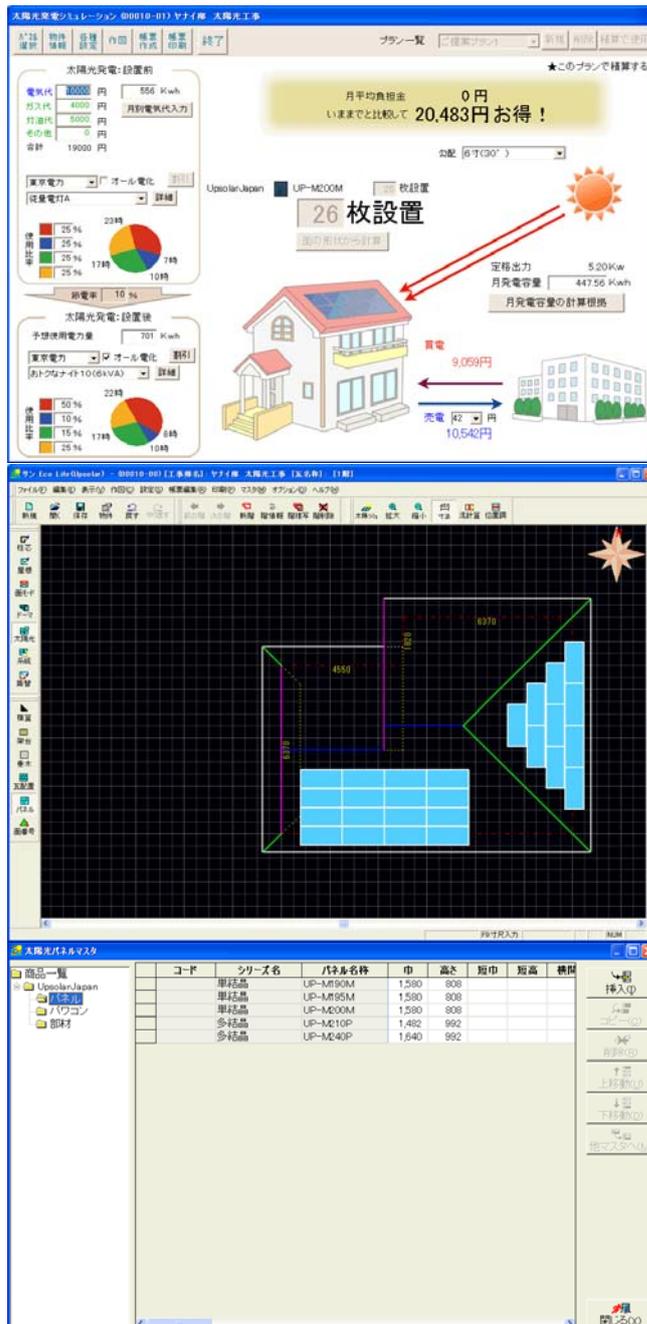


名称	説明
面積を印刷しない	材料明細書に面積を印刷しません
坪数を印刷しない	材料明細書に坪数を印刷しません
屋根面積を印刷しない	材料明細書に屋根面積を印刷しません
瓦面積を印刷しない	材料明細書に瓦面積を印刷しません
部位別長さを印刷しない	材料明細書に長さを印刷しません
材料明細書の印刷項目	材料明細書に表示する部位の項目を設定します 2行×11列（A～K列）、最大22種類の部位の項目を登録できます。「材料明細」画面で、部位名称（例：本棟）を表示しているところをクリックすると、部位一覧が出て変更できます。不要な項目については、一覧から「無し」を選択することにより表示しなくなります

第3章シミュレーション

(1) 太陽光発電システム

このシステムは大きく分類するとシミュレーション、積算、パネルマスタの3つで構成されています。



①太陽光発電シミュレーション
お客様から聞き取りを行い、

- ・現在支払っている光熱費
- ・電力会社との契約プラン
- ・設置するモジュールの種類

希望発電量などの情報を入力することにより、月々の電気代がどのくらいになるかのシミュレーションができます。

②太陽光モジュールの積算

お客様の家の屋根形状図を入力し

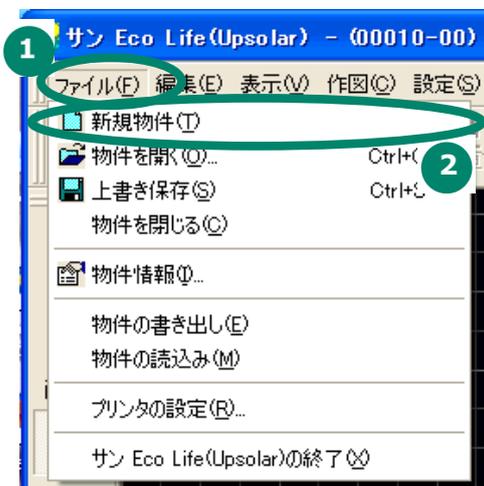
- ・設置可能なモジュールの枚数
- ・部材の拾い出し
- ・見積書の作成

を積算します。

③太陽光パネルマスタ

メーカー、パネル名称、サイズ、単価などが設定されています。

(1) - 1 操作手順



1 メニュー（画面左上）より「ファイル」を押します。

2 「ファイル」メニュー内にある「新規物件」を選択します。

3 物件情報の画面が表示されますので、得意先、納入先、工事邸名、工事場所、設置住所の必要事項を入力します。

4 屋根の基本情報を入力します。屋根形状、勾配、軒出、袖出、瓦名称を入力し、自社名表示方法を選択します。

- 5 物件情報の登録画面が表示されますので、《副資材》、《労務費》、《見積》の項目を選択します。

各項目の設定が終わったら、「OK」ボタンを押します。

ここまでの作業で、物件の情報登録項目の設定が完了です。
この部分で入力・設定した内容は後からでも変更が可能となっています。

さあ、それではいよいよシミュレーション画面へと移ります。



(1) - 2 太陽光発電シミュレーションの操作

太陽光発電シミュレーションの画面が表示されますので、次の手順で操作を行います



① お客様から聞き取りをした電気代などの光熱費を入力します。

② 月平均使用電力を入力します。電気代から自動計算されます。

③ 太陽光設置前の電力会社・契約プランと設置後の契約プラン設定を行います。電力契約プランなどは電力会社から送られてくる請求書を参考にしてください。また、ここにある「詳細」ボタンを押すと、設定されている契約プランの詳細が表示されてきます

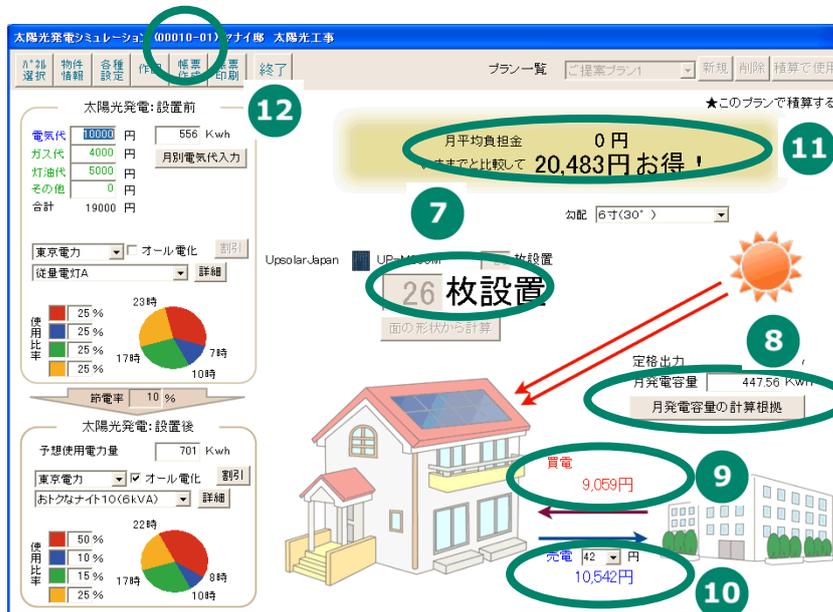
④ 次に設置予定の太陽光モジュールを設定します。「パネル選択」ボタンを左クリックすると選択用のウインドウが表示されてきます。



⑤ メーカーを選び、シリーズを選択します。

⑥ 選択が終わったら『OK』ボタンを左クリックします。ウインドウが閉じ、シミュレーション画面に戻ります。

ここまでの作業が終了すると、月の使用電力量に相当する発電量のモジュール枚数が自動的に算出されます。



7 屋根に設置される太陽光モジュールの枚数を設定します。

8 設定したモジュールの発電容量が表示されます。ここにある「月発電容量の計算根拠」ボタンを押すと、発電容量の計算方法が確認できます。

- 9 月に電力会社から買う電気代が表示されます。
- 10 月に電力会社に売る電気代が表示されます。
- 11 月の実質の電気代が表示され、あわせて、今までの電気代と比較してどのくらいお得になるかが分かるようになっています。



12 設定条件に納得がいったら、計算をさせてみましょう。「帳票作成」ボタンを押します。

13 「帳票作成」メニュー内にある「積算」ボタンを押します。



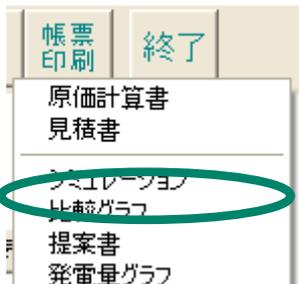
積算の確認をするメッセージが出てくるので「OK」ボタンを押します。シミュレーション画面が消え、計算後、再びシミュレーション画面が表示されてきます。



積算が終了した段階で、各帳票の作成も完了しています。

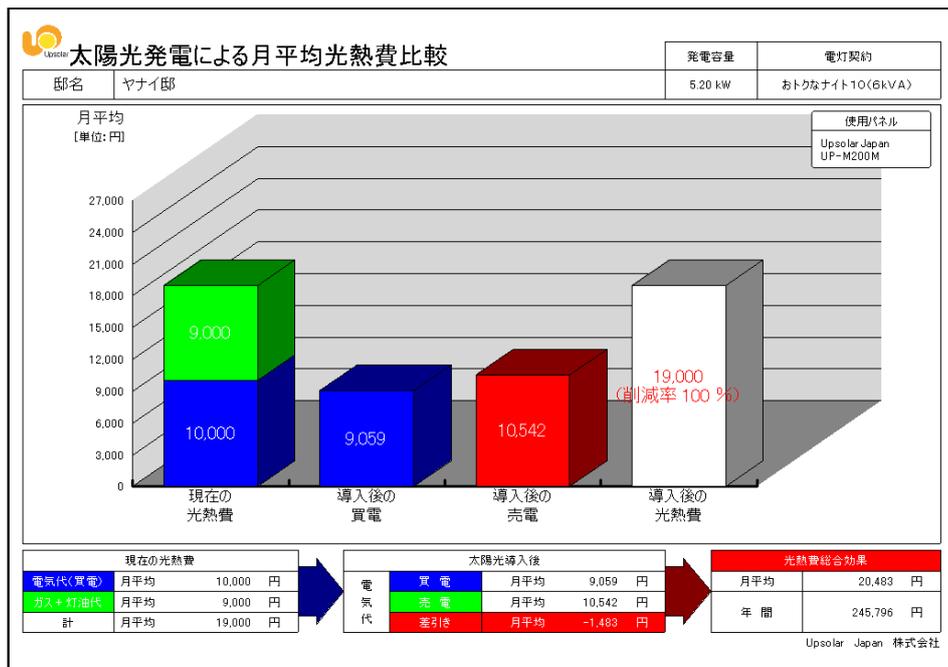
必要な帳票を印刷してみましょう。

14 「帳票印刷」ボタンを押します。

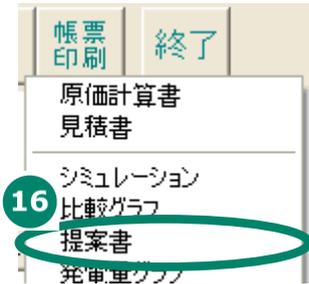


現在の光熱費と太陽光モジュールを設置後の光熱費の比較を示したグラフを印刷してみましょう。

15 「帳票印刷」メニュー内の「比較グラフ」を押します。



次に、提案書を印刷してみましよう。



16 「帳票印刷」メニュー内の「提案書」を押します。



太陽光システムの見積金額、エコキュート・IHクッキングの金額などを入力・修正したい場合は次のような方法で行います。

まず、太陽光システムの見積金額を修正してみましよう。

ヤナイ邸

東京電力 おトクなナイト10(6kVA)

エネルギー《創造生活》のご提案

導入検討シミュレーション



太陽光パネル枚数<単結晶>

UP-M200M	26枚

発電容量

定格出力	5.20 kW
発電容量	448kwh/月

給湯タンク

給湯負荷	0.0kwh/月
タンク容量	0リットル
消費電力	0.0kw

IHクッキングヒーター

負荷	0.0kwh/月
----	----------

時間帯による電力使用割合

基本料金		買電
8:00	80kwまで	23.87
	200kwまで	50% 30.74
~ 22:00	200kw以上	32.48
	50%	9.48
売電		42.00

現在の光熱費

月平均消費電力量	556kwh
① 電気代	10,000円
② ガス代	4,000円
③ 灯油代	5,000円
④ その他	円
⑤ 光熱費合計	19,000円

提案プラン導入後の光熱費試算(予想電力 701kwh)

買電	9,059円
売電(42円)	10,542円
⑥ 差引	-1,483円
⑦ 削減効果	⑤-⑥ 20,483円
⑧ 光熱費合計	-1,483円

⑧光熱費合計は、⑤と同じになります。

機器見積金額

ア	2,625,000円
イ	(税込) 300,000円
ロ	(税込) 150,000円
国補助金	156,000円
県補助金	156,000円
市町村補助金	150,000円
その他	
支払い合計金額(税込)	2,153,000円

お支払いプラン例(支払い回数 180回)

⑨ローン支払例(金利2.50%)	月々 7,600円
回収年数目安	9.7年
⑩実質負担金額	-12,883円

⑩実質負担金額は、⑧-⑨になります。

【ご注意】

Upsolar Japan 株式会社

17 積算を実行するときに使用した「帳票編集」ボタンを押します。



18 「帳票作成」メニュー内の「見積書作成」を押します。



見積書の編集画面が出てきますので、ここで見積の内容、金額の修正を行います。
単価・金額の項目を左クリックすると、数字を入力して直接修正することができます。

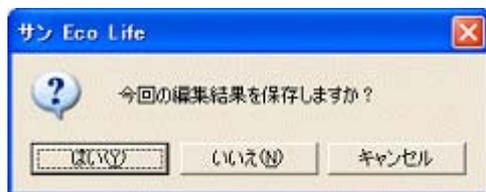


項目そのものを削除したい場合、例えば《電力会社申請手続き》の項目を削除したい場合は・・・

19 削除したい項目を左クリックします。

20 項目を左クリックしたら、画面右側にある「削除」ボタンを押します。
これで《電力会社申請手続き》の項目が削除されます。

21 修正が終わったら「閉じる」ボタンを押します。



修正結果を保存してよいかどうかの確認をしてきます。

- 「はい」 → 修正結果が保存され、編集画面が閉じます。
- 「いいえ」 → 修正結果は保存されず、編集画面は閉じます。
- 「キャンセル」 → 修正結果は保存されず、編集画面に戻ります。

結果を保存したい場合は「はい」を押し、編集画面を閉じます。これで、見積金額の修正が完了となっています。



次に、エコキュート・IHクッキングなどの金額を入力してみましょう。



- 22 「帳票作成」メニュー内の「提案書作成」を押します。



提案書の編集画面が出てきます。

23 ヤナイ邸

東京電力 おトクなナイト10(6kVA)
エネルギー《創造生活》のご提案
導入検討シミュレーション

太陽光パネル枚数(単結晶)
UP-M200M 26枚

発電容量
定格出力 5.20 kW
発電容量 448kwh/月

給湯タンク
給湯負荷 0.0kwh/月
タンク容量 0リットル
消費電力 0.0kw

IHクッキングヒーター
負荷 0.0kwh/月

時間帯による電力使用割合

			買電
基本料金			1260.00
8:00	80kwまで		23.87
	200kwまで	50%	30.74
~ 22:00	200kw以上		32.48
		50%	9.48
売電			42.00

現在の光熱費

月平均消費電力量	5t
① 電気代	10,000円
② ガス代	4,000円
③ 灯油代	5,000円
④ その他	円
⑤ 光熱費合計	19,000円

提案プラン導入後の光熱費試算(予想電力 701kwh)

買電	9,059円
売電(42円)	10,542円
⑥ 差引	-1,483円
⑦ 削減効果	⑤-⑥ 20,483円
⑧ 光熱費合計	-1,483円

機器見積金額

エコキュート(税込)	2,625,000円
エコキュート(税込)	300,000円
IHクッキング(税込)	150,000円
国補助金	156,000円
市補助金	156,000円
市町村補助金	160,000円
その他	
支払い合計金額(税込)	2,153,000円

お支払いプラン例(支払い回数 180回)

⑨ ローン支払例(金利2.50%)	月々 7,600円
回収年数目安	9.7年
⑩ 実質負担金額	-12,883円

24

25 【ご注意】

Upsolar Japan 株式会社

エコキュート、IHクッキング工事に必要な金額はここに入力できます。
現在、国・県・市町村などから行われている補助金を申請するのであれば、ここに補助金の合計を入力してください。

- 24 エコキュート、IHクッキング機器の情報はここに入力しておきます。
- 25 シミュレーションの提案に関する注意事項などを記入する【ご注意】欄に文章を書き込みたい場合には、「備考」ボタンを押して記入することができます。

あとは必要な帳票を印刷してシミュレーションは完了となります。提案プランを変えて続行したい場合も、ここまでの説明と同様の操作を行ってください。
太陽光発電シミュレーションの基本的な手順はこのような感じになります。

(1) - 3 太陽光発電シミュレーションの各機能の説明

太陽光発電シミュレーションには次のような機能がついています。



パネル選択

メーカーのモジュール情報が設定されていますのでその中から選択します。



物件情報

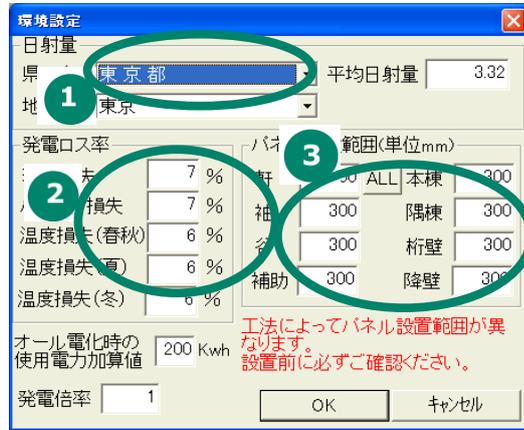
物件の情報 (工事邸名、工事場所、副資材、労務費、見積など) の設定をします。



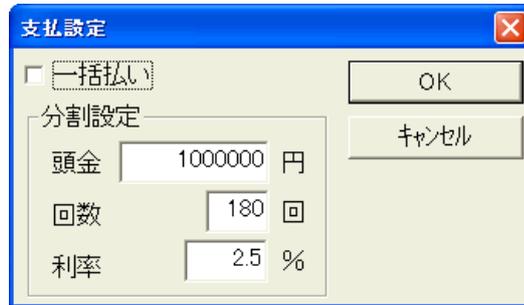
各種設定

環境設定、ローン設定、オール電化の設定をします。

《環境設定》

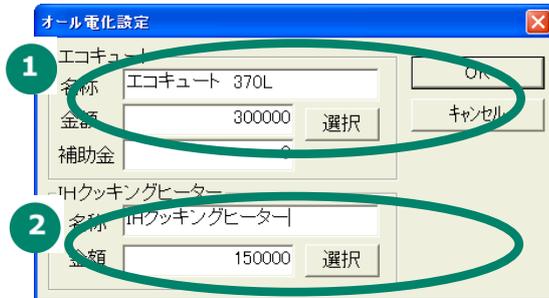


- 1 設置場所の県・地域を設定します。ここを設定する事で平均日射量の数値が変わります。
- 2 発電の際のロス率を設定します。
- 3 モジュールを設置する限界値を設定します。入力した数値の領域にはモジュールが設置されません。



《ローン設定》

頭金、支払い回数、ローン利率の設定を行います。



《オール電化設定》

- エコキュート、金額、補助金を設定します。
- 2 IHクッキングヒーター、金額を設定します。

作図

作図

物件の図面（屋根伏図）を描きます。押すと作図に移ります。

帳票作成

帳票作成

積算、原価計算書作成、見積書作成、提案書作成します。

- 《積算》…………… 設定された条件を基に帳票を作成をします。
- 《原価計算書作成》… 積算により作成された原価計算書の編集をします。
- 《見積書作成》…………… 積算により作成された見積書の編集をします。
- 《提案書作成》…………… 積算により作成された提案書の編集をします。

帳票印刷

帳票印刷

原価計算書、見積書、提案書等の各帳票を印刷します。

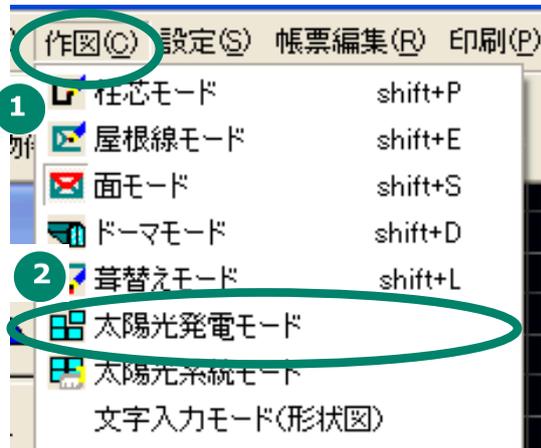
- 《原価計算書》…………… 原価計算書の印刷をします。
- 《見積書》…………… 見積書の印刷をします。
- 《シミュレーション》…シミュレーションの印刷をします。
- 《比較グラフ》…………… 現在の光熱費と太陽光発電設置後の光熱費の比較をグラフ化した帳票を印刷します。
- 《提案書》…………… 太陽光設置による提案書の印刷をします。
- 《発電量グラフ》…………… 月別の発電量・日射量をグラフ化した印刷をします。
- 《電力量相関図》…………… 月別の発電量・売電量・売電金額をグラフ化した印刷をします。
- 《環境メリット》…………… 太陽光設置による石油、CO2削減効果の印刷をします。
- 《ローンシミュレーション》…………… ローン返済シミュレーションの印刷をします。
- 《表紙》…………… 表紙の印刷をします。
- 《見積比較書》…………… 複数の物件での効率、金額の比較をします。

終了

終了

サンEco Life を終了し、物件を閉じます。

(1) - 4 太陽光モジュールの設置

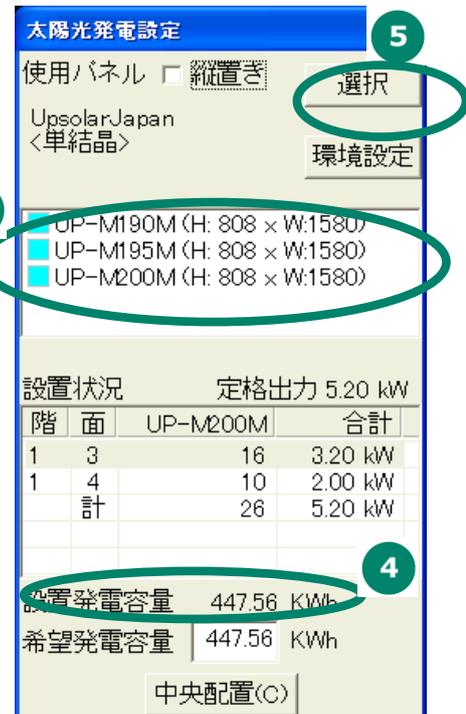


屋根伏せ図を描き、面指定までを終了させます。

- 1 メニューの「作図」を押します。
- 2 「作図」メニュー内にある太陽光発電モードを押します。

又は  ボタンを押します。

「太陽光発電設定」画面が表示されます。

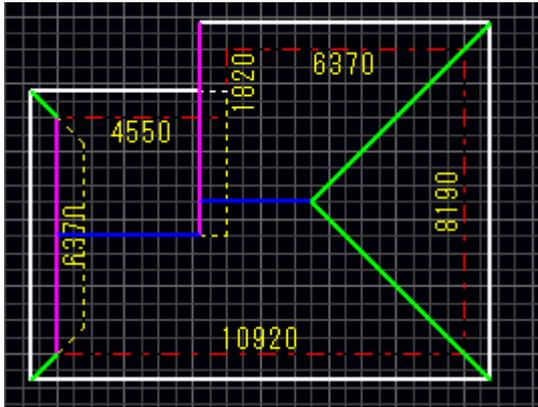


- 3 シミュレーション画面の「作図」ボタンを押して作図画面に移ってきた場合は、シミュレーションで選択していたモジュールが自動的に表示されています。
- 4 更に、シミュレーションで設定した発電容量が希望発電容量としてここに表示されます。

- 5 太陽光発電シミュレーションを行っていない物件、もしくは太陽光発電シミュレーションで設定したモジュールを変更したい場合は、「選択」ボタンを押します。



左図のようなメーカー及びシリーズを選択する画面が出てきますので、選択をした後、「OK」ボタンを押します。

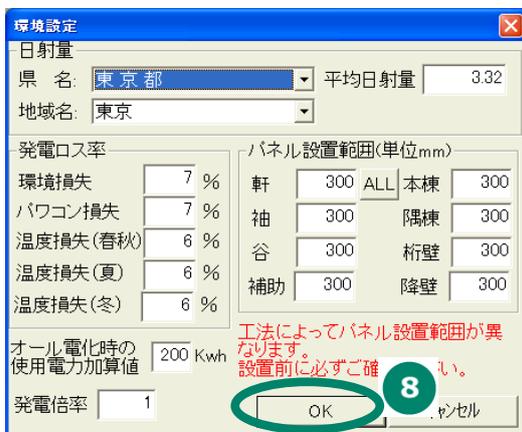
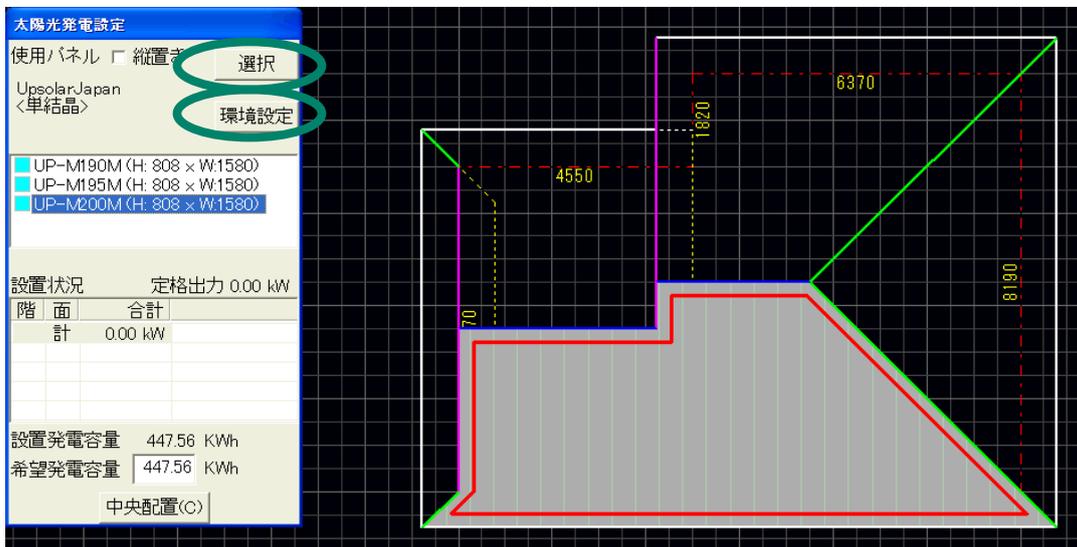


それでは、下図のような屋根にモジュールを配置してみましょう。

まず南面に配置をしてみます。

南面を左クリックすると屋根面が灰色に変わり、屋根面の内側が赤い線で囲まれます。

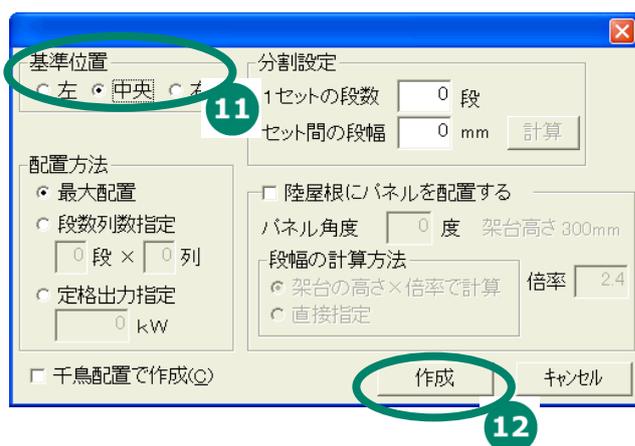
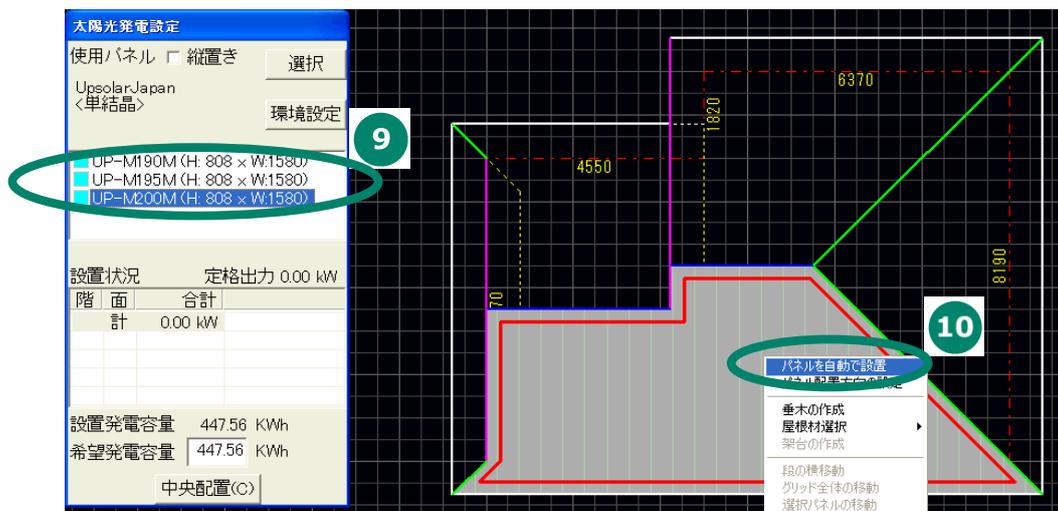
この赤い線の内側はモジュールを設置することが可能な範囲を表しています。



6 モジュールの設置範囲を変更したい場合は「太陽光発電設定」の「環境設定」を押します。

7 「環境設定」ウインドウが表示されますので、パネル設置範囲に寸法をミリで指定します。

8 修正を行ったら、「OK」ボタンを押します。この寸法はモジュールごとに記憶されます。



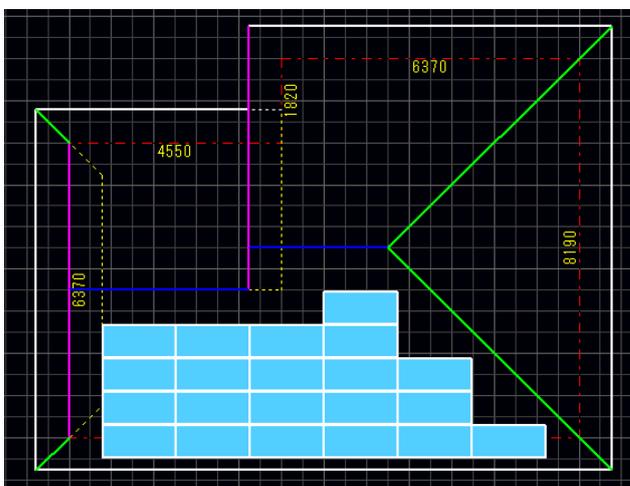
9 設置するモジュールの名前の部分を押します。

屋根面 (南面) の上にマウスを移動させ、右クリックをします。

10 メニューが表示されてくるので、「パネルを自動で設置」を押します。

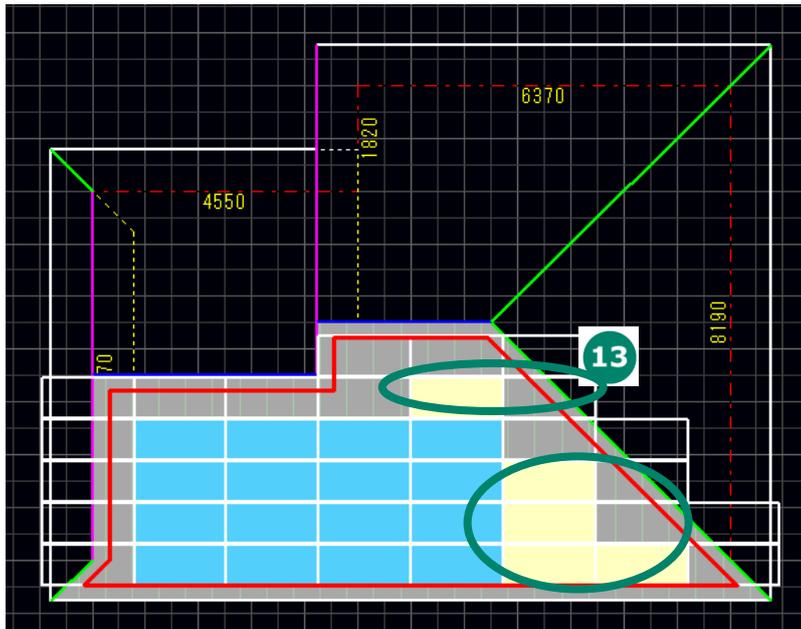
11 基準位置の設定を行います。

12 設定の確認をしたら「作成」ボタンを押します。



左図のように設置可能範囲内にモジュールが自動で配置されます。

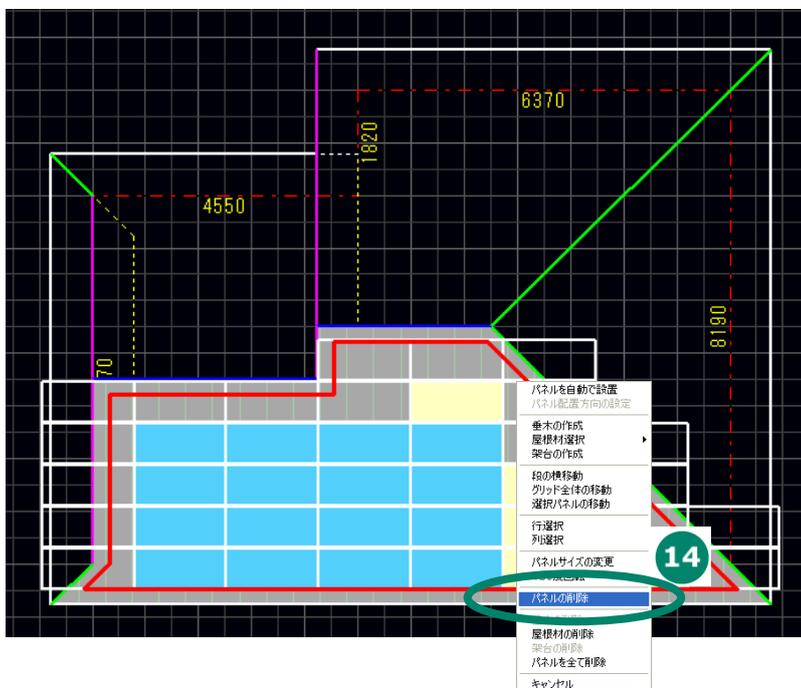
最上段のモジュールと右側に配置されているモジュールの修正を行ってみましょう。



まず、最上段に配置されているモジュールをどれか左クリックして選択状態（モジュールの色が青から黄色に変わります）にします。

続けてキーボードのCTRLキーを押しながら右側のパネルを選択します。

黄色の選択状態のモジュールの上で右クリックします。



14 パネルの削除を選択します。

南面にモジュールを配置した状態です。

太陽光発電設定

使用パネル 縦置き 横置き

UpsolarJapan
<単結晶>

UP-M190M (H: 808 × W:1580)
UP-M195M (H: 808 × W:1580)
UP-M200M (H: 808 × W:1580)

設置状況 定格出力 3.20 kW

階	面	UP-M200M	合計
1	3	16	3.20 kW
計		16	3.20 kW

設置発電容量 447.56 kWh
希望発電容量 kWh

太陽光発電設定

使用パネル 縦置き 横置き

UpsolarJapan
<単結晶>

UP-M190M (H: 808 × W:1580)
UP-M195M (H: 808 × W:1580)
UP-M200M (H: 808 × W:1580)

設置状況 定格出力 3.20 kW

階	面	UP-M200M	合計
1	3	16	3.20 kW
計		16	3.20 kW

設置発電容量 447.56 kWh
希望発電容量 kWh

15 設置されたモジュールの種類と枚数、定格出力値が表示されます。

16 設置されたモジュールの発電容量が表示されます。



モジュールの設置が完了したら、画面左側にある「積算」ボタンを押します。これで積算は完了となります。

(1) - 5 太陽光モジュール設置での各機能

太陽光発電

使用パネル 縦置き 選択

UpsolarJapan
<単結晶>

UP-M190M (H: 808 × W:1580)
UP-M195M (H: 808 × W:1580)
UP-M200M (H: 808 × W:1580)

設置状況 定格出力 3.20 kW

階	面	UP-M200M	合計
1	3	16	3.20 kW
	計	16	3.20 kW

設置発電容量 447.56 KWh
希望発電容量 447.56 KWh

中央配置(C)

- ① 選択
設置するモジュールのメーカーとシリーズを選択します。

シリーズの選択

メーカー(M) UpsolarJapan

シリーズ(S) 単結晶

OK キャンセル

② 環境設定

《日射量》

県と地域を選択する事で平均日射量が変更されます。
これは気象庁の観測データを使用しています。

《発電ロス率》

環境損失、パワコン損失、温度損失の3つの項目を設定できます。この数値を変更する事で発電量が変化します。

《パネル設置範囲》

モジュールを自動で配置する際の設置範囲を各部位ごとに設定します。入力した数値の位置にはモジュールが自動配置されません。

環境設定

日射量
県名: 東京都 平均日射量: 3.32
地域名: 東京

発電ロス率

環境損失	7 %
パワコン損失	7 %
温度損失(春秋)	6 %
温度損失(夏)	6 %
温度損失(冬)	6 %

パネル設置範囲(単位mm)

軒	300	ALL	本棟	300
袖	300		隅棟	300
谷	300		桁壁	300
補助	300		降壁	300

オール電化時の使用電力加算値 200 Kwh

発電倍率 1

工法によってパネル設置範囲が異なります。設置前に必ずご確認ください。

OK キャンセル

例えば、軒の欄に300と入力したら、軒先から300mmのところにはモジュールが自動配置されません。

3 縦置き

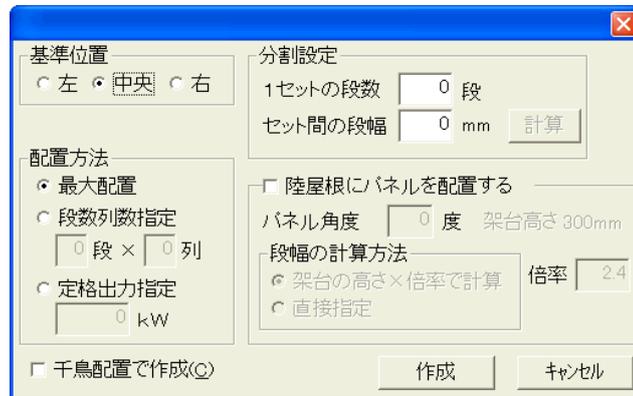
縦置きのチェックをいれることで、選択されているモジュールの設置方向を90度回転させ設置します。

面を選択後に右クリックをすることにより、次のようなメニューが表示されてきます。



4 パネルを自動で設置

設置可能範囲内にモジュールを自動で配置します。選択されている面内にすでに太陽光モジュールが配置されている場合は実行できません。



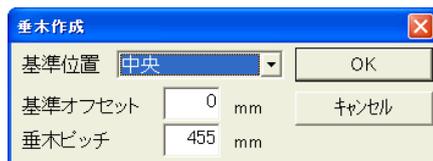
《基準位置》…モジュールは基準位置を設定します

《配置方法》…モジュールの配置方法を指定します

《分割設定》…セットの段数、セット間の段幅を設定します

《陸屋根にパネルを配置する》…陸屋根の設定を行います

5 垂木の作成

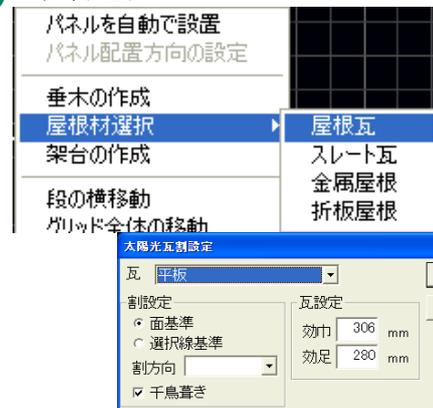


屋根面に垂木を作成します。

基準位置 (左端・右端・中央) から選択します。

基準オフセットは基準位置から垂木の移動寸法をミリで入力します。

6 屋根材選択

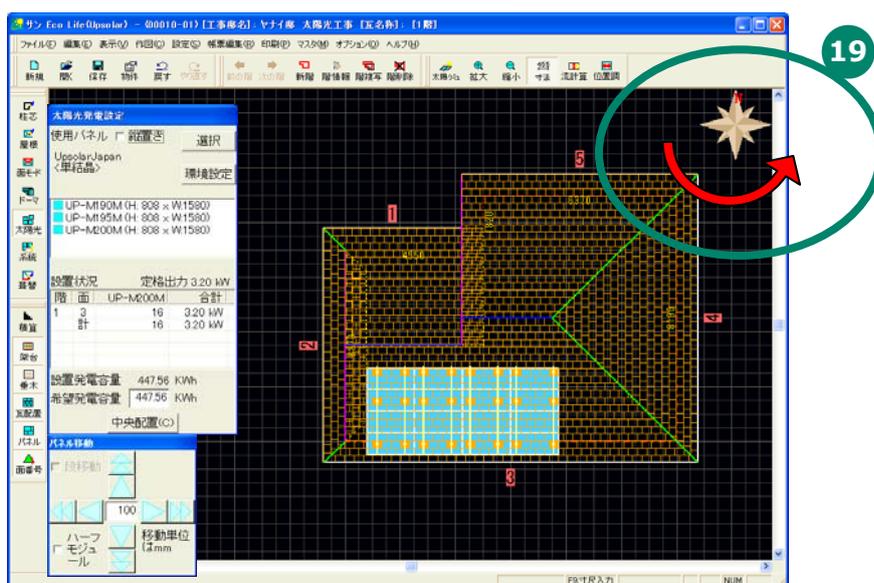


屋根面に瓦を配置します。

屋根瓦、スレート瓦…から設置する瓦の大きさを選択します。

設定から瓦の配置方法、基準位置を設定します。

- 12 パネルサイズの変更
指定したモジュールの大きさを変更します。
- 13 180度回転
選択されたモジュールを180度回転させます。
- 14 パネルの削除
選択されたモジュールを削除します。
- 15 垂木の削除
選択した面の垂木を削除します。
- 16 屋根材の削除
選択した面の屋根材を削除します。
- 17 架台の削除
選択した面の架台を削除します。
- 18 パネルを全て削除
選択されている面の全ての太陽光モジュールを削除します。
- 19 方位の設定
32方向の方位変更が可能です。
マウス右ボタンをドラッグすると変更が可能です。
※作成時は上が北方向になります。



(2) 太陽光パネルマスタ設定

太陽光パネルマスタとは、太陽光のパネル配置に必要な設定情報です。

- ・ 太陽光パネルマスタの設定手順は以下の通りです。

① 太陽光モジュール商品の登録

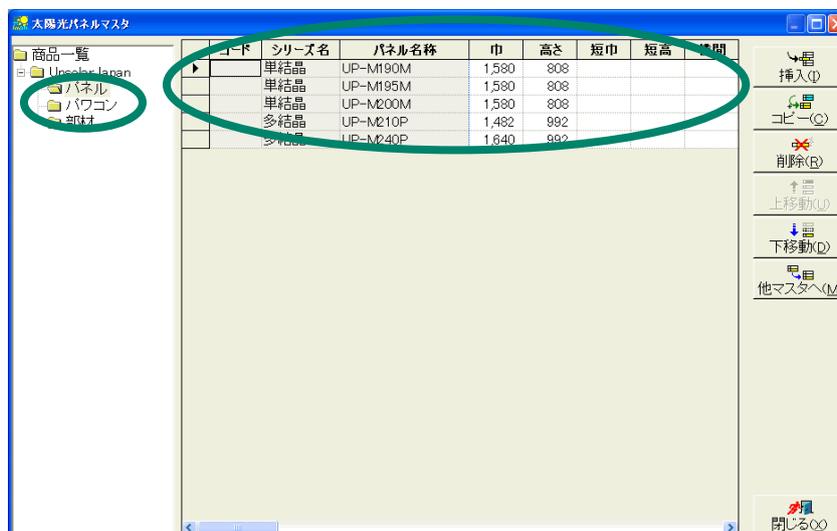
① 太陽光パネルマスタの登録

太陽光パネルマスターの呼び出しは、メインメニューの [マスタ (M)] [太陽光パネルマスタ] を選択すると以下の画面が表示されます。

左側にメーカー名、右側にシリーズ名、巾、高さ発電容量、原価、売価 A～J、が表示されます。



パネルまたはパワコンを選択して商品の修正、削除が可能です。



コード	シリーズ名	パネル名称	巾	高さ	短巾	短高	横間	縦間
	単結晶	UP-M190M	1,580	808				
	単結晶	UP-M195M	1,580	808				
	単結晶	UP-M200M	1,580	808				
	多結晶	UP-M210P	1,482	892				
	多結晶	UP-M240P	1,640	892				

コード	自社の管理コードを入力します コードは任意で、原価計算書等に表示
シリーズ名	太陽光モジュールのシリーズ名を入力します カタログに記載されている情報を入力します
パネル名称	パネル本体の名称を入力します。パネルの商品の型番を入力
巾	太陽光モジュール本体の横寸法（巾）を入力します。寸法は mm 入力
高さ	太陽光モジュール本体の縦寸法（高さ）を入力します。寸法は mm 入力
短幅	三角形モジュールの短方の幅を入力します。寸法は mm 入力
短高	三角形モジュールの短方の高さを入力します。寸法は mm 入力
横間	モジュールとモジュールの横の間隔を入力します。寸法は mm 入力
縦間	モジュールとモジュールの縦の間隔を入力します。寸法は mm 入力
発電容量	モジュール仕様に記載されている定格出力を入力します 入力単位はW（ワット）です
原価	商品の原価を入力します
売価	商品売価A～Jを入力します 得意先マスタのランクで設定します
一体型	登録した太陽光パネルが一体型パネルの場合チェックします 据え置き型のパネルの場合はオフ
形状	太陽光パネルの形状を選択します 四角形 又は 三角形を選択
メイン	2, 3 種類のパネルを同時に使用する場合に代表の登録を行います
最小連	パネルの最小連結枚数を入力します
最大連	パネルの最大連結枚数を入力します

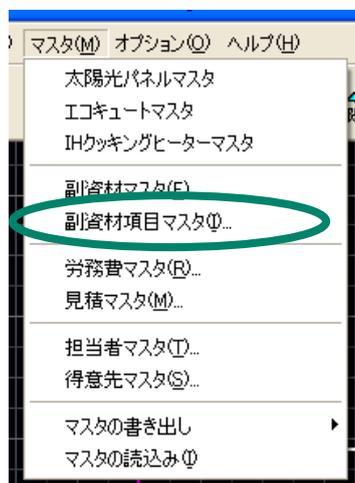
(3) 副資材項目マスタ、副資材マスタ設定

太陽光パネルで使用する支持フレーム、パワコン等を副資材項目マスタに登録します。副資材項目マスタは、積算時に使用する部材の名称・単価・算出方法を登録したものです。設定完了後副資材マスタへの登録が必要となります。

・太陽光パネルマスタの設定手順は以下の通りです。

- ① 副資材項目マスタの登録
- ② 副資材マスタの登録

①副資材項目マスタの商品登録



メニューの [マスタ (M)] [副資材項目マスタ] を選択すると以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the '副資材項目マスタ' window with a table of registered items. The table has columns for 階一括 (Hierarchy), コード (Code), 副資材項目名 (Sub-material Item Name), グループ (Group), 原価 (Original Price), 売価 (Sales Price), 単位 (Unit), 端数 (Decimals), 有効桁 (Effective Digits), and 計算式 (Formula). The table contains 5 rows of data.

階一括	コード	副資材項目名	グループ	原価	売価	単位	端数	有効桁	計算式
P		パワーコンディショナー	太陽光(一)	256,000.00	320,000.00	個	切上	小数1位	1
P		カラー液晶モニター	太陽光(一)	80,000.00	100,000.00	個	切上	小数1位	1
P		ケーブル	太陽光(一)	24,000.00	24,000.00	式	切上	小数1位	1
P		売電メーター	太陽光(一)	18,000.00	18,000.00	個	切上	小数1位	1
P		架台	太陽光(一)	96,000.00	120,000.00	式	切上	小数1位	1

- 【挿入】** …… 新しい副資材項目名を登録する場合には、【挿入】をクリックして挿入された空白行に商品名称を入力します
- 【コピー】** …… 副資材部材名称をクリックして【コピー】ボタンをクリックすると選択している行を複写します
- 【削除】** …… 副資材部材名称を削除する場合に使用します
- 【上下へ移動】** …… 副資材部材名称の順番を変更する場合に使用します
移動させたい副資材部材名称をクリックして【上へ移動】
又は【下へ移動】ボタンをクリックして上・下に移動させます
- 【他部材へ】** ……他の商品グループへ移動又はコピーをします

副資材項目の詳細

階一括	計算結果を階ごとに商品資材を出力します 各階ごとに副資材を計算します
副資材項目名	商品を入力します
グループ	副資材項目グループを選択します 部材名登録で登録されたグループに商品を登録
原 価	商品の原価を入力します
売 価	商品の売価を入力します
単 位	単位を入力します
端 数	計算結果の端数（小数点以下）処理を選択します
有効桁	整数もしくは小数表示を選択します
計算式	計算式を入力します
コメント	メモを入力します

「行挿入」ボタンを押し商品名、原価、売価入力後 計算式の  を押します。



階一括	コード	副資材項目名	グループ	原価	売価	単位	端数	有効桁	計算式
<input checked="" type="checkbox"/>		パワーコンディショナー	太陽光(一)	256,000.00	320,000.00	個	切上	小数1位	1
<input checked="" type="checkbox"/>		カラー液晶モニター	太陽光(一)	80,000.00	100,000.00	個	切上	小数1位	1
<input checked="" type="checkbox"/>		ケーブル	太陽光(一)	24,000.00	24,000.00	式	切上	小数1位	1
<input checked="" type="checkbox"/>		売電メーター	太陽光(一)	18,000.00	18,000.00	個	切上	小数1位	1
<input checked="" type="checkbox"/>		架台	太陽光(一)	96,000.00	120,000.00	式	切上	小数1位	1



「変数(H)」から該当する変数を選択、さらに部位を選択して「式セット」を押します。計算式(S)に選択した計算式がセットされます。計算式は四則演算が可能です。

計算式入力例

例 1 :

項目名	計算式	単位
パワーコンディショナー	{比較[定格出力[]<=4.0]}	個

※上記の計算式は 定格出力が 4.0Kw 以下の場合計算されます。

例 2 :

項目名	計算式	単位
売電メーター	1	個

※上記の計算式は 売電メータを 1つ計上します。

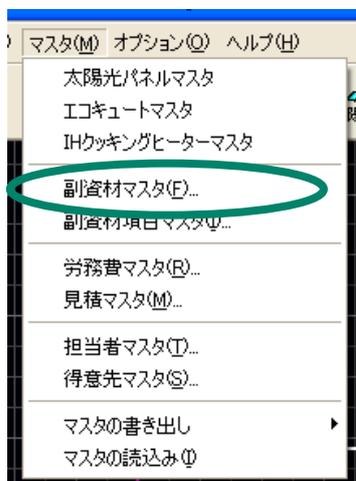
太陽光発電で主に使用する変数

副資材項目マスタ、見積マスタ、労務費マスタで使用する共通の変数です。

変数名	説明
S パネル枚数[s]	屋根伏図に作図設置された太陽光モジュールの枚数を返します。[s] で指定した商品名の枚数を返します。 例: S パネル枚数[*****] ※*****はパネル名称を示します
S パネル面積[s]	屋根伏図に作図設置された太陽光モジュールの枚数を返します。[s]で指定した商品名の面積を返します 例: S パネル面積[*****] ※*****はパネル名称を示します
S パネル高[s]	[s]で指定された商品の高さを返します 返される寸法は m
S パネル巾[s]	[s]で指定された商品の巾を返します 返される寸法は m
定格出力[]	設置してある太陽光パネルの定格出力を示します 単位は Kw
S 面数[]	太陽光パネルの設置してある面数を示します。
S 支持金具個数	指定された支持金具の個数を示します。
S 支持瓦枚数	支持瓦枚数を示します。
S パワコン個数	S パワコン個数[n1, n2]=容量が、n1kw 以上、n2kw 未満のパワコン個数を示します。(n1, n2 は元の数に 10 を掛けた数を設定してください。例: 5.5kw = 55)

商品の登録が終了後「閉じる」ボタンを押し「副資材項目マスタ」終了します。

②副資材マスタの登録



副資材マスタでは、副資材項目マスタで登録した商品を工法等で分類登録します。

メニューの [マスタ (M)] [副資材マスタ] を選択すると以下の画面が表示されます。



- マスタ名称を追加

左画面のマスタ名称一覧から挿入したい行をマウス左クリックし「新規」を選択すると、空白の行が画面に追加表示されますので工法等のマスタ名称を入力します。



編集ボタンを押し「①副資材項目マスタ設定」で入力した商品が画面右側に表示されますので画面右側から選択し「追加(A)」をクリックして左側に追加します。

この工法で必要な部材は全て左側に追加登録します。



- 【追加】** ……副資材マスタに副資材項目マスタで登録した商品を追加します
追加する商品を選択して**【追加(A)】**を押すと左側に追加
- 【削除】** ……画面左側に追加した商品一覧から商品を削除します
削除する商品をクリックして**【削除(R)】**を押すと削除します。
※このとき副資材項目マスタで登録した商品は削除されません
- 【上下へ移動】** 左側に追加した商品の表示順番を変更します
移動させたい商品をクリックして**【上へ移動】**又は、**【下へ移動】**
をクリックして移動
- 【閉じる】** ……副資材マスタを終了します。
- 【編集】** ……「副資材項目マスタ」が表示され登録、修正、削除をします
副資材項目マスタに商品の登録、修正、削除が可能です。

画面左側（副資材項目名）に追加すると区が表示されます。
区は原価計算書に表示される小計区分の区分け番号です。

原価計算書の小計金額の区分を指定します。

- 区分は 0 … 太陽光モジュール
1 … 副資材 （ 架台等 ）
2 … 労務費 （ 工事、レッカー使用料等 ）

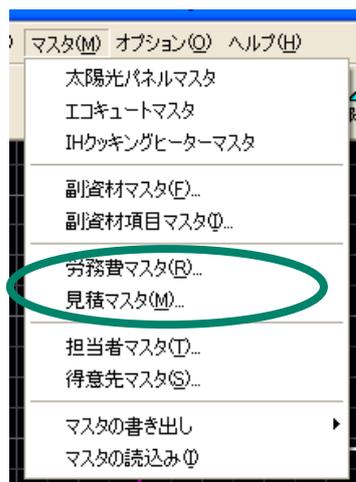
※各項目の区分を変更することにより上記場所に移動し積算されます。

登録が終了後「閉じる」ボタンを押し「副資材マスタ」を終了します。

(4) 労務費、見積りマスタ設定

太陽光設置工事による労務費、見積りの基本登録をします。

労務費マスタ登録、見積りマスタ登録
(ここでは見積りマスタ登録画面で説明します。)



メニューの「見積りマスタ(M)」を選択すると以下の画面が表示されます。

※労務費の場合は「マスタ (M)」[労務費マスタ(R)] 選択します。

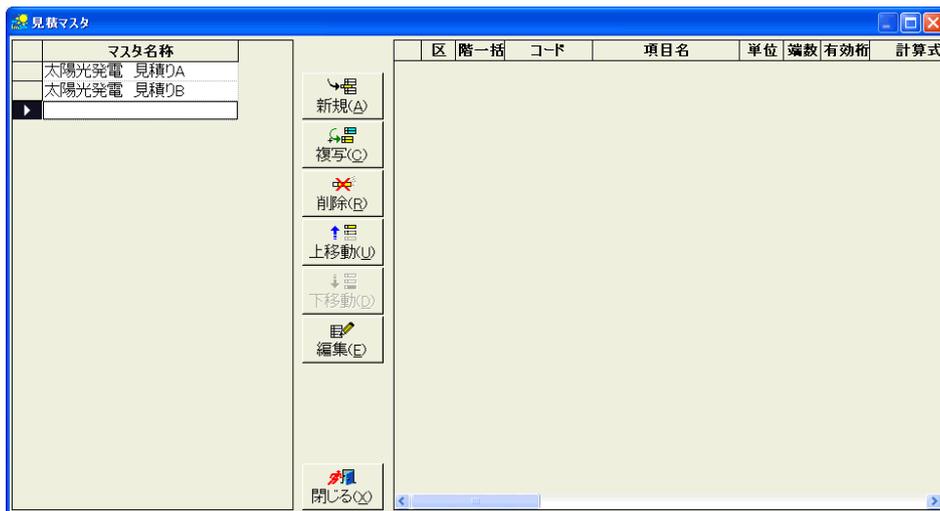
見積りマスタ一覧が表示されます。

The screenshot shows the '見積りマスタ' window. On the left, there is a list of master names: '太陽光発電 見積りA' and '太陽光発電 見積りB'. On the right, there is a table with the following data:

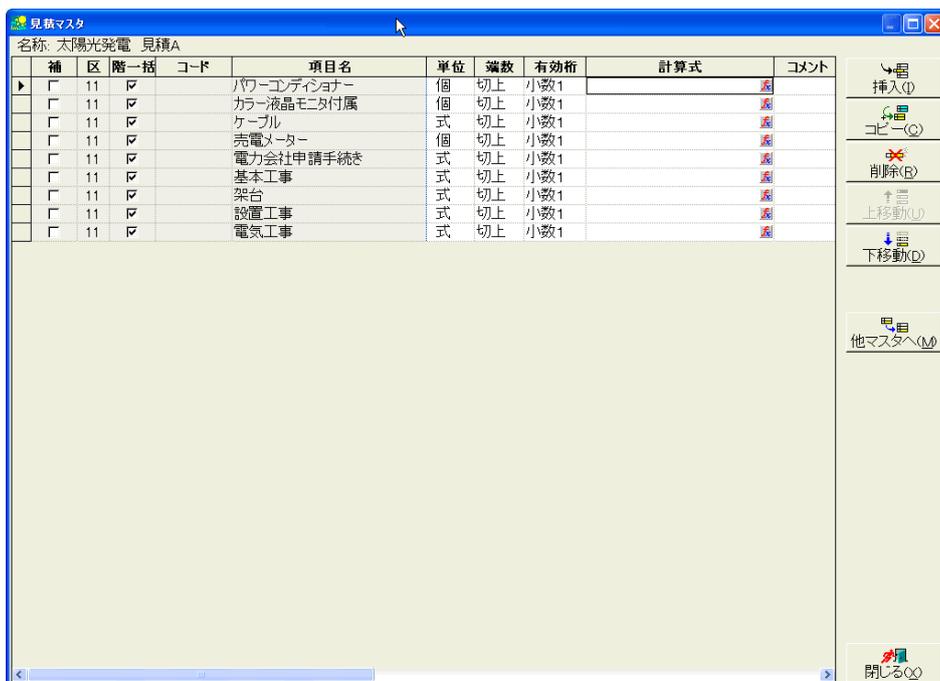
区	階一括	コード	項目名	単位	端数	有効桁	計算式
10	<input checked="" type="checkbox"/>		売電メーター	個	切	小数	1
10	<input checked="" type="checkbox"/>		電力会社申請手続き	式	切	小数	1
10	<input checked="" type="checkbox"/>		架台設置工事	式	切	小数	1
10	<input checked="" type="checkbox"/>		電気工事	式	切	小数	1

- ・マスタ名称を追加

左画面のマスタ名称一覧から挿入したい行をマウス左クリックし「新規」を選ぶと、空白の行が画面に追加表示されますので見積のマスタ名称を入力します。



編集ボタンを押すと編集画面が表示されます。
ここでは必要な見積りの基本設定を行います。



見積り項目の詳細

補	補助金対象の項目を示します
階一括	計算結果を階ごとに商品資材を出力します 各階ごとに見積りの項目を出力
項目名	商品名を入力します
原 価	原価を入力します。(労務費マスタのみ)
売 価	売価を入力します。(労務費マスタのみ)
単 価	単価を入力します
単 位	単位を入力します
端 数	計算式で指定した計算結果の端数を選択します 切上げ、切り捨て、四捨五入
有効桁	整数もしくは小数表示を選択します 整数、小数第1位、小数第2位
計算式	計算式を入力します
コメント	メモを入力します

【挿入】	……	新しい見積項目を登録する場合には、 【挿入】 ボタンをクリックして挿入された空白行に名称を入力します
【コピー】	……	項目名クリック 【コピー】 ボタンをクリックすると、選択した行を複写します
【削除】	……	項目名を削除します
【上下へ移動】		項目名の順番を変更する場合に使用します 移動させたい項目名をクリックして 【上へ移動】 ボタン又は 【下へ 移動】 ボタンをクリックして上・下に移動
【他部材へ】	…	他の見積りパターンへ移動又はコピーをします 選択した項目を他の見積りマスタへコピー
【閉じる】	……	「見積りマスタ」画面を終了します

区は見積書に表示される小計区分の区分け番号です
見積書の小計金額の区分を指定します。

区分は 0 … 太陽光モジュール及びパワーコンディショナー
1 … 以上は各項目を小計で区分けする場合に使用します。
※各項目の区分を変更することにより上記場所に移動し積算されます。

「行挿入」ボタンを押し 項目名、単価入力後 計算式の  を押します。



補	区	階一括	コード	項目名	単位	端数	有効桁	計算式	コメント
<input checked="" type="checkbox"/>	0	<input checked="" type="checkbox"/>		基本工事	式	切	小数	Sパネル枚数	
<input checked="" type="checkbox"/>	0	<input checked="" type="checkbox"/>		架台工事	式	切	小数	架台枚数	



「変数(H)」から該当する変数を選択、さらに部位を選択して「式セット」を押します。
計算式(S)に選択した計算式がセットされます。
計算式は四則演算が可能です。

計算式入力の例

例 1 :

項目名	計算式	単位
基本工事	Sパネル枚数[*****] ※*****はパネル名称を示します	枚

※上記の計算式は モジュール枚数が計算されます。

例 2 :

項目名	計算式	単位
売電メーター	1	個

※上記の計算式は 1個計算されます。

例 3 :

項目名	計算式	単位
パワーコンディショナー	{比較[S面数[]=2]*比較[定格出力[]<=3.0]}	個

※上記の計算式は 太陽光モジュールが設置されている面数が2面で、定格出力が3.0Kw 以下の場合計算されます。

※マスタで使用する変数は、副資材項目マスタ、副資材マスタ登録の「太陽光発電で主に使用する変数」を参照してください

登録が終了後「閉じる」ボタンを押し「見積マスタ」終了します。

第4章 作図

作図機能解説前準備

サンプル図面を元に物件作成・積算を行なうことにより、一連の操作を学習できます。ここで使用する平面図・屋根伏図のサンプルは章末に添付してありますので、コピーしてご利用下さい。

これからの説明では以下の操作が頻繁に登場します。それぞれの操作内容について予め説明します。

①クリックとダブルクリック

いずれもマウスボタンの操作です。

左クリック…マウスの左ボタンを1回押して離します。

単にクリックと有る場合は左クリックを指します。

左ダブルクリック…マウスの左ボタンを2回連続で押して離します。

単にダブルクリックと有る場合は左ダブルクリックを指します。

右クリック…マウスの右ボタンを1回押して離します。

右ダブルクリック…マウスの右ボタンを2回連続で押して離します。

※第1章「はじめに」の「マウス操作」(1-1)に詳説を掲載しております。

②ボタンのクリック

マウスを動かし画面上のボタンを押す操作です。

例：【新規】ボタンをクリックします。

画面上にある【新規】ボタン  の部分にマウスカーソルを動かし、左クリックします。ボタンがすでに凹んでいる（ボタンが押されている状態）場合は特にこの操作を行う必要はありません。

③メニューの選択

マウスを動かしボタン操作を行ないます。

例：「ファイル」メニューの「新規作成」を選択します。

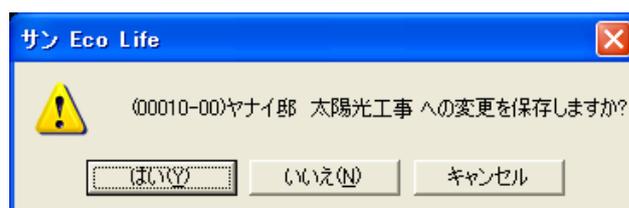
- (1) 画面上部の「ファイル」と書かれた部分にマウスを移動させ、左クリックします。
- (2) 一覧が表示されますので、「新規作成」と書かれた部分にマウスを移動させ、左クリックしますと新規作成を行ないます。

④終了について

終了は、下記の3つのどれかで行ないます。

- (1) ウィンドウの左上にあるアイコンを左クリックして、表示されたメニューの「閉じる(C)」を左クリックします。またはそのアイコンを左ダブルクリックします。
- (2) ウィンドウの右上にある終了ボタンを左クリックします。
- (3) メインメニューの「ファイル(F)」を左クリックし、「アプリケーションの終了(X)」を左クリックします。

終了前に「上書き保存」や「名前をつけて保存」を実行していないと下記の物件の保存を確認する画面が表示されます。

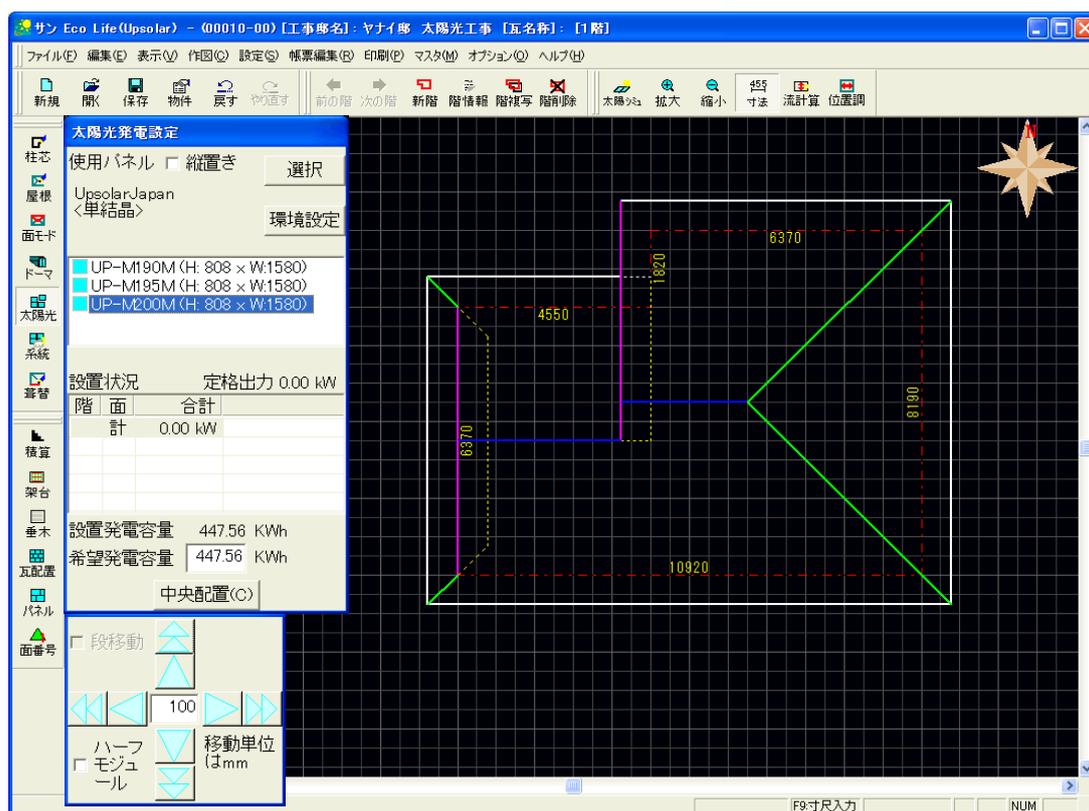


通常は【はい(Y)】ボタンを左クリックし、データを保存して終了します。保存する必要が無い場合は【いいえ(N)】ボタンを左クリックすると保存せずに終了します。

以上で、作図機能解説に入る前の補足説明は終了です。
サンプル図面を通して、一連の操作に慣れてみましょう。

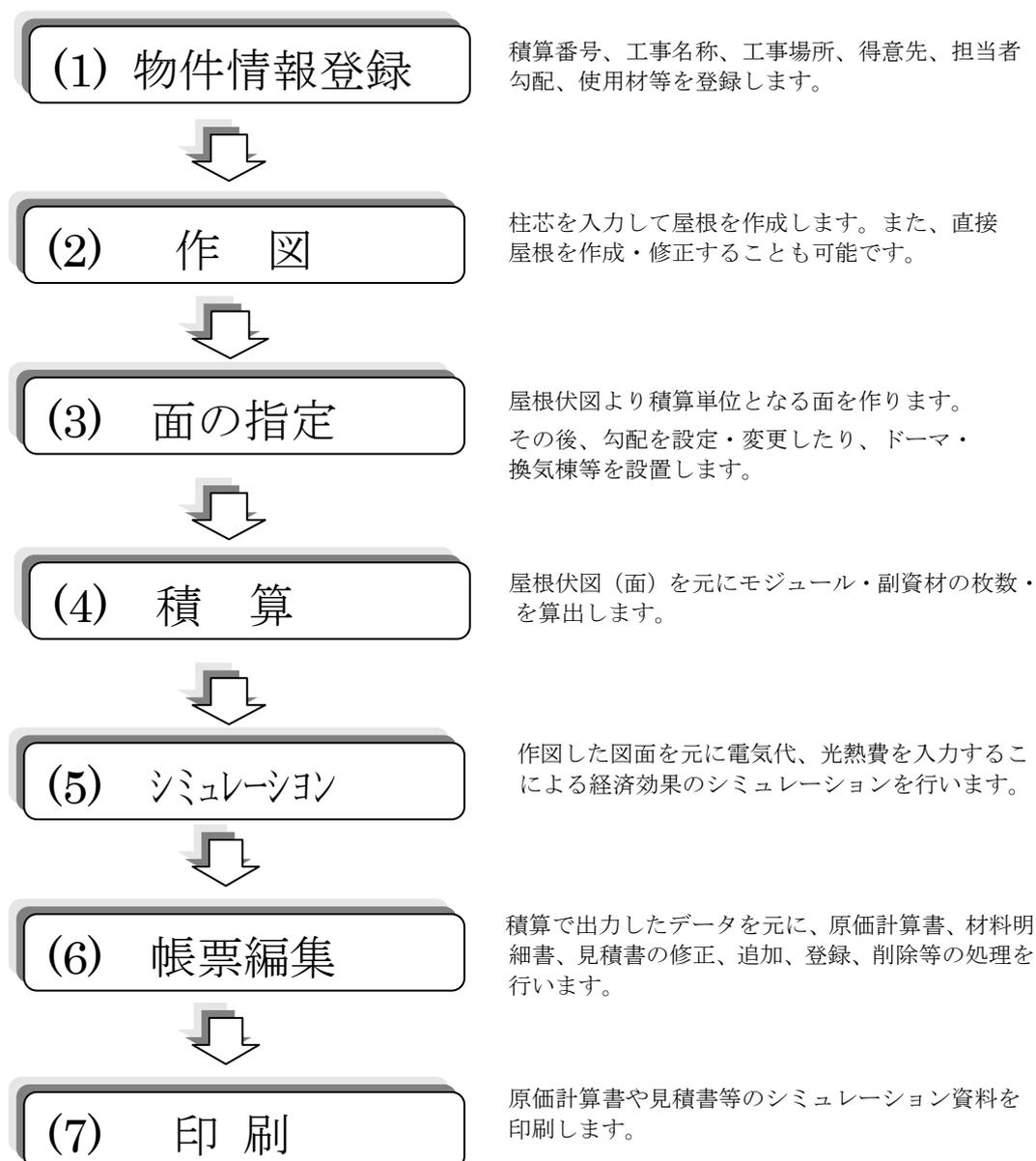
操作概要

物件の登録から印刷までの操作を画面上の一覧メニューを見ながら進められます。



操作の流れ

大まかな操作の流れを下図に示します。



(1) 物件情報登録

物件作成に先立ち、物件情報を登録します。

新規ボタンから開始します。



下記の物件情報登録画面が表示されます。

物件情報登録

物件番号は 00010-00 です。 物件番号変更 [修正] ログOFF

作成日: 2012/09/19 更新日: 2012/09/19 全量買取

担当者(M): 0 参照

得意先(I): 0 柳井工務店 検索 新規

管理番号 得意先敬称: 税設

工事邸名(N): ヤナイ邸 太陽光工事

工事場所(P): 東京都港区愛宕2丁目5-1

屋根 出幅 瓦名称

屋根形状(Y): 切妻 軒出(Q): 700

勾配(K): 6.00 寸 袖出(S): 700

副資材: <<< 選択して下さい >>> 参照

労務費: <<< 選択して下さい >>> 参照

見積(E): <<< 選択して下さい >>> 参照

メモ(R):

OK キャンセル

作成日: 物件作成日を入力します。予め今日の日付が入ります。変更したい場合には直接日付を入力するか、右端についている【▼】ボタンをクリックしてカレンダーを呼び出して日付を選択します。

物件情報登録

物件番号は 00010-00 です。

作成日: 2012/09/19 更新日: 2012/09/19

担当: ▼ 2012年9月 ▼

得: 日月火水木金土 工務店

管理: 26 27 28 29 30 31 1 太陽光工事

工事: 2 3 4 5 6 7 8 愛宕2丁目5-

工事: 9 10 11 12 13 14 15 出

工事: 16 17 18 20 21 22 軒

屋: 23 24 25 26 27 28 29

屋: 30 1 2 3 4 5 6

屋: 今日: 2012/10/01

- 更新日** : 物件修正日を入力します。予め作成日が入ります。変更したい場合には直接日付を入力するか、年月の左右についている【▼】ボタンをクリックしてを呼び出して日付を選択します。
- ロゴ OFF** : 帳票のロゴ表示をしない場合にチェックします。
- 全量買取** : 全量買取の場合にチェックします。
- 担当者** : 担当者名を登録します。入力には右の【▼】ボタンをクリックして一覧の中から選択します。無い場合には直接入力できます。
- 得意先** : 得意先名を登録します。入力には右の【▼】ボタンをクリックして一覧の中から選択します。無い場合には直接入力もできます。
- 納入先** : 納入先を登録します。入力には右の【▼】ボタンをクリックして一覧の中から選択します。無い場合には直接入力もできます。
- 工事邸名** : 物件名称（邸名，工事名等）を入力します。
（例）○○○様邸 太陽光工事
- 工事場所** : 工事住所を入力します。
例）東京都港区愛宕2丁目5-1
- 屋根形状** : 屋根の形状（見積する際に使用）を設定します。複合の場合には一番複雑な形状を設定します。右の【▼】ボタンをクリックすると切妻，寄棟，入母屋・箕甲・片流・陸屋根が表示されますのでその中から選択します。
- 勾配** : 屋根の勾配を設定します。複数種類の勾配が使用されている場合には、一番広い屋根の勾配を設定します。右の【▼】ボタンをクリックすると勾配が表示されますのでその中から選択します。直接入力もできます。
- 出幅** : 屋根の出幅を設定します。複数種類の出幅が使用されている場合には、一番多く使われている出幅を設定します。
- 軒出** : 軒の出幅を設定します。右の【▼】ボタンをクリックすると寸法が表示されますのでその中から選択します。直接入力もできます。
- 袖出** : 袖の出幅を設定します。右の【▼】ボタンをクリックすると寸法が表示されますのでその中から選択します。直接入力もできます。
- 瓦名称** : 瓦の名称を入力します。

副資材・労務費・見積：使用するパターンを選択してください。

副資材:	(((選択して下さい)))	▼	参照
労務費:	(((選択して下さい)))	▼	参照
見積:	(((選択して下さい)))	▼	参照

【▼】 ボタンをクリックして一覧の中から
選択してください。

設定がすべて完了しましたら【OK】 ボタンをクリックします。

※新規作成を中止する場合には【キャンセル】 ボタンをクリックします。

(2) 屋根伏図の作成

屋根伏図の作成は次の手順で行ないます。2 F以上ある物件では、一連の操作を必要な階だけ繰り返します。

- (2-a) 新階作成
- (2-b) 柱芯の作成
- (2-c) くり抜き部（上階の柱芯）の作成
- (2-d) 軒袖指定
- (2-e) 屋根線の修正

(2-a) 新階作成

屋根伏図を入力する階を作成します。

なお、新規物件登録時の1 Fは自動的に新階を作成し、階情報画面を表示します。2 F以上や、一端作成を中断した場合に下記の操作を行ないます。

操作ナビでは「作図」ボタンをクリックします。



【階を追加する】、もしくは【新階】ボタンをクリックすると、「階情報」画面を表示します。

この画面での設定項目は以下の通りです。

階名称：階の名称を入力します。【▼】ボタンをクリックして、一覧の中から選択できます。物件登録直後は1階、それ以降は順次2階、3階と増えていきます。枠に直接入力も可能です。

出幅：この階の軒・袖の出幅を設定します。複数の出幅があるときは、一番多く使われている出幅を入力します。この値は軒・袖指定時に表示されます。

屋根タイプ：この階の屋根形状を設定します。切妻、寄棟、入母屋、箕甲、片流、陸屋根から選択します。

勾配：この階の勾配を設定します。複数の勾配があるときは、一番面積の大きい部分の勾配を入力します。それ以外の勾配は面モードで変更できます。

上記の設定がすべて完了しましたら【OK】ボタンをクリックします。

※新階作成を中止するには【キャンセル】ボタンをクリックします。ただし、まだ物件情報は残っていますので、物件作成の全てを中止するには、物件の削除を行なう必要があります。

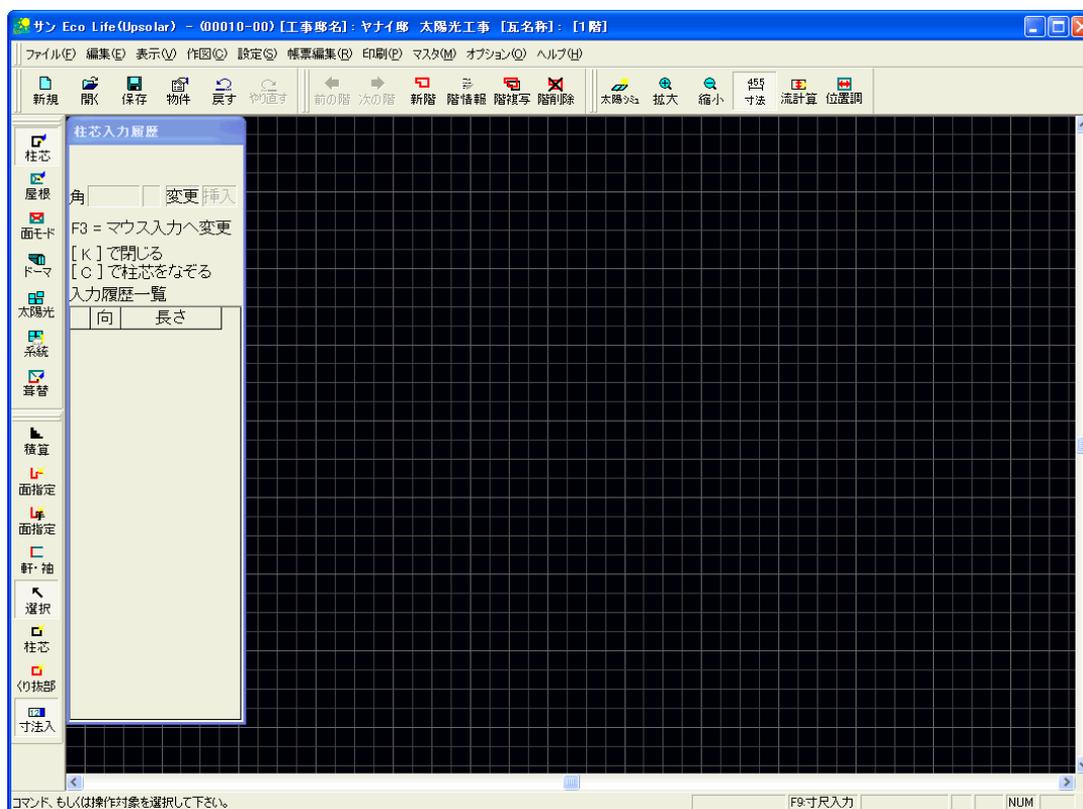
(2-b) 柱芯の作成

屋根伏図の柱芯を入力します。

なお、新規物件登録時の1Fや、【新階】ボタンをクリックした直後は自動的に柱芯作成を開始します。一度作成を中断して再開する場合に下記の操作を行いません。

ツールボタンの場合

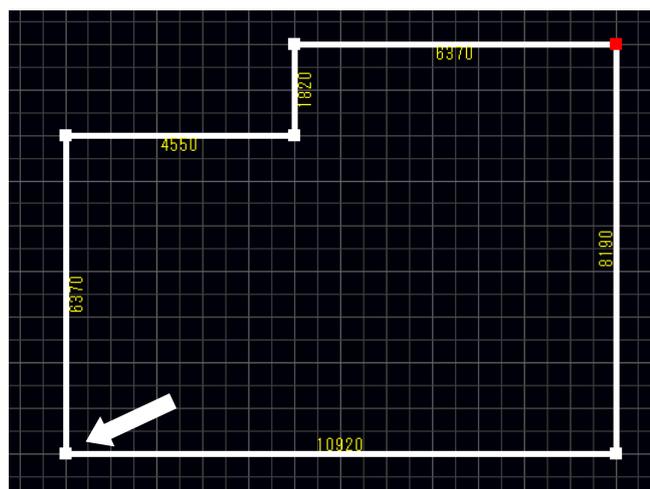
- ・柱芯  ボタンをクリックします。



いずれかの操作を行なうと、作図画面に切り換わります。



キーボードの矢印キーで方向を入力します。



矢印の場所でキーボードの〔K〕を押すことで書き始めの点を自動的に結び、柱芯の入力を完成させることが可能です。

作図中の線削除については、右クリックで削除することができます。

柱芯作成で使用する主なボタンの説明をします。



前の階：前の階図面に移動します。

次の階：次の階図面に移動します。

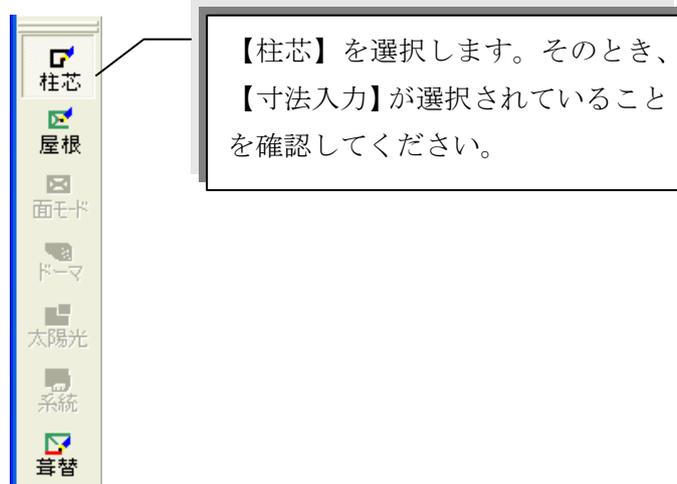
新階：新規に階を作成します。

階情報：現在表示している階の情報を表示します。

階複写：現在表示している階を複写します。

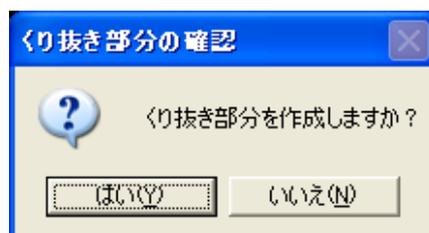
階削除：現在表示している階を削除します。

柱芯の入力方法については以下の通りです。

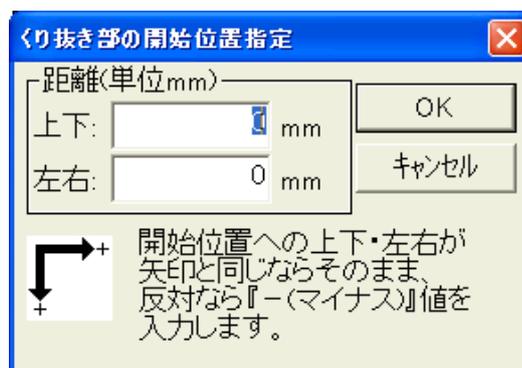


(2-c) くり抜き部の作成

屋根のくり抜き部分の入力を行います。くり抜き部分とは、上階（2階）が存在する場合に作成を行います。



「はい」を選択すると繰り抜き部の開始位置指定画面が表示されます。



開始位置は1階の書き始めの開始位置から2階の開始位置がどのくらいずれているかを指定します。

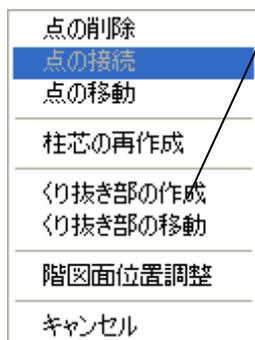
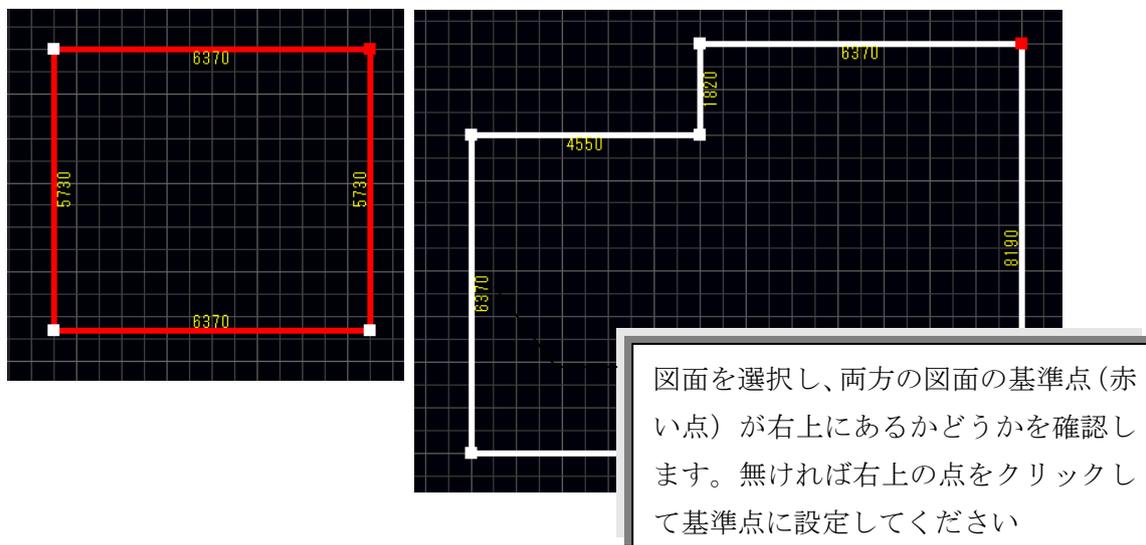
1階の開始位置からのずれが上下方向でかつ上側から始める場合はマイナスの数値を入力します。また左右の開始位置が1階の開始位置から左側にある場合も同様にマイナスの数値を入力します。

以降、矢印キーで方向を入力し1階と同様に柱芯を入力していきます。

次階等のある場合は【階を追加する】を選択し、同様の操作を行ってください。

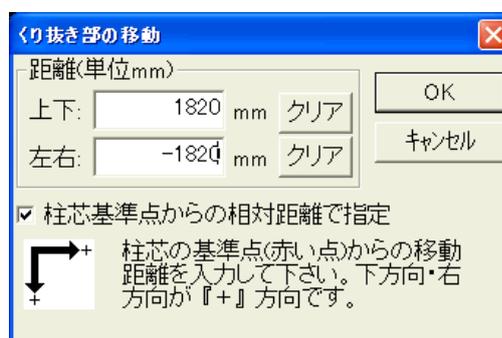
・くり抜き部の移動

一度作成したくり抜き部の位置が違っていた時はくり抜き部の移動を使って修正します。

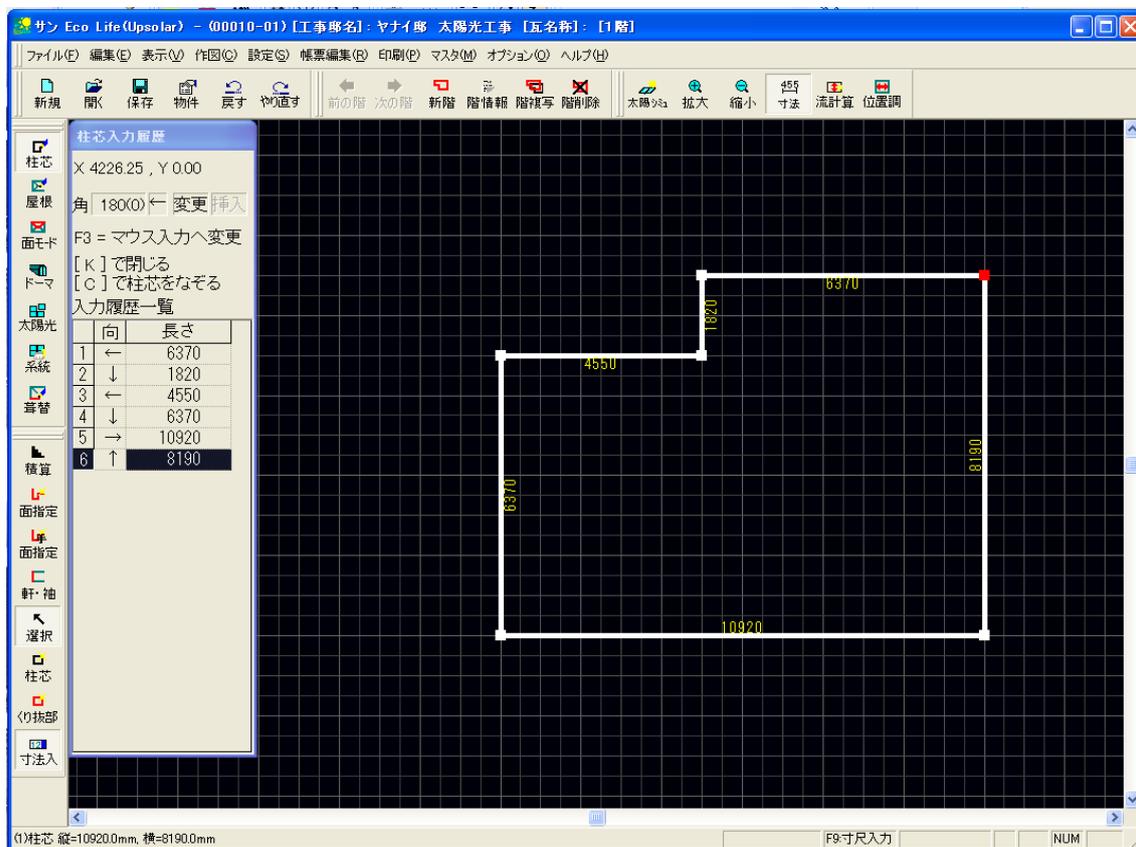


右クリックして【くり抜き部の移動】を選択します。

柱芯の基準点を基準に、くり抜き部の基準点を移動させます。数値入力が完了したら【OK】ボタンをクリックします。

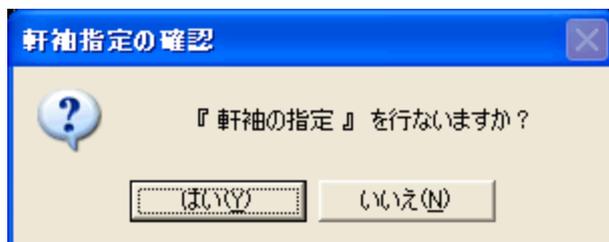


以上の操作で柱芯の作成が終了しました。



(2-d) 軒・袖の指定

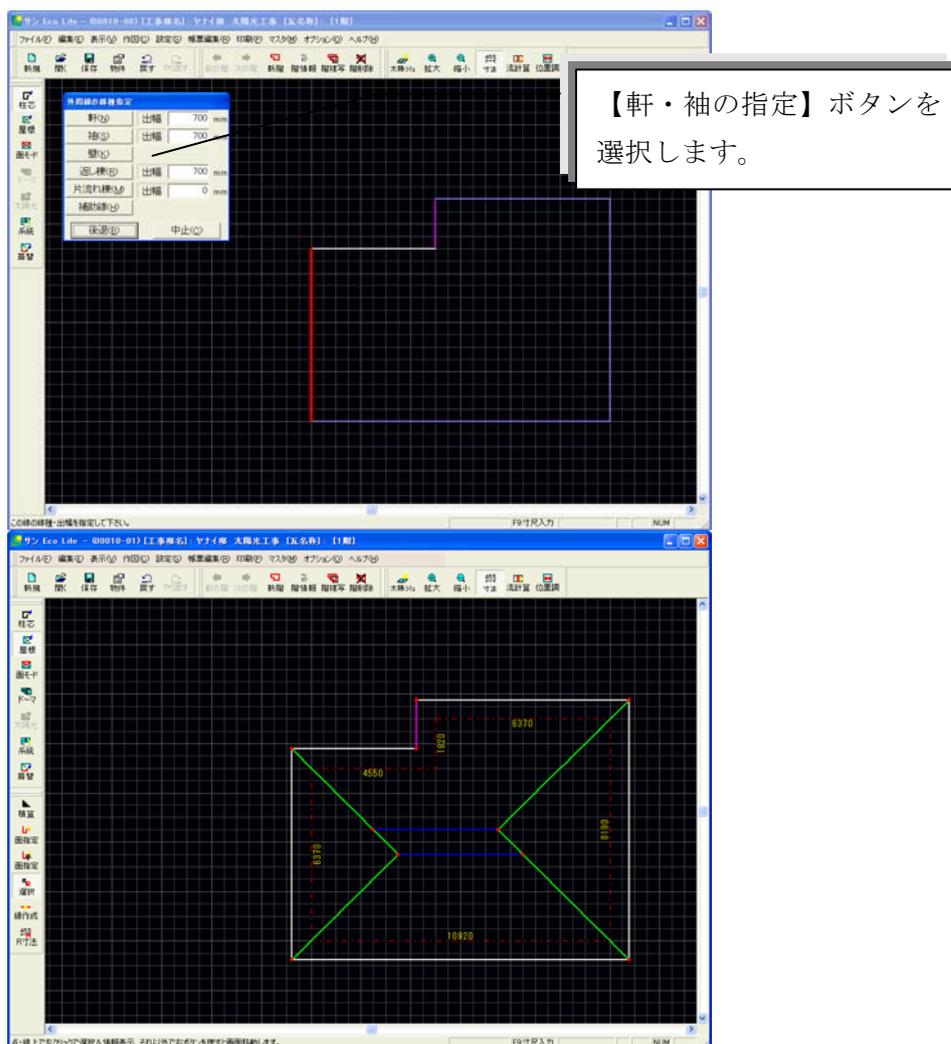
次に屋根伏図の柱芯の軒・袖を指定します。



ツールボタンの場合

軒・袖  ボタンをクリックします。

外周線の線種指定画面(軒袖線の指定)が表示されます。赤く表示されている線の線指定が行えます。軒、袖、返し棟、片流れ棟については出幅を設定できます。



(2-e) 屋根線の修正

軒・袖の指定が終了すると、屋根を自動作図します。細部の変更等ある場合は、手動で屋根作図をします。

屋根作図以降で使用する主なボタンの説明をします。



既点S：図面を自由に移動できるようにします。

グリッド：図面をグリッド線に合わせて移動できるようにします。

芯表示：柱芯を点線で表示します。

拡大：図面を拡大します。

縮小：図面を縮小します。

寸法：柱芯の寸法を表示します。

流計算：下記のような水平長さと同流れ長さの計算ダイアログを表示します。

長さの計算 ✕

隅棟・谷

計算結果

水平長さ

流れ長さ

長さ mm

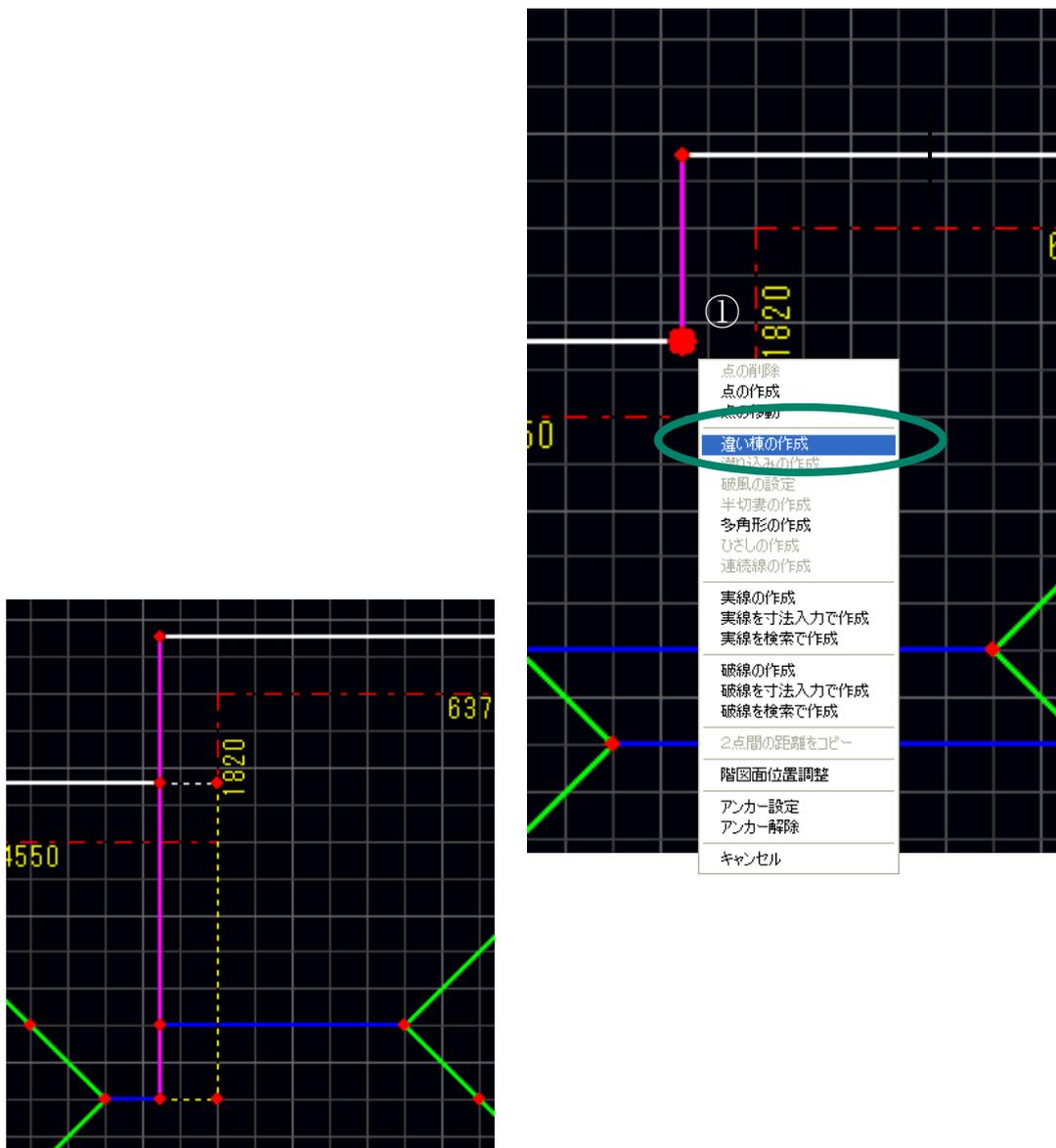
勾配 寸

結果 mm

位置調：屋根が画面内に収まる様に調整します。

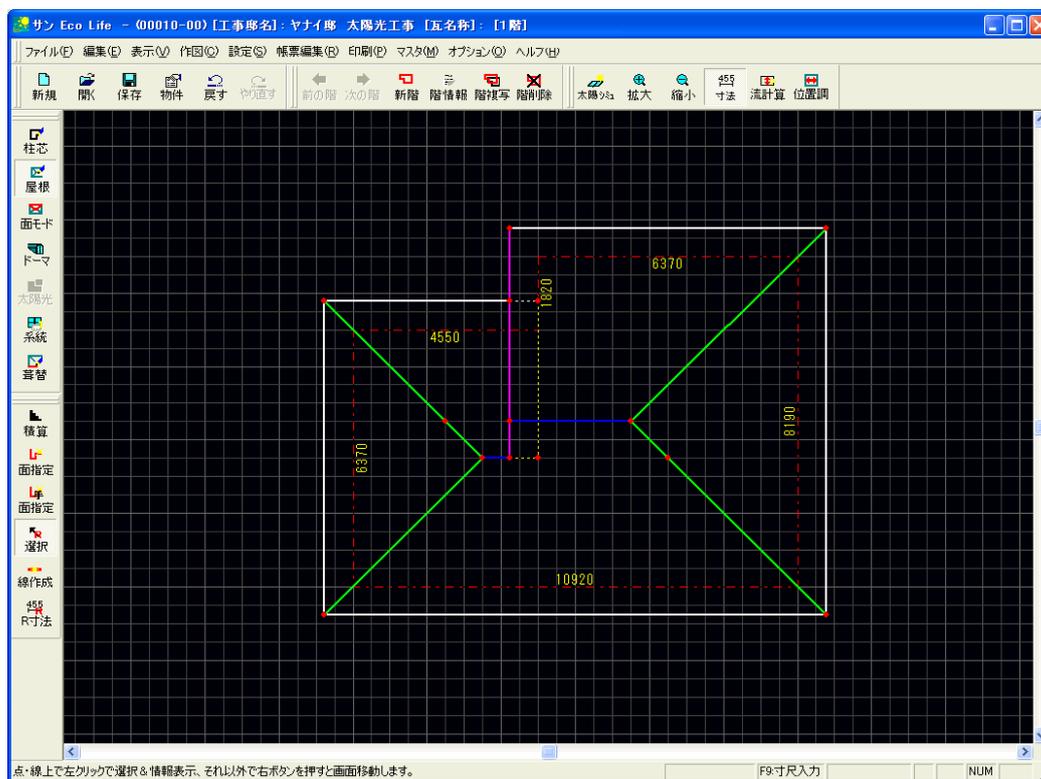
違い棟の作図

- ① 点を指定し、右クリックで左図のメニューが表示されます。
メニューから[違い棟の作成]を選択すると、違い棟が作図できます。



違い棟が作成されます。破線の黄色で指定された部分は屋根の上屋根の下に潜り込んでいる壁にあたります。

以上で違い棟の作成が終了しました。



入母屋の作図

西側の軒線を指定し、右クリックで左図のメニューが表示されます。[入母屋の作成]を選択します。



入母屋屋根の各情報を入力し、【OK】ボタンをクリックします。

入母屋の設定	
種類 <input checked="" type="radio"/> 入母屋(I) <input type="radio"/> 箕甲(M)	寸法 <input checked="" type="radio"/> 軒-袖を指定 <input type="radio"/> 軒-壁を指定 軒-袖(N): 700 mm 0 枚 袖-壁(S): 700 mm 0 枚
登り(D): 右	
下り棟の作成 <input checked="" type="radio"/> 使わない(U) <input type="radio"/> 下り棟を作成(K) <input type="radio"/> 風切を作成(Z)	刀根丸・袖丸の作成 刀根丸(D): 無し 袖丸(R): 無し 1列目の位置: 0 枚 <input type="checkbox"/> 下端を下り棟に合せる(A)
下り鬼の位置 軒からの距離 (軒瓦含まず)(Q): 2 枚 ※軒瓦がある時は、軒瓦の足が加わります。 違い棟の時の位置(O): 0 枚	<input type="checkbox"/> 隅棟を二の棟・葺見棟に変更 <input checked="" type="checkbox"/> 設定を保存する
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

種類：入母屋、箕甲を選択できます。

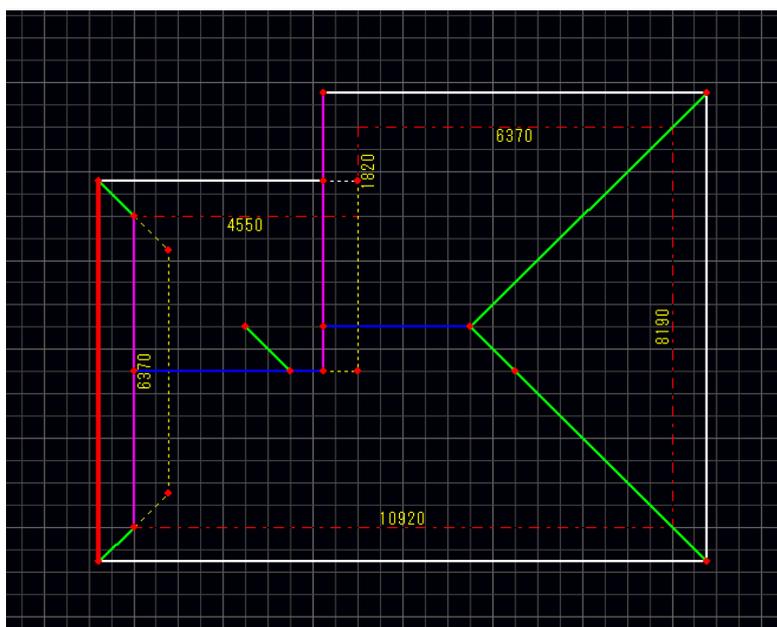
軒-袖：軒から袖の長さ又は瓦の枚数を指定します。

袖-壁：袖から壁の長さ又は瓦の枚数を指定します。

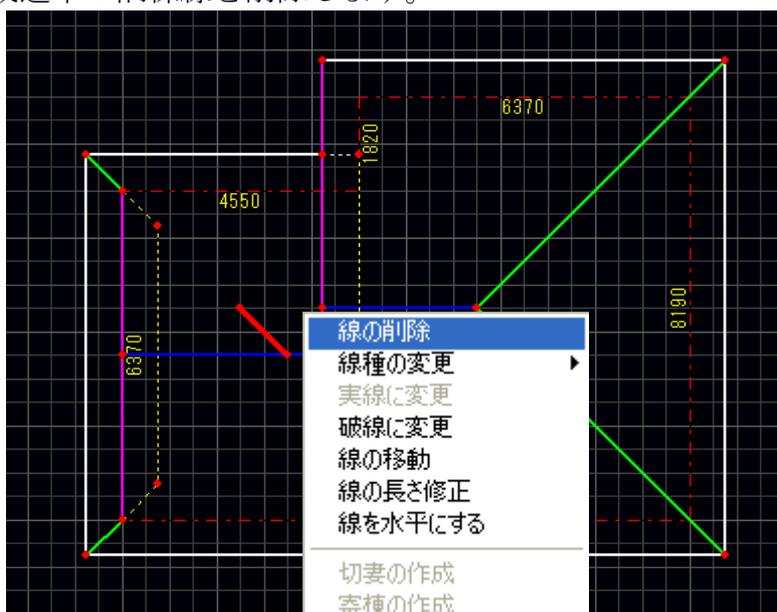
登り：登り方向を指定します。

下り棟：下り棟の有無を指定します。

刀根丸・袖丸：刀根丸と袖丸の本数を指定します。



入母屋の作成途中の隅棟線を削除します。

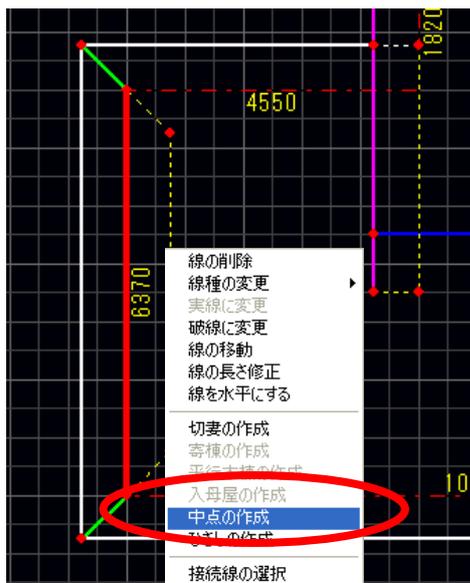


以上で入母屋の作図は終了しました。

屋根線の修正

屋根の修正が必要な時のみ使用します。

屋根の形状などにより屋根線を修正する場合は以下の操作を行います。

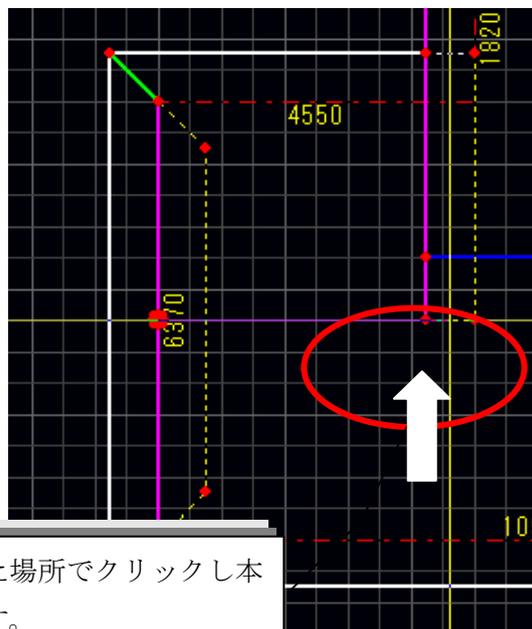


袖線を指定し、右クリックで左図のメニューが表示されます。[中点の作成]を選択すると、袖線を中心点が作成できます。

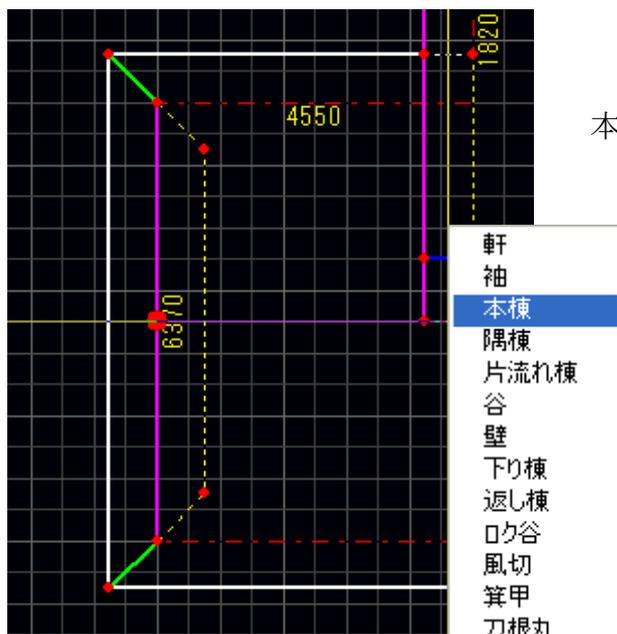


作成した中点を選択し、右クリックで左図のメニューが表示されます。[実線を検索で作成]を選択します

袖の線を超えるまで線を引き左クリックすると線種が表示されますので、本棟線を選択して下さい。



袖を行き過ぎた場所でクリックし本棟を指定します。



本棟が作成されます。

以上で屋根線の修正が終了しました。

(3) 面の指定

屋根伏図ができましたので次に面（屋根線の重なり具合）の指定を行ないます。面指定は次の手順で行ないます。2 F以上ある物件では、一連の操作を必要な階だけ繰り返します。

- (3-a) 面の作成（自動面指定）
- (3-b) 手動面指定
- (3-c) 面の修正（勾配）
- (3-d) ドーマ追加（※今回説明無し、必要時のみ）

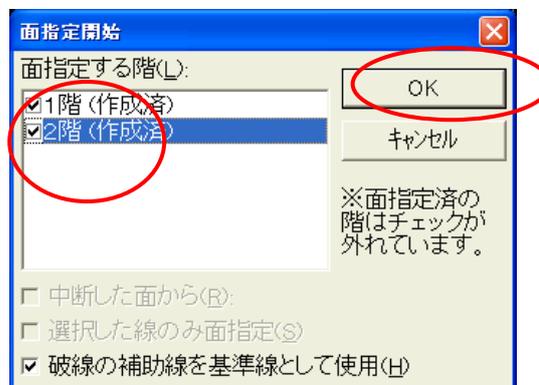
(3-a) 面の作成（自動面指定）

寄棟や切妻などの簡単な屋根の場合、自動的に面指定できます。

ツールボタンの場合

- ・面（自動）  ボタンをクリックします。

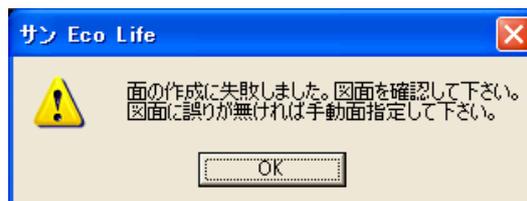
面作成（自動面指定）する階の指定画面が表示されます。チェックマークのついてる階の屋根を面指定しますので、面指定したくない階はチェックマークを外します。指定が終了したら【OK】ボタンをクリックします。



正しく面指定が行われると、右の様な画面がでます。



面指定に失敗すると、右のような画面が出ます。その時は、手動面指定を行ないます。



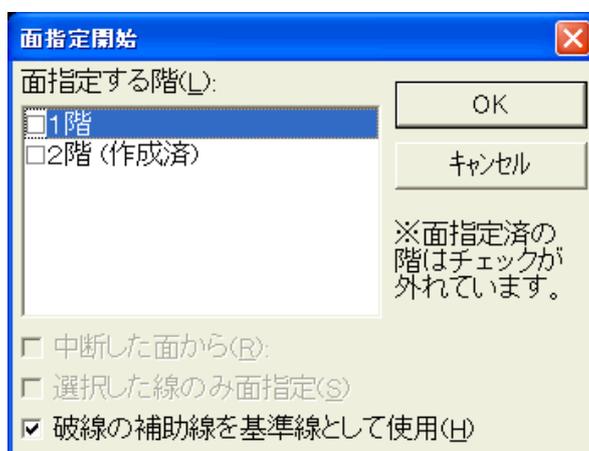
(3-b) 手動面指定

自動面指定では、稀に正しく面を指定できなかつたり、途中で失敗することがあります。そのようなときには、手動で面指定を行います。

ツールボタンの場合

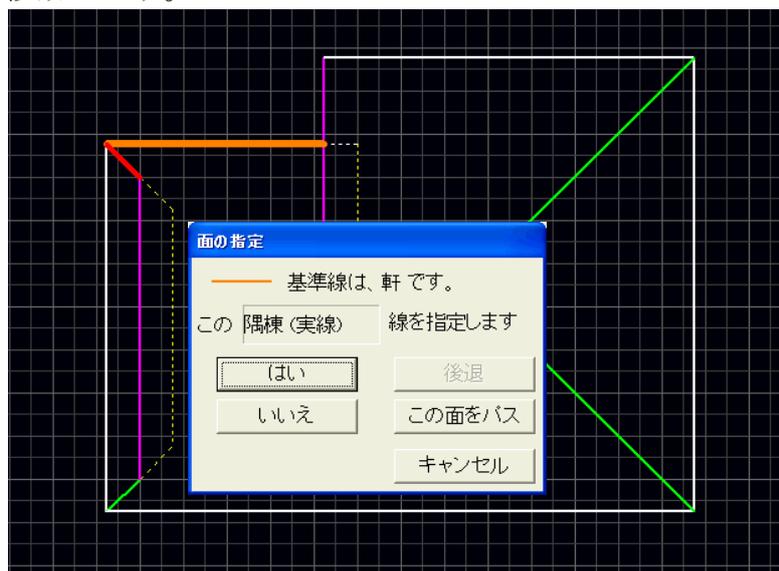
面（手動）  ボタンをクリックします。

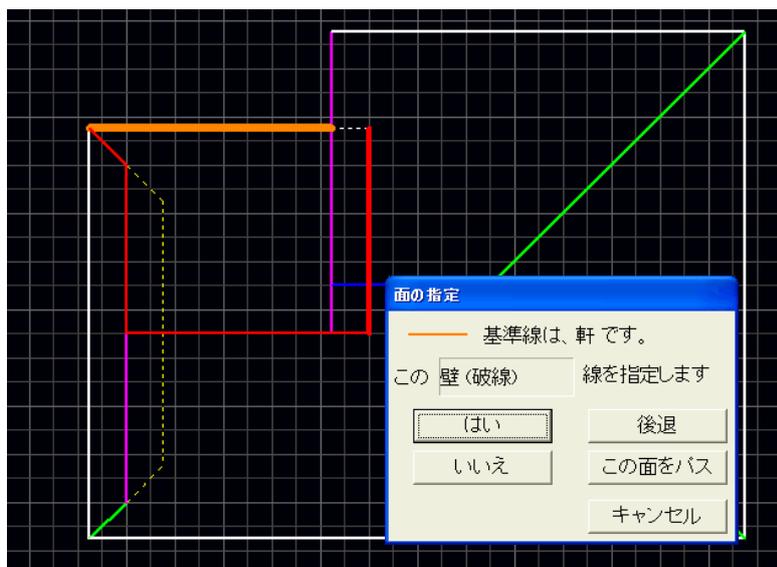
自動面指定と同じく、面作成をする階指定画面が表示されますので、階を指定して【OK】ボタンを選択します。



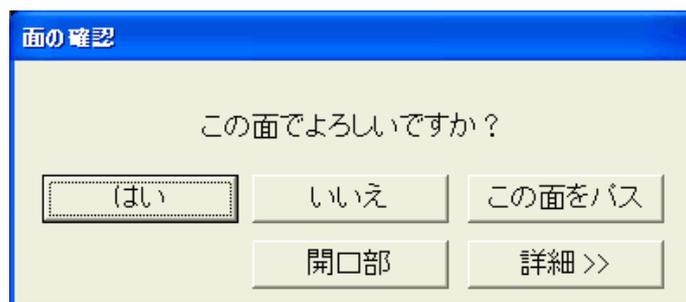
オレンジ色の線を基準に赤線で1つの面を囲む作業を行います。

「はい」を押すと該当する線を指定していきます。「いいえ」を押すと他に接続された線に移動します。



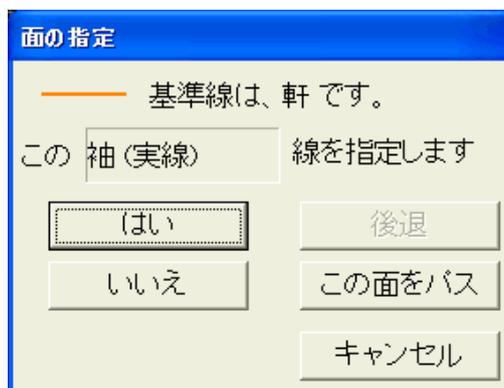


面の指定が開始する毎に、赤線で囲まれた面の確認画面が表示されます。

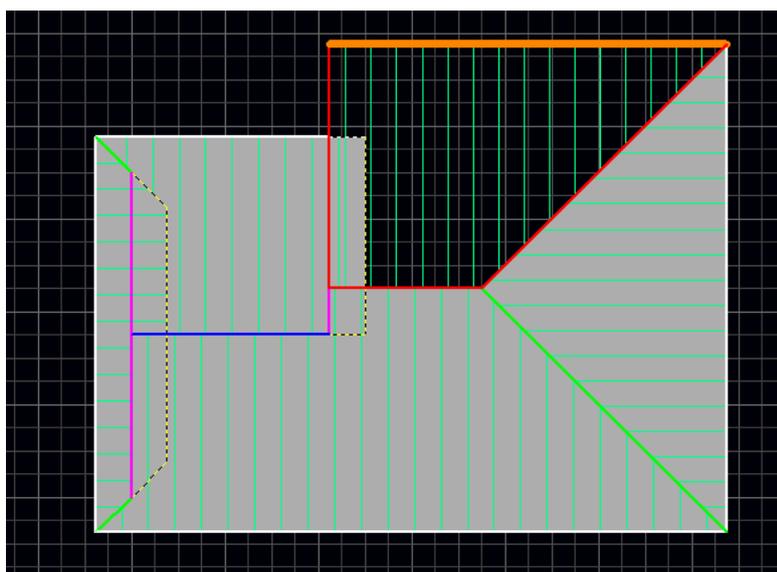
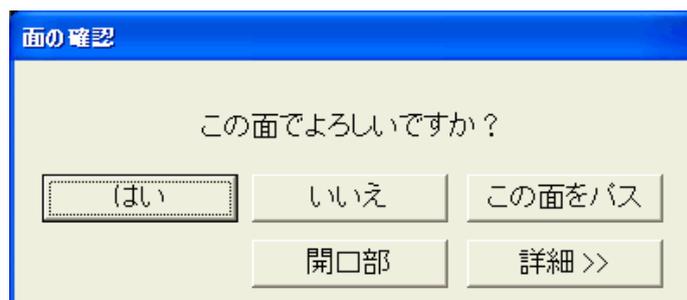


よければ【はい】を選択します。【詳細】を選択すると、選んだ線の一覧が表示されます。【この面をパス】を選択すると、積算する必要のない面をパスすることができます。【開口部】を選択すると、開口部に設定します。

赤い太線の線種の確認画面が表示されるので、よければ【はい】を選択してください。【後退】を選択すると、その基準線である時の1つ前に戻ることができます。【この面をパス】を選択すると、積算する必要のない面をパスすることができます。



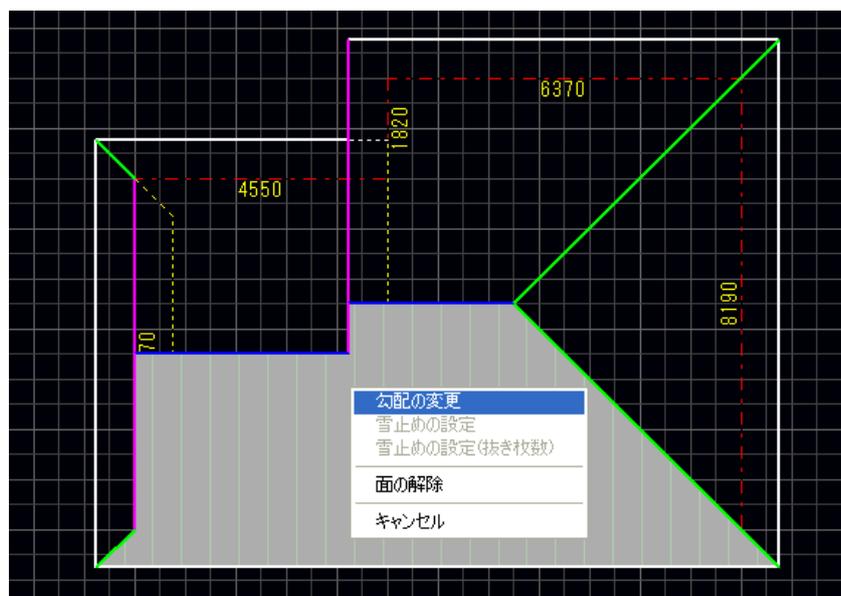
面の指定が終了するごとに、面の確認画面が表示されますので、よければ【はい】を選択してください。【詳細】を選択すると、選んだ線の一覧が表示されます。【この面をパス】を選択すると、積算する必要のない面をパスすることができます。【開口部】を選択すると、開口部として面は指定されません。



すべての面を指定すると面指定は終了します。

(3-c) 面の修正

面ごとの情報を変更したい場合は、その面の上で右クリックすると、メニューが表示されます。変更したい項目を選択してください。
勾配等の設定・変更もここで行ないます。



勾配の変更

面ごとに屋根勾配を変更できます。数値を入力して【OK】ボタンをクリックします。

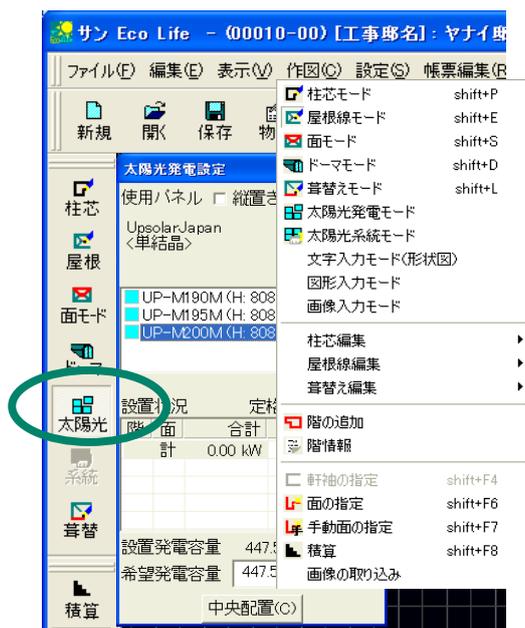


以上で屋根伏図が完成しました。

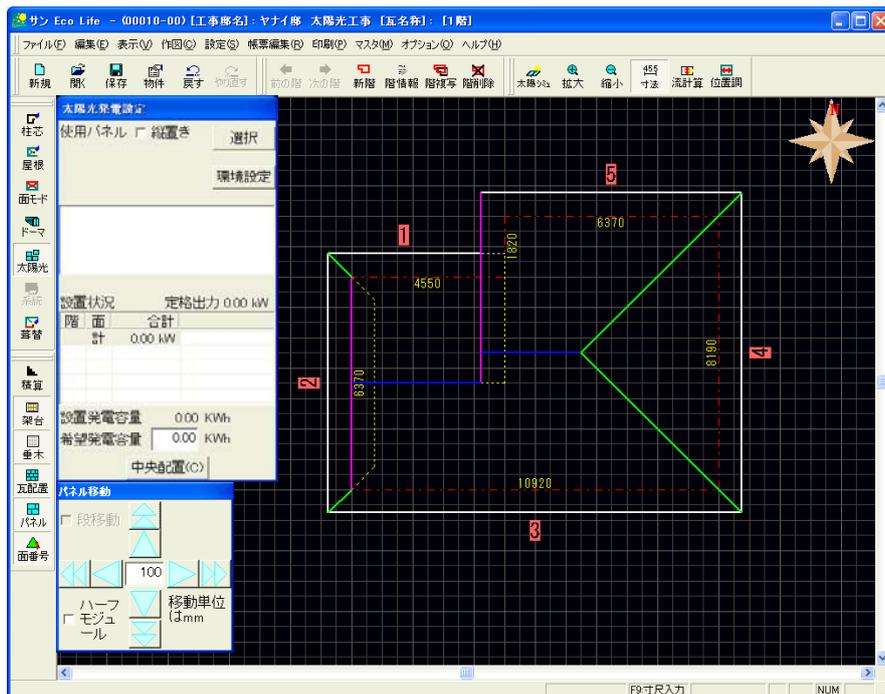
(3-d) 太陽光モジュールの設置

太陽光モジュールの設置では、各面に太陽光のモジュール設置を行います。

上記メニューから「太陽光発電モード」または  を押します。

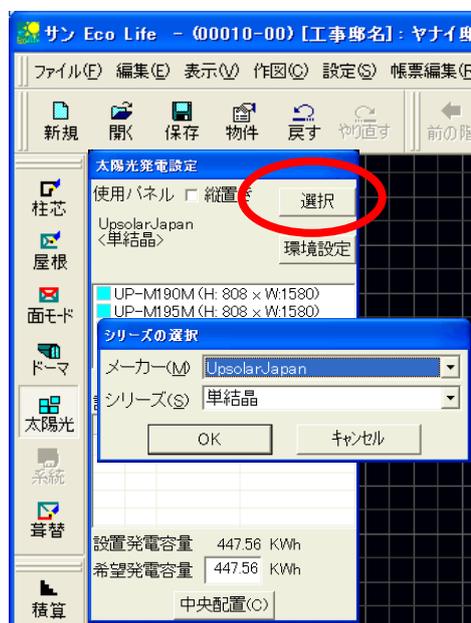


太陽光パネルモードが表示されます。



太陽光モジュールの選択

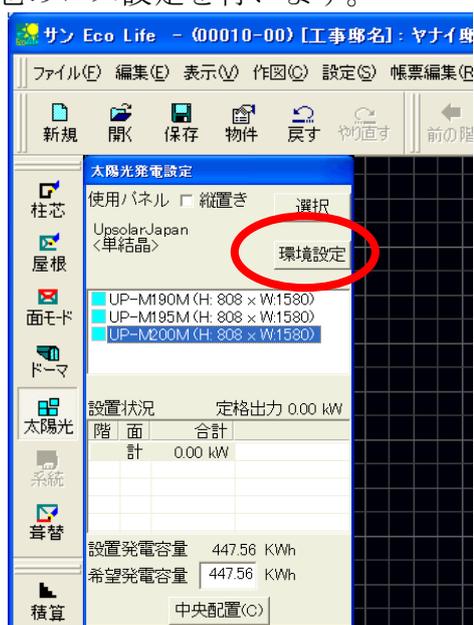
太陽光発電設定から選択ボタンを押します。



「シリーズの選択」画面が表示されますので「メーカー」「シリーズ」の選択をします。

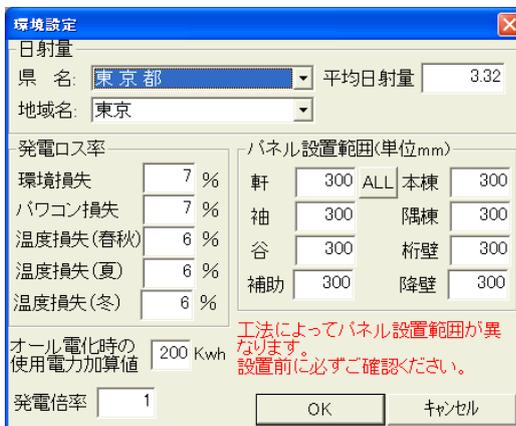
環境設定

各県の平均日射量、屋根面に太陽光モジュールを設置する時の限界値の設定、その他のロス設定を行います。



平均日射量

各都道府県、地域を選択すると平均日射量が設定されます。
平均日射量は気象庁のデータをもとに作成されています。



パネル設置範囲の設定

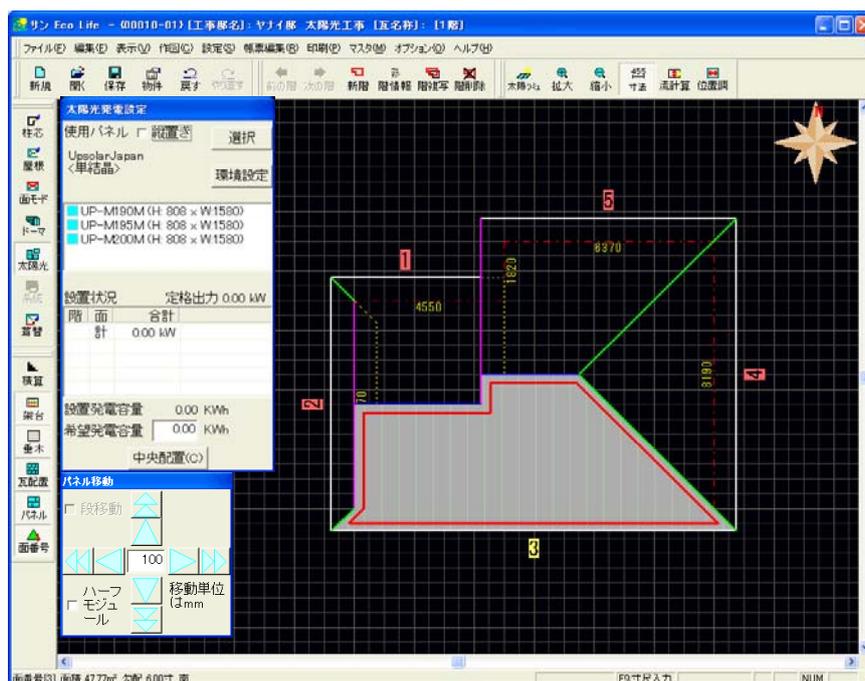
軒、袖、など各線種から指定した範囲を選択されている面から除外し屋根図面上に赤線が表示されます。
設定単位は mm にて設定します。

発電ロス率

環境損失、パソコン損失、温度損失を各%（パーセント）で指定します。

南面モジュールの配置

モジュールを設置したい面を選択します。



環境設定で指定したパネル設置範囲が赤線で表示されます。

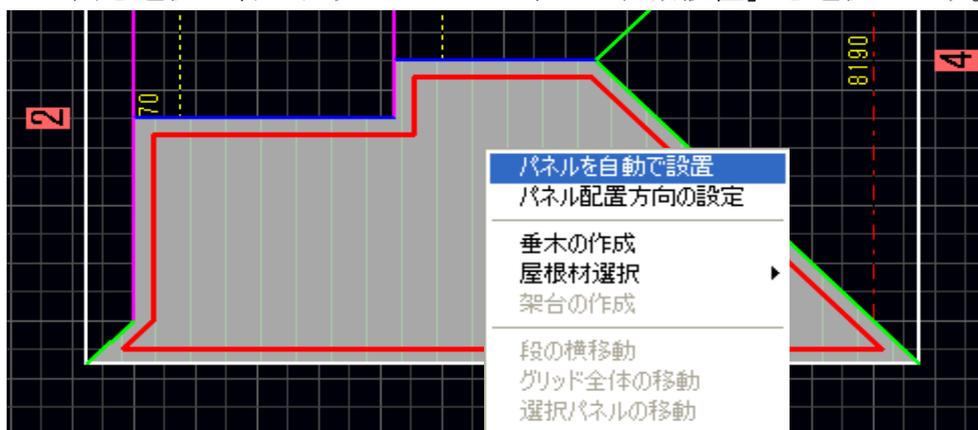
モジュールを設置した後にこの線より外に出るとモジュールは赤く表示されます。

太陽光発電設定でモジュールの種類を選択します。

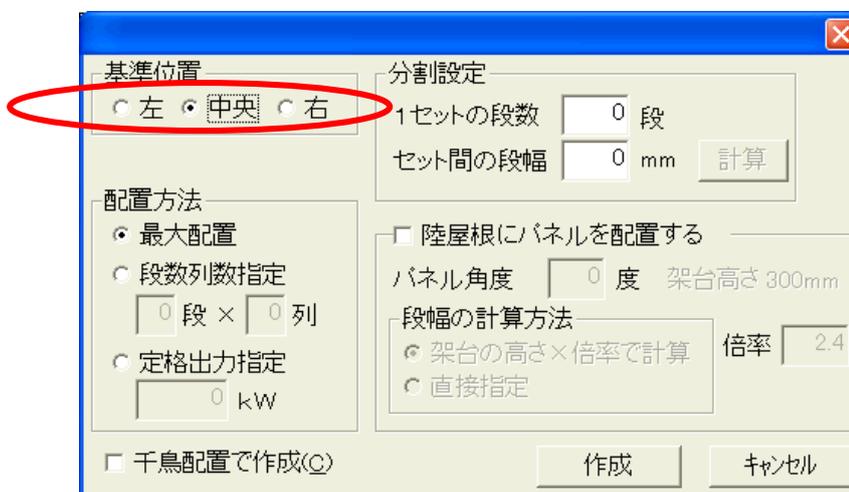
縦置き：使用モジュールを縦置きに変更します。



設置したい面を選択し右クリックして「パネルの自動設置」を選択します。



パネルの自動設置を選択すると下記の画面が表示されます。



基準位置：選択された面に太陽光モジュールを左寄せ、中央、右寄せで設置するかを指定します。

配置方法：最大配置、段数列数指定、定格出力指定から設定できます。

最大配置：選択された面に最大限配置します。

段数列数指定：段数、列数を入力すると配置されます。

定格出力指定：選択されたモジュールの定格出力の合計を最大値にして配置されます。

分割設定：太陽光モジュールの設置方向を指定します。

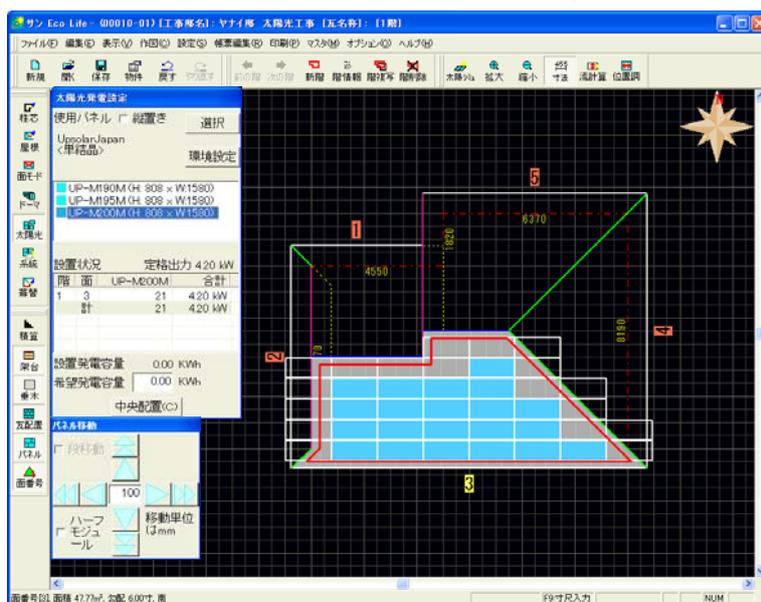
1セットの段数：モジュール1セットの段数を設定します。

セット間の段幅：モジュールセット間の段数を設定します。

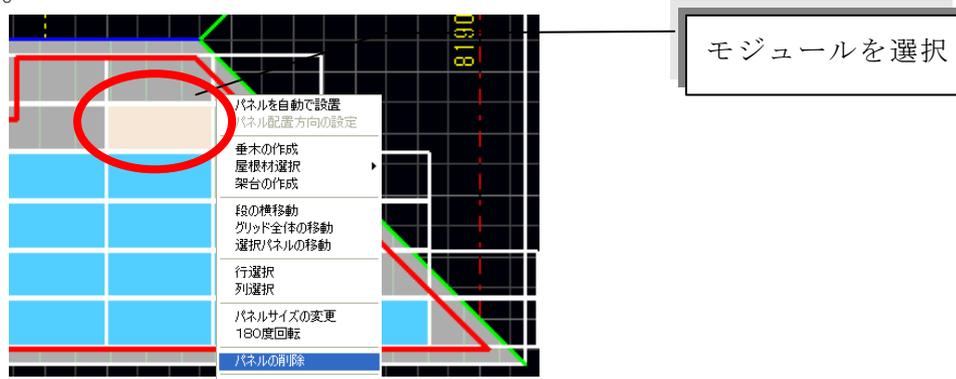
陸屋根にパネルを配置する：陸屋根にモジュールを配置する場合に使用します。

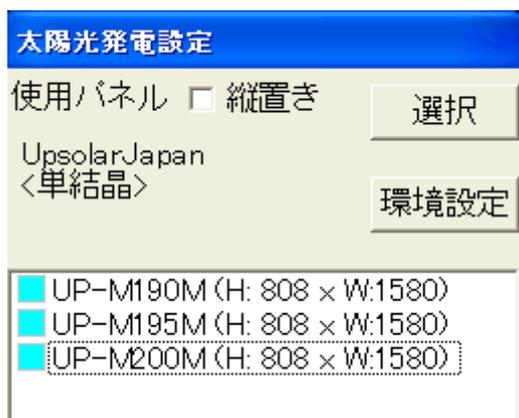
千鳥配置で作成：太陽光モジュールを千鳥配置にします。

作成ボタンを押すとモジュールが自動設置されます。

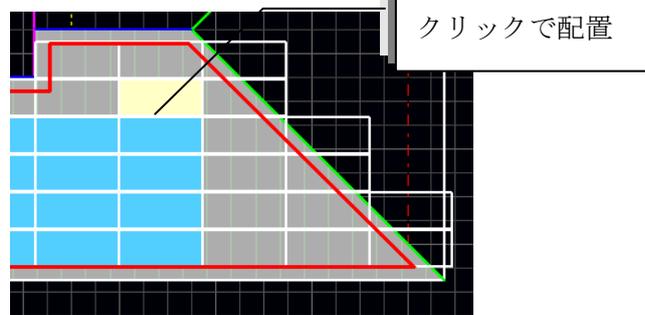


自動設置されたモジュールの位置や形状を変更する場合は一度モジュールを削除します。



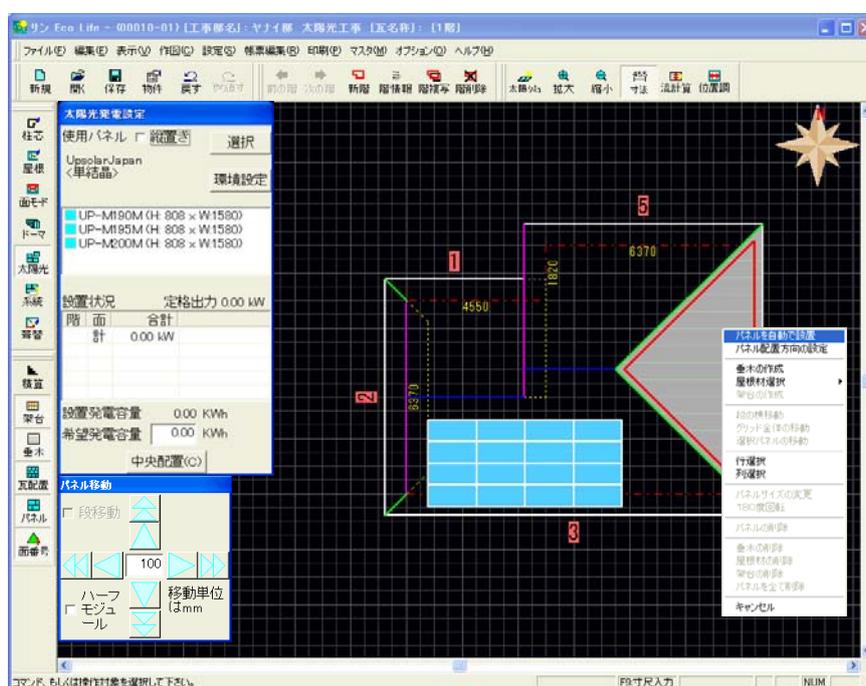


配置するモジュールを選択し削除した升目をクリックするとモジュールが配置されます。

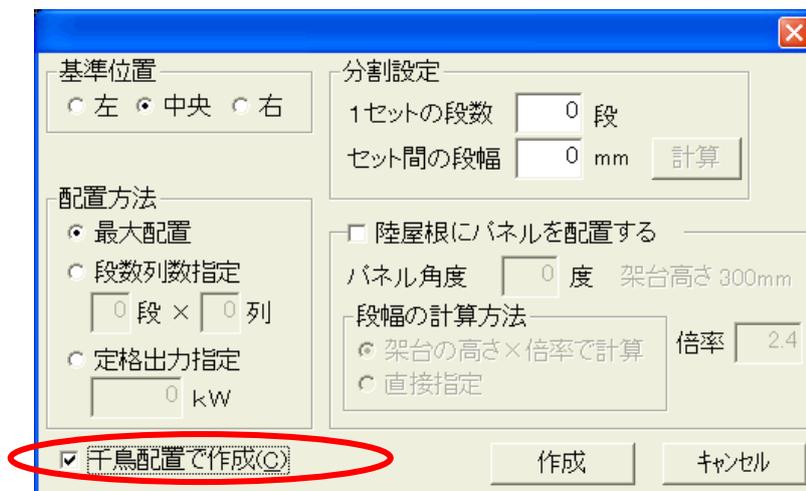


同様に東面にも太陽光モジュールを配置します。
東面モジュールの配置

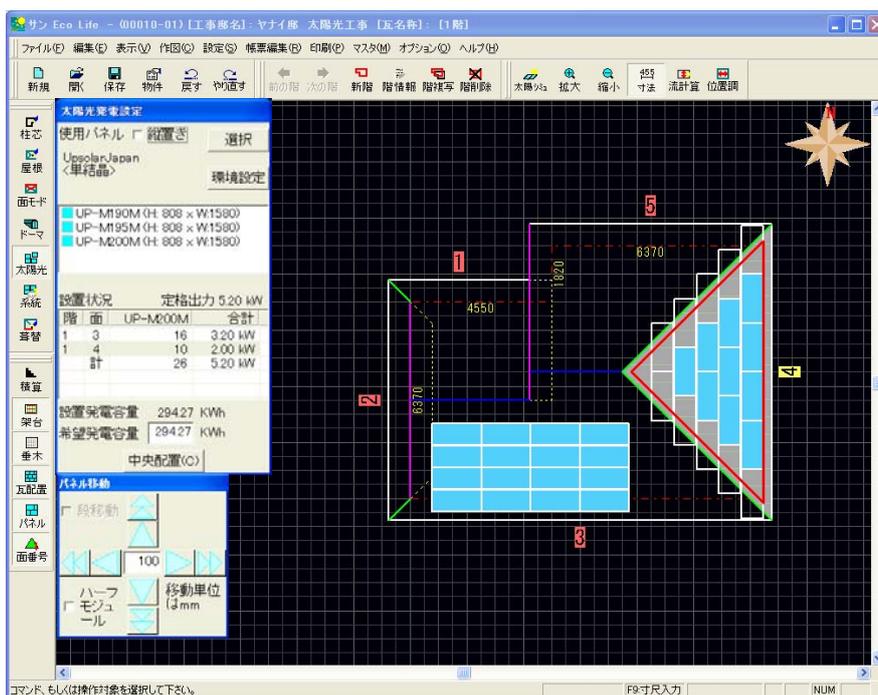
東面を選択し右クリックして「パネルの自動設置」を選択します。



パネルの自動設置を選択すると下記の画面が表示されます。

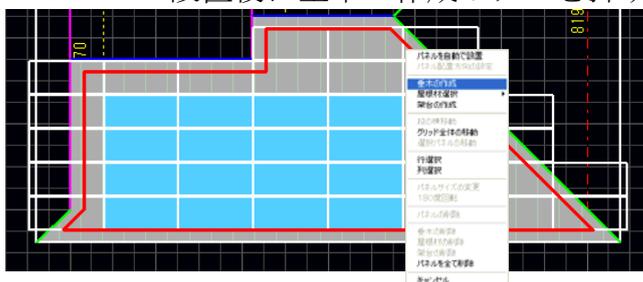


モジュールを効率良く乗せるため「千鳥配置で作成」にチェックをいれ作成を押します。

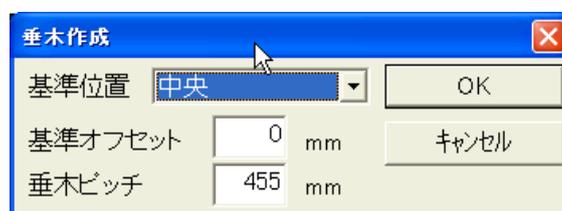


垂木の設置

モジュール設置後に垂木の作成ボタンを押すと垂木が作成されます。



垂木配置の基準位置を選択し基準オフセット、垂木ピッチを入力します。基準位置オフセットは選択した基準位置からのズレ寸法を設定します。垂木ピッチは垂木の配置間隔です。



瓦の設置の設置

垂木の設置後に瓦の配置を行います。



瓦の大きさ(効足, 効幅)

屋根瓦	235x265
スレート瓦	910x182
金属屋根	910x182
折半屋根	1000x455

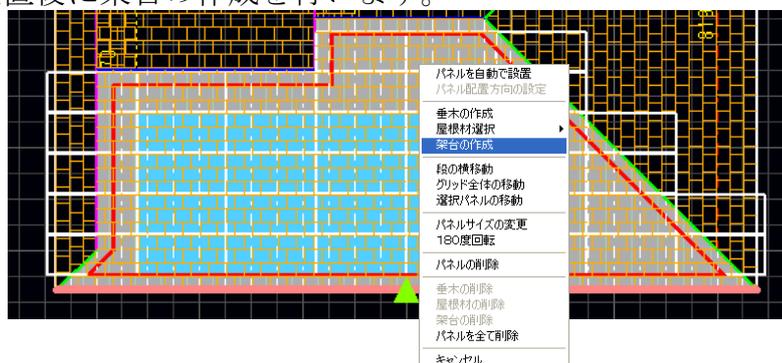
を選択します。

瓦設定は、配置する瓦の効き寸法を設定、変更することが可能です。

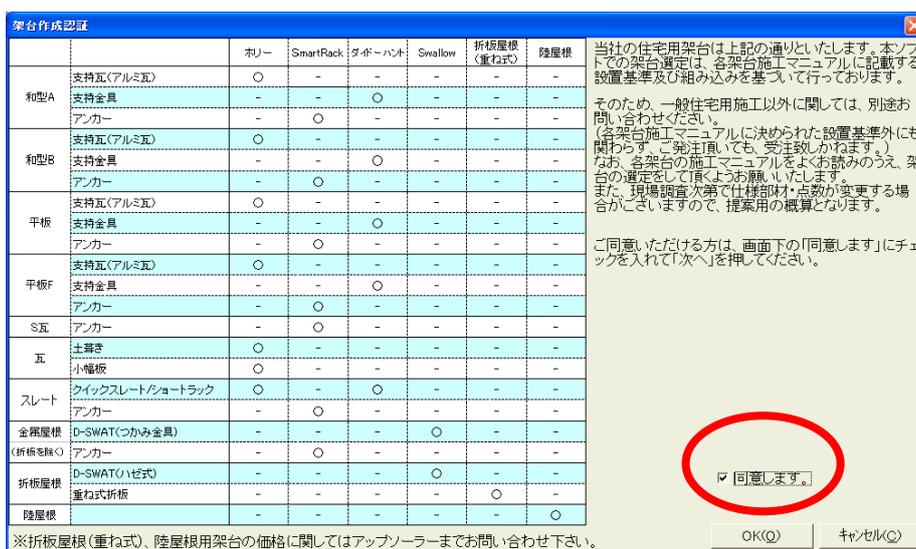


架台の設置

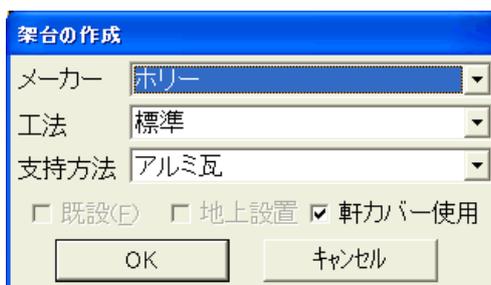
瓦設置後に架台の作成を行います。



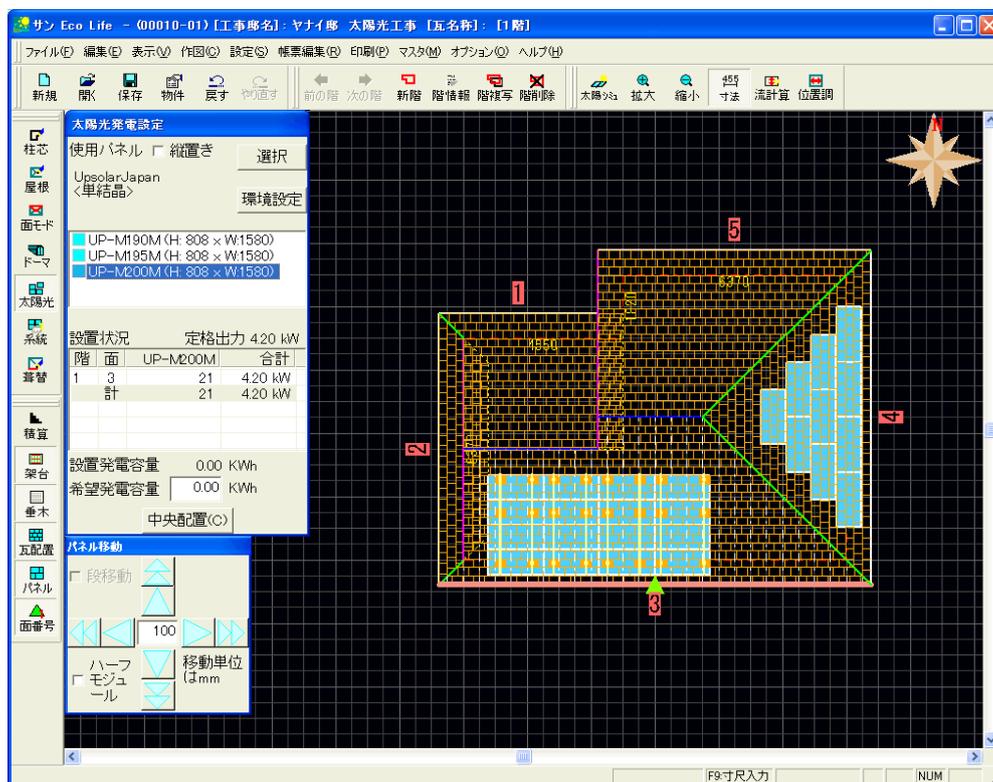
架台の作成を選択すると「架台作成認証」画面が表示されますので「同意する」にチェックを入れ「OK」ボタンを押します。



架台の作成は 架台メーカー、工法を選択すると自動で作成されます。



下記のように架台が作成されます。

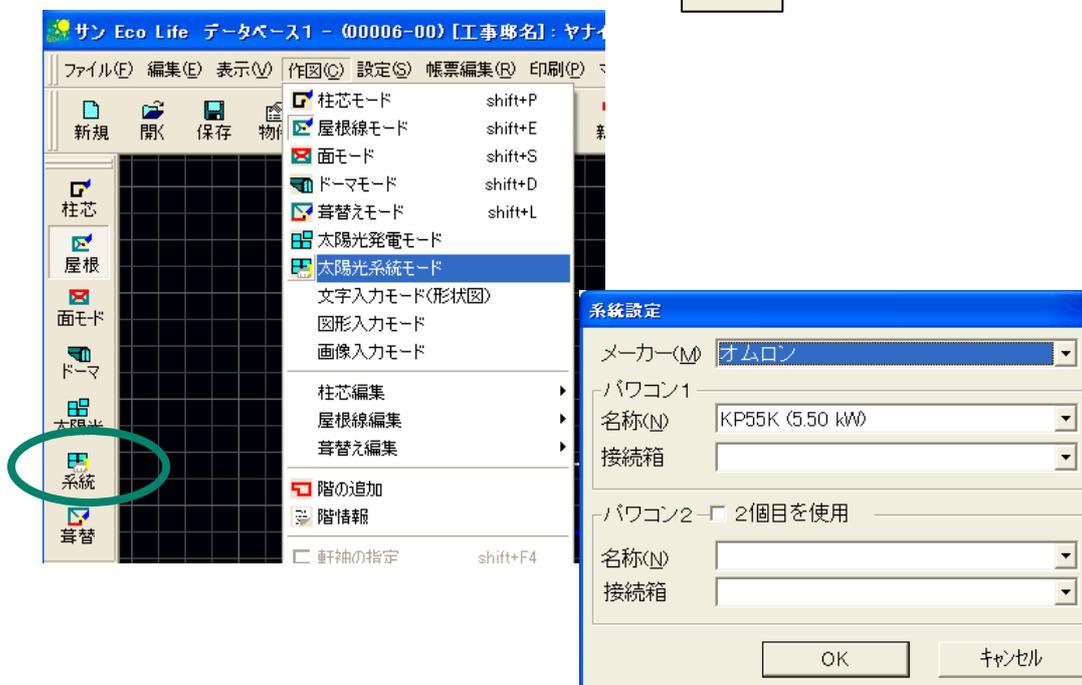


系統設定

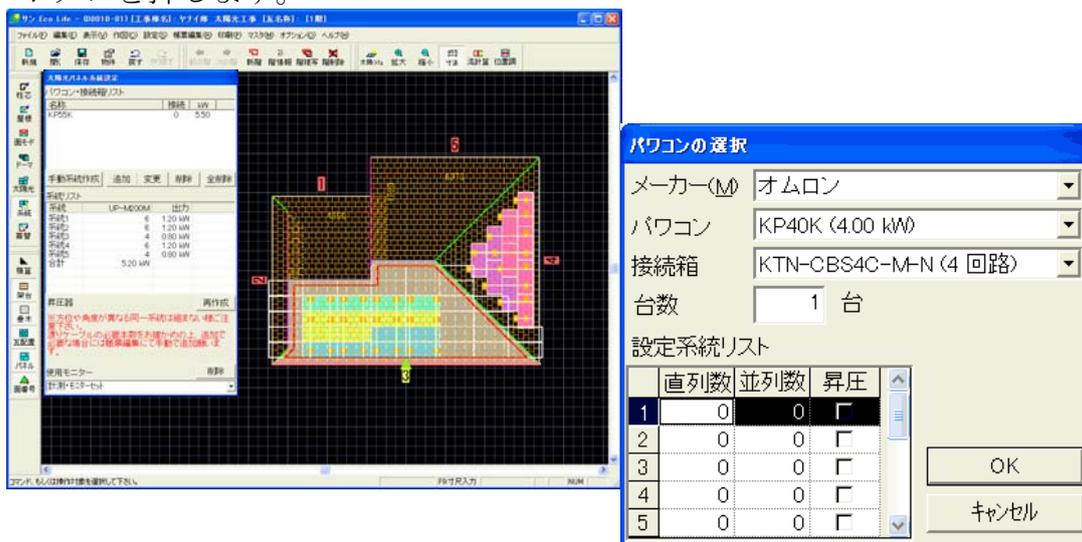
上記メニューから「太陽光システムモード」または



を押します。



太陽光システムモードを選択すると下記の選択画面が表示されパワーコンディショナ、接続箱の候補が表示されますので、該当する製品を選択し [OK] ボタンを押します。



系統は各系統別に色分けされ表示されます。

または追加ボタンを押すとパワーコンを追加することが可能です。

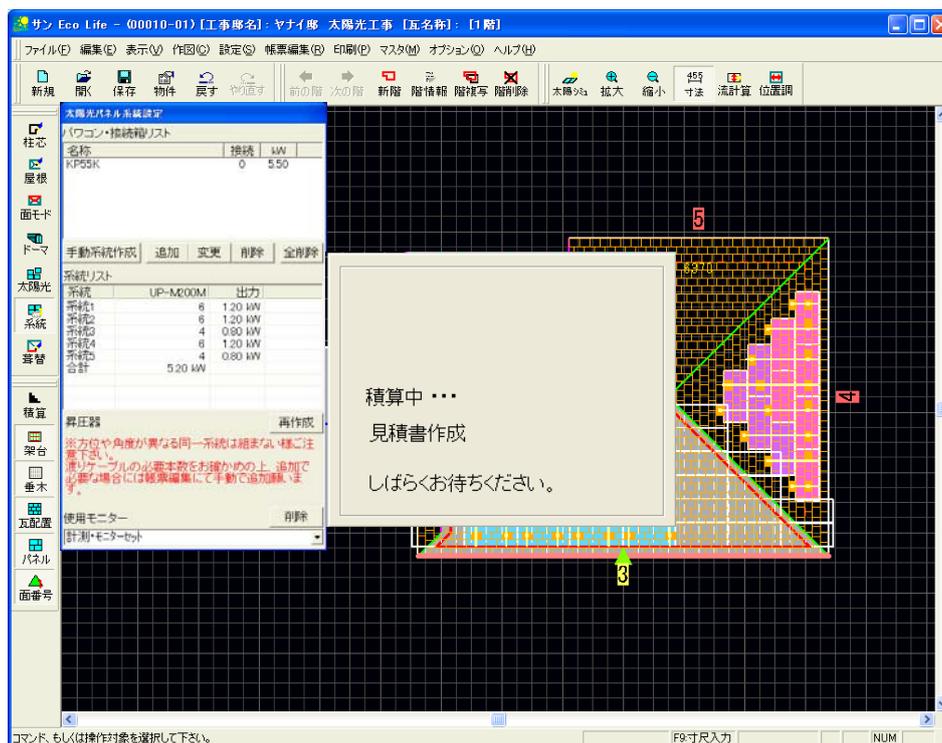
(4) 積算

屋根伏図を元に太陽光モジュール、副資材、見積り等の積算をします。

ツールボタンの場合

- ・ 積算ボタン  をクリックします。

積算中は下図のような画面が表示されますので、しばらくお待ち下さい。



以上で、積算処理は終了です。

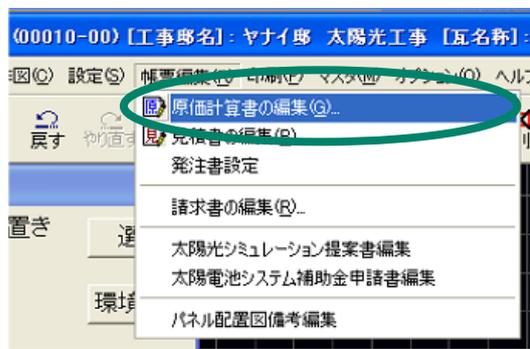
(5) 帳票編集

積算結果を元に、帳票（原価計算書・見積書・発注書）の修正を行ないます。

- (5-a) 原価計算書の編集
- (5-b) 見積書の編集
- (5-c) 発注書の編集

(5-a) 原価計算書の編集

メニューから



「原価計算書の編集」ボタンをクリックします。

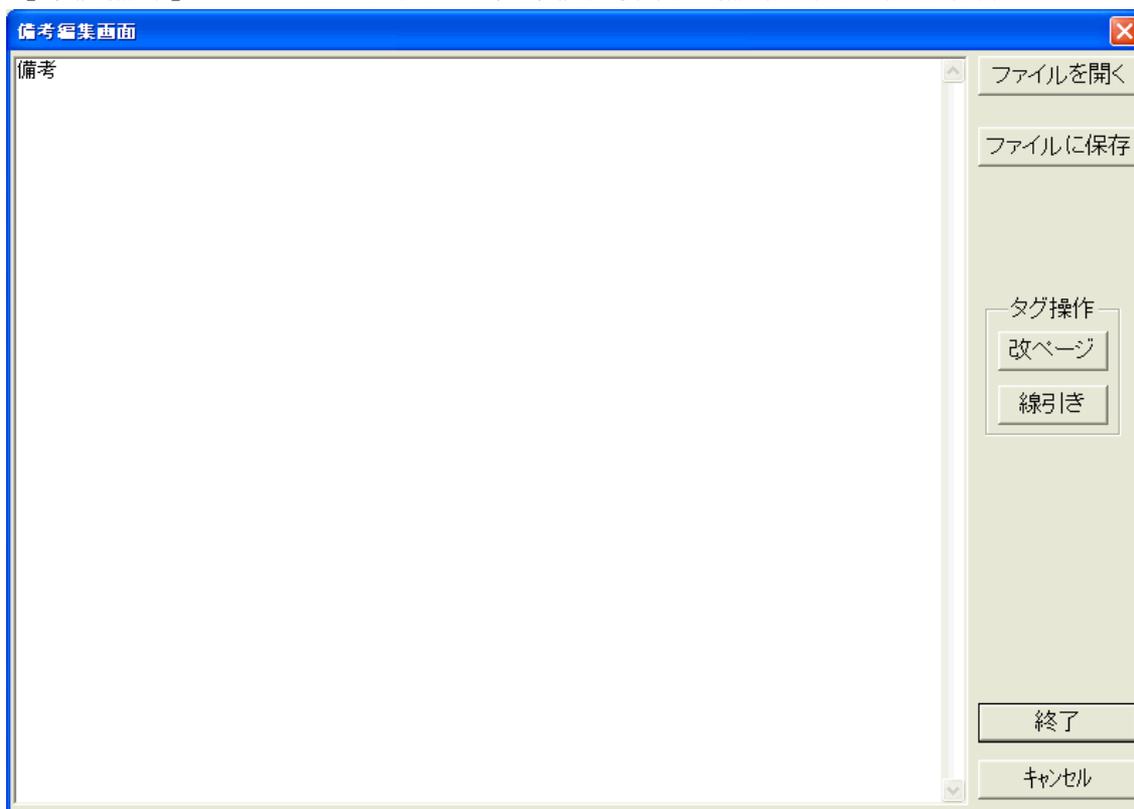
下記の編集画面が出ます。

コード	項目名	数量	単位	単価	金額	比	桁
UP-M200M	太陽光パネル UP-M200M	26	枚	76,500.00	1,989,000	81.16	0
KP55K	パワーコンディショナー(オムロン)	1	台	320,000.00	320,000	13.06	0
KP-CM2-SET-WB05	計測・モニターセット	1	台			0.00	0
KP-ST3-1	昇圧ユニット	2	台			0.00	0
PV-HCV1C×3.5SQ(20m)	延長ケーブルセット(20m)	5	本			0.00	0
PV235-040	レール4段 L=3402	10	本			0.00	0
PV235-010	レール1段 L=897	2	本			0.00	0
PV235-020	レール2段 L=1732	2	本			0.00	0
PV235-030	レール3段 L=2567	2	本			0.00	0
PTR538-035	アルミ瓦C 3枚セット	14	セット			0.00	0
PTR738-040	スレート・瓦兼用 間カバー用端部	12	セット			0.00	0
PV501-021	軒先カバー用端部蓋フラックセット	4	セット			0.00	0
PV301-260	部品セットS フラック軒先カバー有	2	セット			0.00	0
PV301-270	部品セットS フラック軒先カバー有	2	セット			0.00	0
PV301-280	部品セットS フラック軒先カバー有	2	セット			0.00	0
PV201-210	部品セットS フラック軒先カバー有	10	セット			0.00	0

各項目の編集は、マウスで直接項目を選択しキーボードで入力することにより変更できます。

ボタン	説明
【挿入】	新しい行を追加します。挿入ボタンを押すと空白行が作成され、新しい項目を入力することが出来ます。
【コピー】	コピーボタンを押すと現在選択されている行が複写され同一の項目が作成されます ※同じような項目を入力する場合には【複写】ボタンを使用すると便利です。
【削除】	現在選択されている行を削除します。
【上・下へ移動】	選択された行を【上へ移動】ボタン又は【下へ移動】ボタンをクリックして、上・下移動させます。項目の順番を変更する場合に使用します
【再計算】	任意の時点で計算し直すことが出来ます。
【原価備考】	原価計算書の備考を原価計算書備考欄に記入することが出来ます。 ※画面を次ページに示します。

【原価備考】 ボタンをクリックし、原価計算書に備考を記入する場合



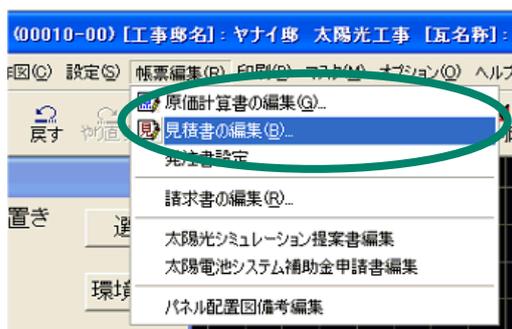
原価計算書、出荷指示書の備考を記入すると原価計算書の備考欄の画面は下記
のようになります。



(5-b) 見積書

この見積書は、見積マスタから作成される見積書です。

メニューから



「見積書の編集」ボタンをクリックします。

このような編集画面が表示されます。

項目名の編集は、マウスで直接項目を選択し入力することができます。

見積マスタによる見積書編集

積算番号 00010-00 作成日 2012年9月29日

得意先 柳井工務店 見積 2,500,000

工事名 ヤナイ邸 太陽光工事 税額 125,000

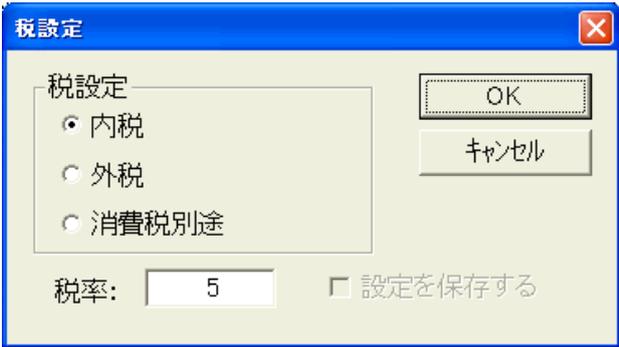
有効期限 見積(Net) 2,625,000 円

受渡期限 値引き 円

支払条件 492,307 円/kW

補	コード	項目名	数量	単位	単価	金額	桁
▶	☐	太陽光パネル					0
	<input checked="" type="checkbox"/>	UP-M200M 太陽光パネル UP-M200M	26	枚	85,000	2,210,000	0
	<input checked="" type="checkbox"/>	KP55K パワーコンディショナー(オムロン)	1	台	350,000	350,000	0
	<input checked="" type="checkbox"/>	KP-CM2-SE 計測・モニターセット	1	台			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	KP-ST3-1 昇圧ユニット	2	台			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV-HCV1C× 延長ケーブルセット(20m)	5	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV235-040 レール4段 L=3402	10	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV235-010 レール1段 L=897	2	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV235-020 レール2段 L=1732	2	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV235-030 レール3段 L=2567	2	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PTR538-035 アルミ互C 3枚セット	14	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PTR738-040 スレート・互兼用 間カバー用端部	12	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV501-021 軒先カバー用端部蓋ブラックセット	4	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV301-260 部品セットS ブラック軒先カバー有	2	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV301-270 部品セットS ブラック軒先カバー有	2	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV301-280 部品セットS ブラック軒先カバー有	2	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV301-310 部品セットS ブラック軒先カバー有	10	セット			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV301-362 互軒先カバー H40 (Y-1580)ア	8	本			0
	<input checked="" type="checkbox"/>	PV735-050 間カバー(Y-1580)ブラック	26	本			0

備考:

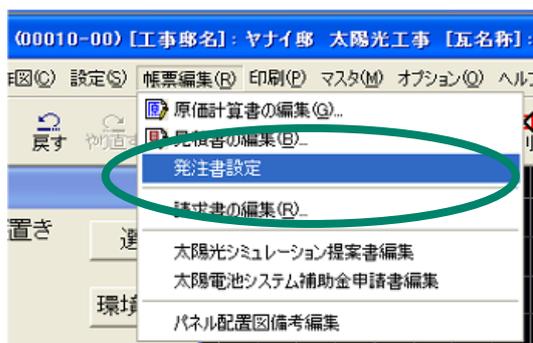
ボタン	説明
【税設定】	<p>消費税込み・抜きの設定を行うことができます。税率の変更も可能です。</p> <p>内税 …………… 内税にします。 外税 …………… 外税（消費税別途）にします。 外税（消費税付） …………… 消費税付きの外税にします。 税率 …………… 消費税の税率を設定します。</p> 

【挿入】	<p>新しい行を追加します。挿入ボタンを押すと空白行が作成され、入力することができます。</p>
【コピー】	<p>コピーボタンを押すと現在選択されている行が複写され同一の項目が作成されます。同じような項目を入力する場合には【コピー】ボタンを使用すると便利です。</p>
【削除】	<p>現在選択されている行を削除します。</p>
【上・下へ移動】	<p>選択された行を【上へ移動】ボタン又は【下へ移動】ボタンをクリックして、上・下移動させます。項目の順番を変更する場合に使用します。</p>
【備考】	<p>備考欄に備考を記入します。</p>
【再計算】	<p>任意の時点で計算し直すことができます。</p>

(5-c) 発注書設定

この発注書は、原価計算書から作成される発注書です。

メニューから



「発注書の設定」ボタンをクリックします。

このような設定画面が表示されます。
発注先の設定を行います。

A screenshot of a dialog box titled '発注先設定' (Purchase Order Settings). The dialog box contains the following fields:

- 発注番号: 2012-HRY-00010-00
- 着工日: 2012/10/03
- 到着希望日: 2012/10/01
- 發送先 (Sender Information):
 - 名称: Upsolar Japan 株式会社
 - 住所: 東京都港区愛宕2丁目5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー24階
- 有効期限: 2012/10/30
- 担当者: 柳井太郎
- 受渡期限: 2012/10/10
- 電話番号: (empty field)
- 支払条件: (empty field)

At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

(6) 帳票印刷

帳票編集終了後、それぞれの帳票の印刷を行ないます。

上のメニューから「印刷」ボタンを選択します。

各印刷メニューをクリックして、印刷する帳票を選びます。

この画面でのボタンの内容は以下の通りです。



原価計算書……………	原価計算書を印刷します。
材料明細書……………	材料明細書を印刷します。
材料明細書(明細行 1 列)	材料明細書を印刷します。
見積書	
形状図付きタイプ……	見積り金額と図面が表示された帳票です。
印鑑欄タイプ	見積り金額と印鑑スペースが表示された帳票です。
屋根形状図……………	物件の屋根形状図面が表示された帳票です。
階別屋根形状図……………	物件の屋根形状図面を階別に表示された帳票です。
シミュレーション……………	シミュレーションを印刷します。
シミュレーション比較表……………	比較表を印刷します。
シミュレーション発電量グラフ…	発電量グラフを印刷します。
シミュレーション発電量相関図…	発電量相関図を印刷します。
環境メリット……………	環境メリットを印刷します。
ローンシミュレーション	ローンシミュレーションを印刷します。
見積比較書……………	2 つ以上の見積りを比較し印刷します。
パネル配置図……………	太陽光モジュールの配置図を印刷します。
パネル系統図……………	太陽光モジュールの系統図を印刷します。
請求書……………	請求書を印刷します。
発注書(モジュール及び周辺機器類)	モジュール及び周辺機器類の発注書を印刷します。
発注書(架台類)……………	架台類の発注書を印刷します。
発注書(架台類・金額無し)	架台類の発注書を金額無しで印刷します。
帳票連続印刷……………	各帳票を一括印刷します。
マスタリスト印刷……………	マスタリストを印刷します。

材料明細書

新築工事		材料明細書		2012年10月 4日	
物件番号	00010-00	積算日	2012年9月29日		
得意先	柳井工務店	住所			
工事名	ヤマイ邸 太陽光工事	工事場所	東京都港区愛宕2丁目5-1		
品名	Upsolar Japan 単結晶				定格出力 5.20kW
	屋根㎡	パネル㎡	互部㎡		
1階	135.9		135.9		
合計	136.0	33.2	136.0		
軒	袖(左)	袖(右)	本棟	下り棟	隣棟
42.7	4.8	9.3	6.9	16.9	
谷	算甲(左)	算甲(右)	刀根丸	袖丸	風切
					隅棟流
					口谷
					山折
					谷折
					延長棟
					25.7
項目名	数量	単位	項目名	数量	単位
太陽光パネル UP-M200M	26	枚			
パワーコンディショナー(4MDC)	1	台			
計測モジュール	1	台			
昇圧ユニット	2	台			
延長ケーブル(20m)	5	本			
レール4段 L=3402	10	本			
レール1段 L=897	2	本			
レール2段 L=1732	2	本			
レール3段 L=2567	2	本			
アルミ50 3枚セット	14	セット			
スリット五層用 簡加へ用端部蓋	12	セット			
軒先加へ用端部蓋フラケット H	4	セット			
部品セキS フラック軒先加へ有り 1	2	セット			
部品セキS フラック軒先加へ有り 2	2	セット			
部品セキS フラック軒先加へ有り 3	2	セット			
部品セキS フラック軒先加へ有り 4	10	セット			
互軒先加へ H40 (Y-1580)フラック	8	本			
簡加へ(Y-1580)フラック	26	本			
PVケーブル 黒	5	本			
計					
工口キューブ 370L	1	台			
防カキングヒーター	1	台			
売電メーター	1.0	個			
架台設置工事	1.0	式			
計					
太陽光パネル設置工事	136.0	㎡			
電力会社申請手続き	1.0	式			
計					
合計					

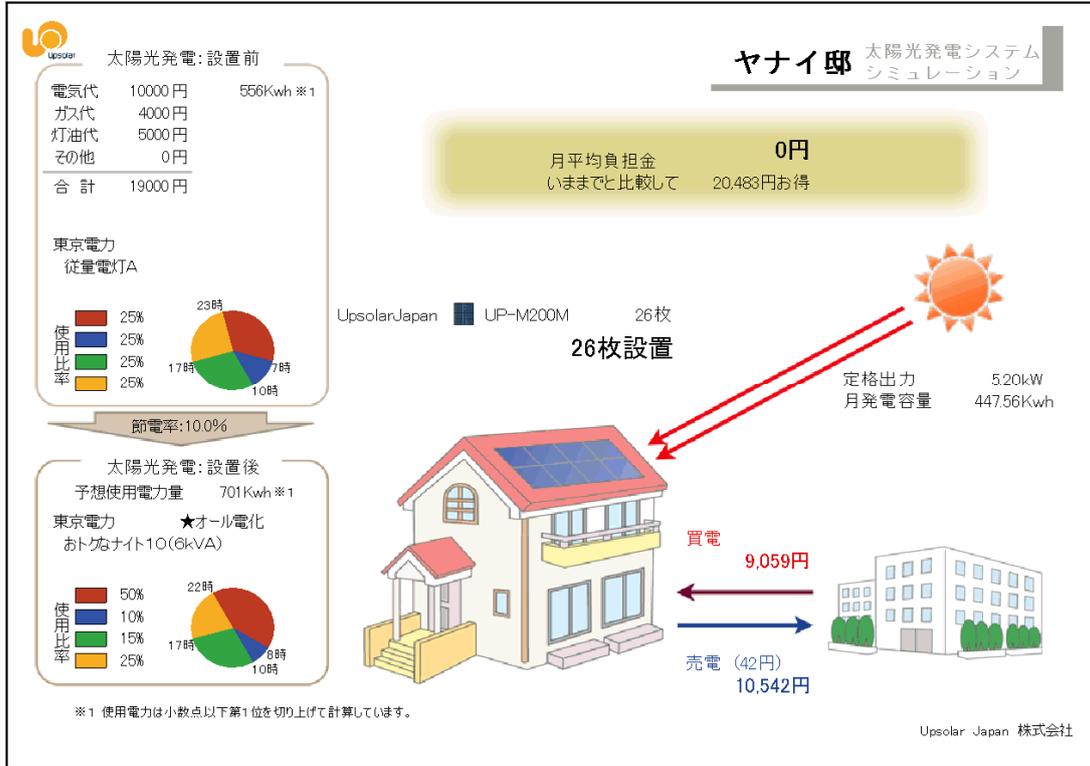
Upsolar Japan 株式会社

材料明細書(明細行1列)

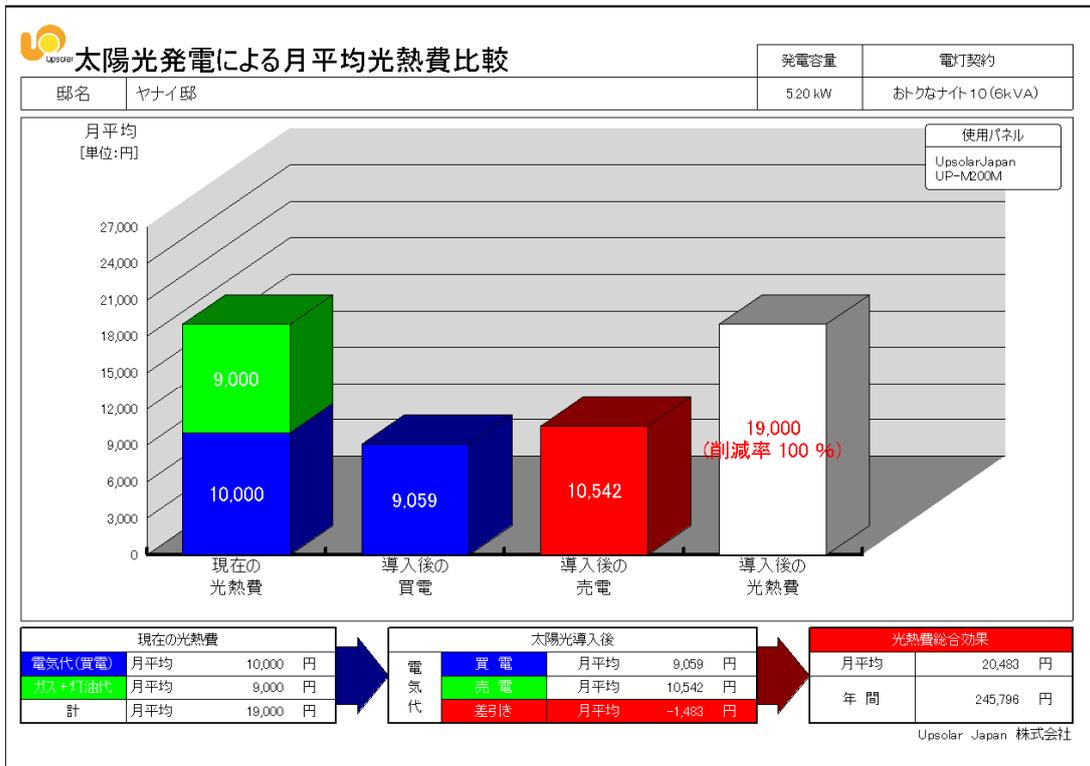
新築工事		材料明細書		2012年10月 4日	
物件番号	00010-00	積算日	2012年9月29日		
得意先	柳井工務店	住所			
工事名	ヤマイ邸 太陽光工事	工事場所	東京都港区愛宕2丁目5-1		
品名	Upsolar Japan 単結晶				定格出力 5.20kW
	屋根㎡	パネル㎡	互部㎡		
1階	135.9		135.9		
合計	136.0	33.2	136.0		
軒	袖(左)	袖(右)	本棟	下り棟	隣棟
42.7	4.8	9.3	6.9	16.9	
谷	算甲(左)	算甲(右)	刀根丸	袖丸	風切
					隅棟流
					口谷
					山折
					谷折
					延長棟
					25.7
コード	項目名	数量	単位		
UP-M200M	太陽光パネル UP-M200M	26	枚		
KP5EK	パワーコンディショナー(4MDC)	1	台		
KP-CMD-SET-WB05	計測モジュール	1	台		
KP-ST3-1	昇圧ユニット	2	台		
PV-HCV1-C03-550(20m set)	延長ケーブル(20m)	5	本		
PV235-040	レール4段 L=3402	10	本		
PV235-010	レール1段 L=897	2	本		
PV235-020	レール2段 L=1732	2	本		
PV235-030	レール3段 L=2567	2	本		
PTF538-035	アルミ50 3枚セット	14	セット		
PTF738-040	スリット五層用 簡加へ用端部蓋	12	セット		
PV501-021	軒先加へ用端部蓋フラケット H40 L119	4	セット		
PV301-260	部品セキS フラック軒先加へ有り 1段	2	セット		
PV301-270	部品セキS フラック軒先加へ有り 2段	2	セット		
PV301-280	部品セキS フラック軒先加へ有り 3段	2	セット		
PV301-310	部品セキS フラック軒先加へ有り 4段	10	セット		
PV301-362	互軒先加へ H40 (Y-1580)フラック	8	本		
PV735-050	簡加へ(Y-1580)フラック	26	本		
PTF738-151	PVケーブル 黒	5	本		
	工口キューブ 370L	1	台		
	防カキングヒーター	1	台		
	売電メーター	1.0	個		
	架台設置工事	1.0	式		
	太陽光パネル設置工事	136.0	㎡		
	電力会社申請手続き	1.0	式		

Upsolar Japan 株式会社

シミュレーション



比較グラフ



提案書

ヤナイ邸

東京電力 おトクなナイト10(6kVA)

エネルギー《創造生活》のご提案

導入検討シミュレーション



太陽光パネル枚数<単結晶>

UP-M200M	26 枚

発電容量

定格出力	5.20 kW
発電容量	448kwh/月

給湯タンク

給湯負荷	0.0kwh/月
タンク容量	0リットル
消費電力	0.0kw

IHクッキングヒーター

負荷	0.0kwh/月
----	----------

時間帯による電力使用割合

基本料金		買電
基本料金		1260.00
8:00	80kwまで	23.87
	200kwまで	50% 30.74
~ 22:00	200kw以上	32.48
	50% 9.48	
22:00 ~ 8:00	50%	9.48
売電		42.00

現在の光熱費

月平均消費電力量	556kwh
① 電気代	10,000円
② ガス代	4,000円
③ 灯油代	5,000円
④ その他	円
⑤ 光熱費合計	19,000円

提案プラン導入後の光熱費試算(予想電力 701 kwh)

買電	9,059円
売電(42円)	10,542円
⑥ 差引	-1,483円
⑦ 削減効果	⑤-⑥ 20,483円
⑧ 光熱費合計	-1,483円

※光熱費合計は、◎と同じになります。

機器見積金額

太陽光システム(税込)	2,625,000円
エコキュート(税込)	300,000円
IHクッキング(税込)	150,000円
国補助金	156,000円
県補助金	156,000円
市町村補助金	160,000円
その他	
支払い合計金額(税込)	2,153,000円

お支払いプラン例(支払い回数 180回)

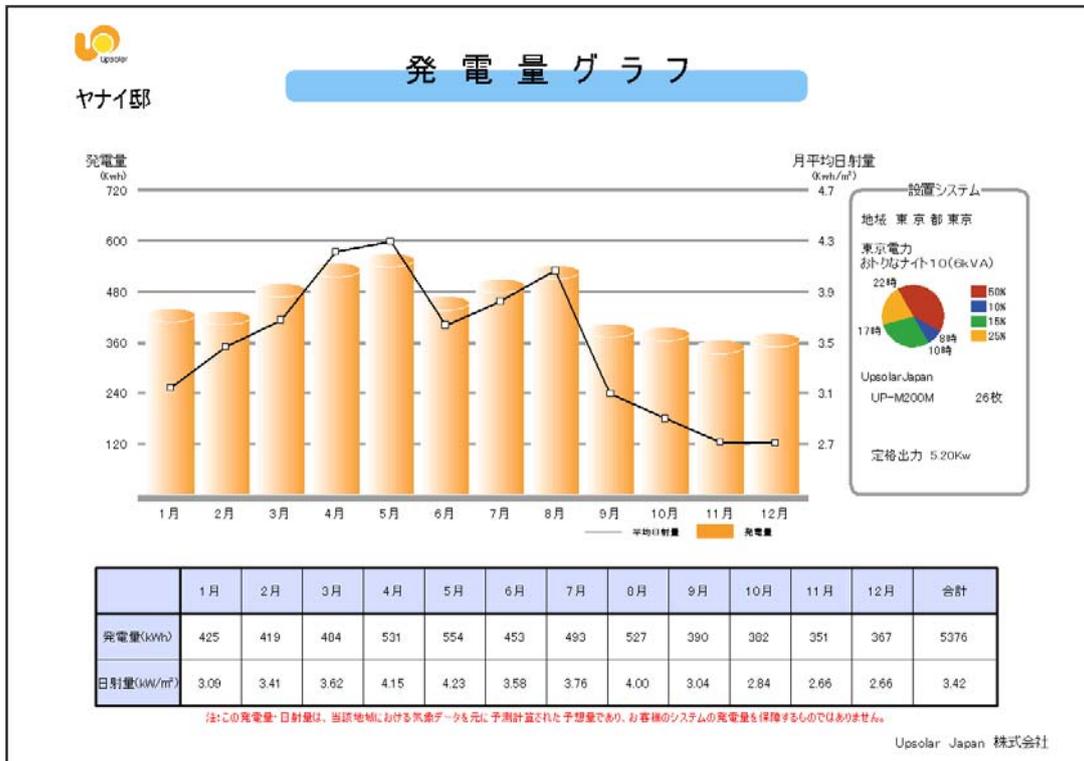
⑨ ローン支払例(金利2.50%)	月々7,600円
回収年数目安	9.7年
⑩ 実質負担金額	-12,883円

※実質負担金額は、◎-⑩になります。

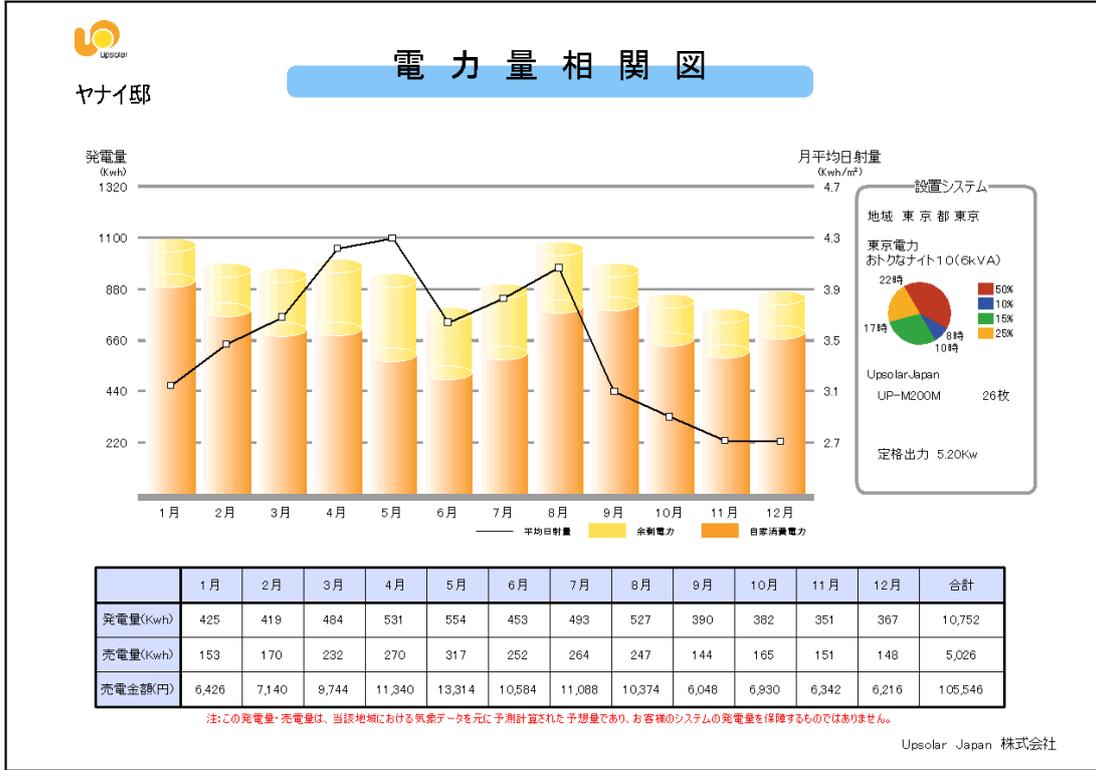
【ご注意】

Upsolar Japan 株式会社

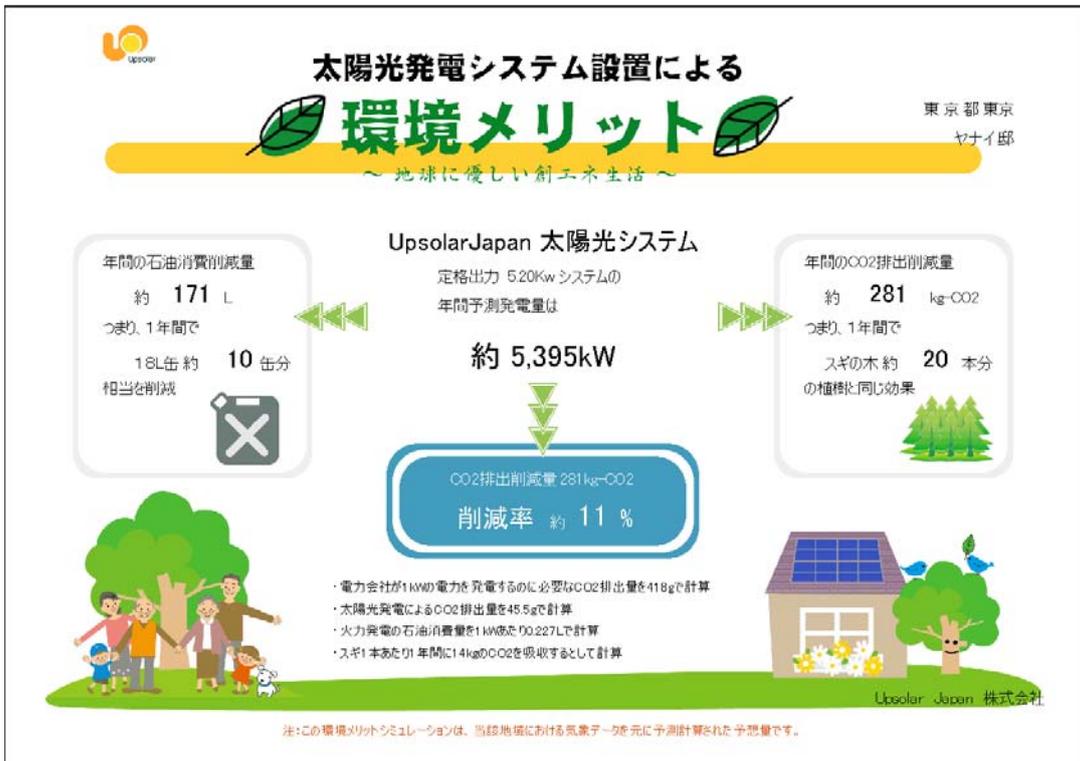
発電量グラフ



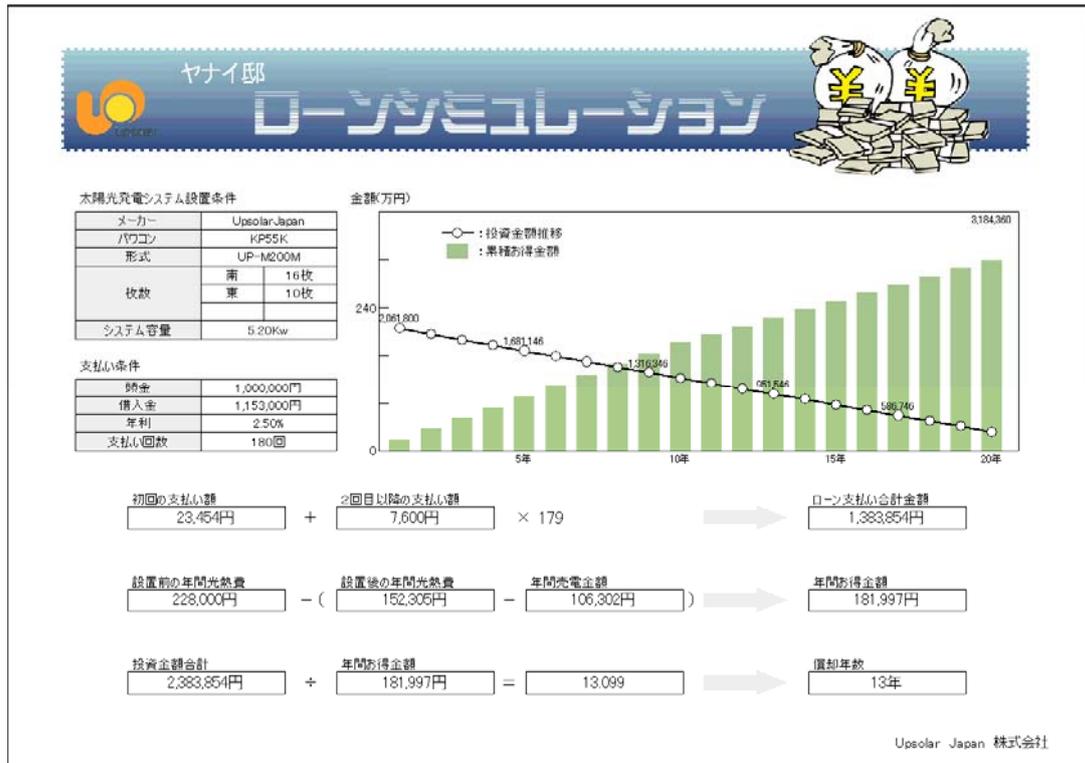
電力量相関図



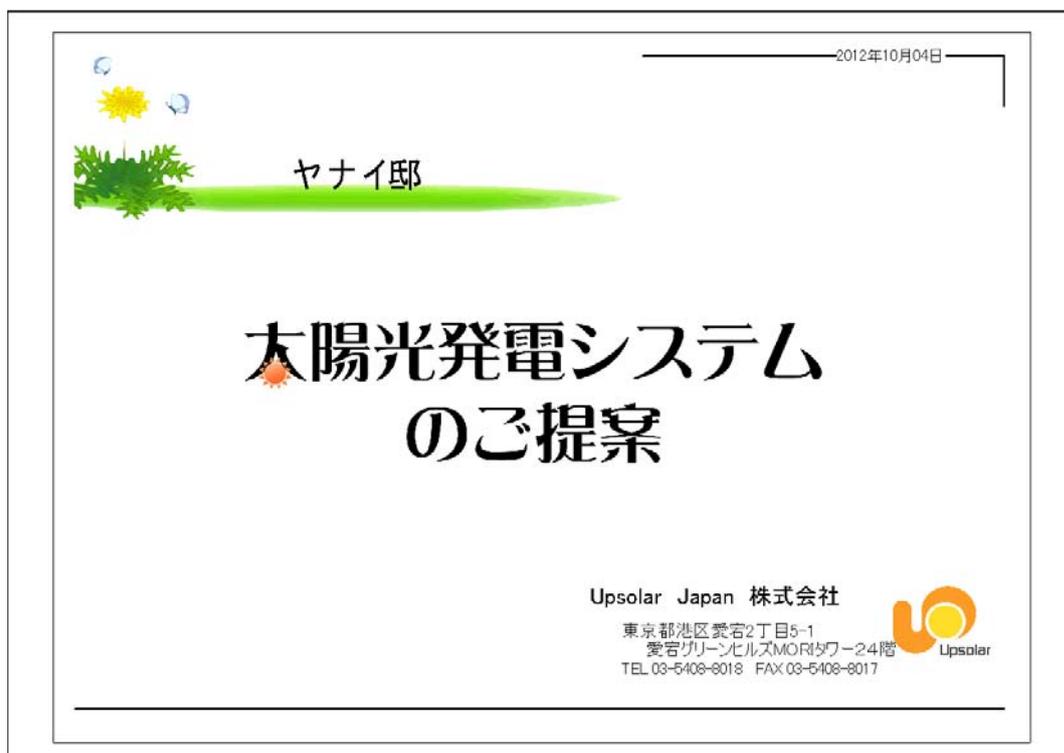
環境メリット



ローンシミュレーション



表紙



見積比較書

見積り比較書を選択すると物件一覧が表示されます。

比較したい物件にチェックを付け〔ok〕ボタンを押します。

印刷物件の選択

検索条件

工事名: _____ 物件番号: _____ ~ _____ クリア

得意先: -1 すべての得意先 クリア (E) 作成日: _____ ~ _____ クリア

(D) コード検索 (S) 名前検索

検索 (G)

OK キャンセル

物件一覧(L) すべて表示(A)

選	物件番号	作成日	工事名	得意先	パネル名	定格
<input type="checkbox"/>	00008-00	11/12/22				0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	00008-04	11/12/22	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		0.00
<input type="checkbox"/>	00008-03	11/12/22	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		0.00
<input type="checkbox"/>	00008-02	11/12/22	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		0.00
<input type="checkbox"/>	00008-01	11/12/22	田端様邸 太陽光工事	柳井工務店		0.00
<input checked="" type="checkbox"/>	00008-00	11/12/22	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		450
<input type="checkbox"/>	00004-01	11/12/12	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		4.00
<input type="checkbox"/>	00004-00	11/12/12	ヤナイ邸 太陽光工事	柳井工務店		4.00
<input type="checkbox"/>	00003-00	11/12/12	藍屋邸 太陽光工事	柳井工務店		1.25
<input type="checkbox"/>	00002-00	11/12/12	奥田邸 太陽光工事	柳井工務店		2.75
<input type="checkbox"/>	00001-00	11/12/12	山本邸 太陽光工事	柳井工務店		3.25



太陽光発電システム設置工事 見積一覧表

ヤナイ邸

メーカー	タイプ(型式)	発電電力量	見積金額(税込)	補助金 (上:国,下:横浜市) (補助金は除外)※	最終お客様価格	初回支払額	kW単価 (税別) (定価+モジュール)
		年間予想発電電力量	値引き後(Net)			毎月支払額	
UpsolarJapan	UP-M200M	4.600kW	2,069,500	249,900	1,554,000	15,537	425,000
		4721 kWh/年	2,069,500	285,600		11,200	
UpsolarJapan	UP-M200M	5.200kW	2,625,000	156,000	2,153,000	23,454	492,307
		5395 kWh/年	2,625,000	316,000		7,600	

※ 1kW当たり56.5万円以下は3万円/kW、4.7.5万円以下は3.5万円/kWの補助になります。

Upsolar Japan 株式会社

帳票のボタンを選択すると、帳票のプレビュー画面が表示されます。
プレビュー画面上部の各ボタンについての説明を行います。

印刷：帳票の印刷を行います。

次ページ：次のページに移動します。

前ページ：前のページに移動します。

2ページ：画面に2ページずつ表示するようにします。

拡大：帳票を拡大します。

縮小：帳票を縮小します。

閉じる：印刷プレビューを終了します。

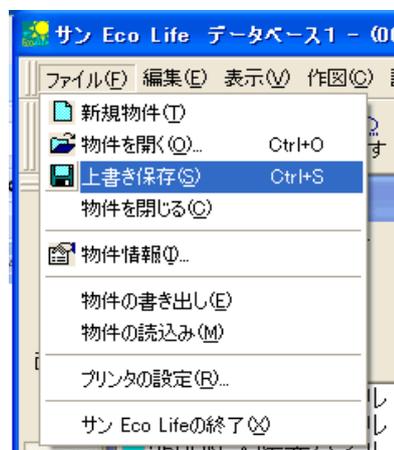
以上で、帳票印刷が完了しました。

(7) 物件保存

物件の保存は、「ファイル」メニューの「上書き保存」を選択するか、「物件の保存」アイコン



をクリックします。



作図途中などには、上記の手順にて保存しておくことをお勧めします。

(8) 過去の物件を開く

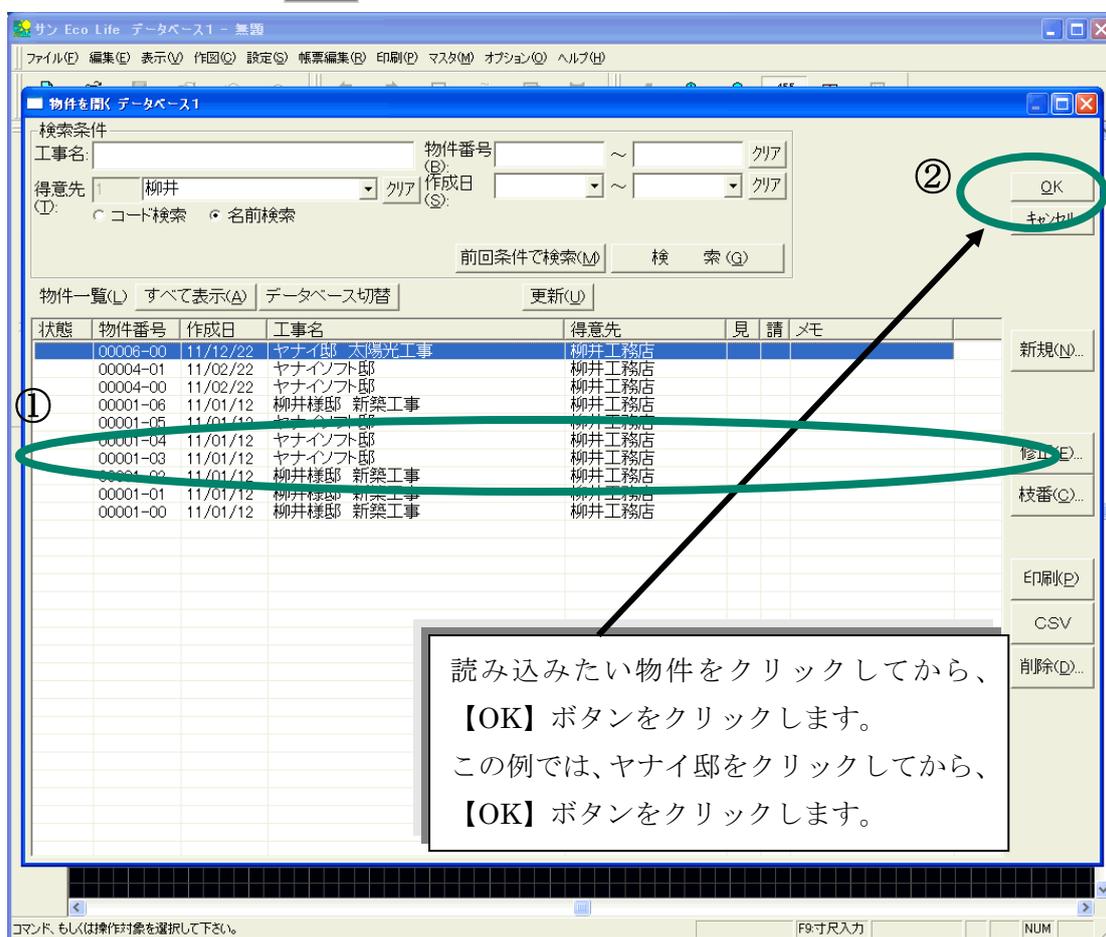
過去に作成した物件を呼び出す場合に使用します。

ファイルメニューの場合

- ・「ファイル」メニューの「物件を開く」を選択します

ツールアイコンの場合

- ・「開く」アイコン  をクリックします。



(9) 物件の書き出し

作成した物件を他のサン Eco Life に書き出す時に使用します。

【物件の書き出し(E)】をクリックすると、「太陽光シミュレーションファイルの保存」画面が表示されます。必要に応じてファイル名を設定し【保存(S)】をクリックします。



デスクトップにファイルが保存されます。

保存したファイルは、リムーバブルメディア等を利用して別のパソコンへコピーして「物件の読込」を実行します。

(10) 物件の読込

サン Eco Life(Upsolar Japan)で書出した物件情報を読み込む時に使用します。

【ファイル】から【物件の読込み(M)】をクリックすると、「サン Eco Life ファイルの読込み」画面が表示されます。ファイルを選択し【開く(O)】をクリックすると物件データを読み込みます。



読み込まれた物件は新規番号として物件一覧に表示されますので「開く」ボタンを押し図面を確認します。

サンプル図面

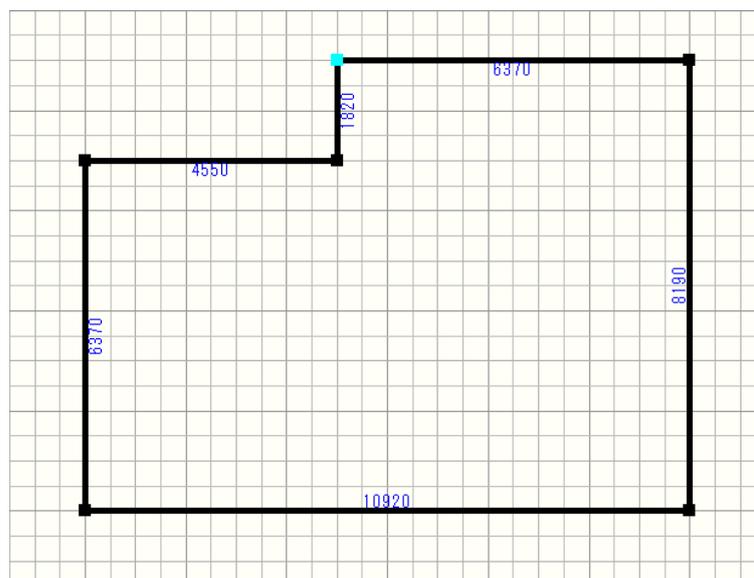
作図機能解説をご利用の際は、この図面を使用して行います。

軒の出：700

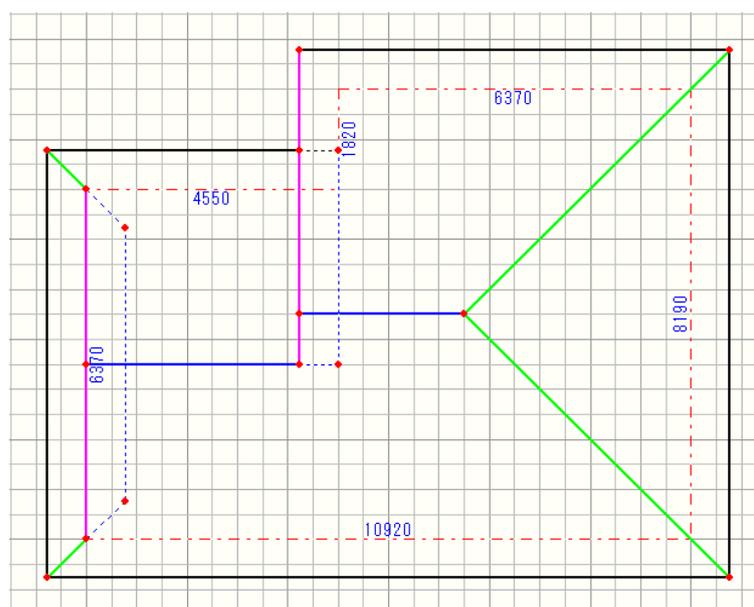
袖の出：700

屋根勾配：6.0寸

1階平面図

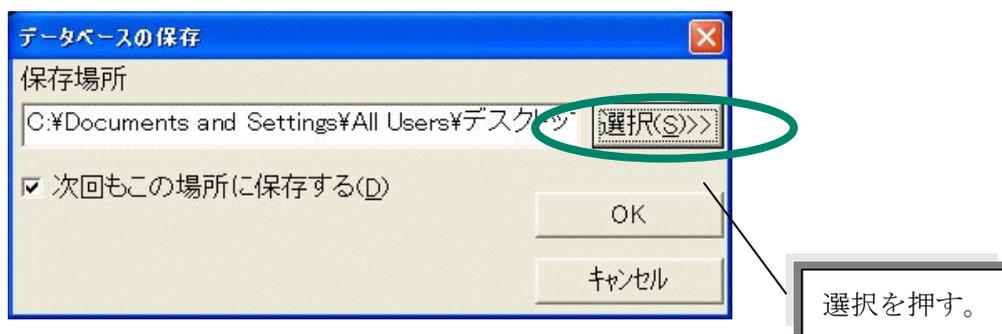


1階屋根伏図

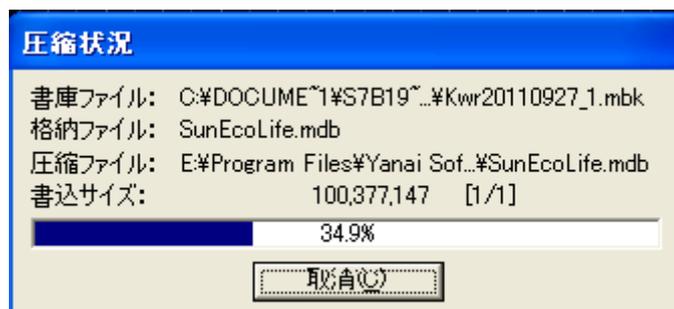


マスタ・データの保存

1. システムを起動してください。
2. 「オプション (O)」 を左クリックしデータベースから「保存 (B)」を選択します
3. データベースの保存画面が表示されます。



4. フォルダの参照よりデスクトップを選択し「OK」ボタンを押して下さい。
5. データベースの保存画面になりますのでここで「OK」ボタンを押して下さい。
6. 圧縮状況の画面が表示されコピーが始まります。



7. データベースの保存に成功しました。「OK」を押してください。
8. システムを終了させてください。

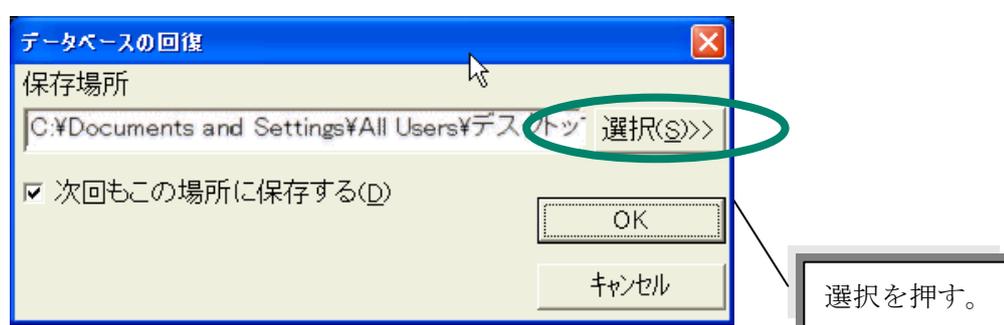
9. 画面上に  のアイコンが作成されます。

これを外部のメディアにコピーしてください。

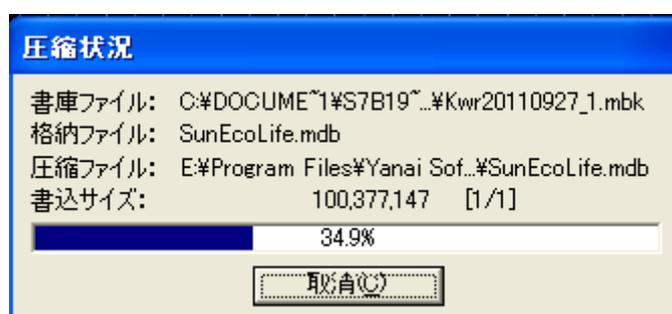
CD-ROM、MO、USBメモリーキー 等をご使用ください

マスタ・データの回復

1. バックアップを取っていたマスタデータをデスクトップにコピーしてください。
2. 「オプション (O)」 を左クリックしデータベースから「回復 (R)」を選択します。
3. データベースの回復画面が表示されます。



4. フォルダの参照より ディスクトップ を選択し「OK」ボタンを押して下さい。
5. データベースの保存画面になりますのでここで「OK」ボタンを押して下さい。
※バックアップしたデータが複数ある場合は一覧が表示されますので、その中から選択してください。
6. 解凍状況の画面が表示され、マスタデータの回復作業が始まります。
回復作業には多少時間がかかります。



7. データベースの回復に成功しました。「OK」を押してください。



子供たちの世代まで安心の25年出力保証！世界が評価した太陽光発電システム

Upsolar Japan 株式会社

〒105-6224 東京都港区愛宕2丁目5-1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー24階
TEL (03)-5408-8018 Fax (03)-5408-8017
ホームページ <http://www.upsolar.co.jp/>

開発元 **ヤナイ・ソフトウェア**

〒742-0033 山口県柳井市新庄4-2-3番地1
TEL (0820) 23-0003 FAX (0820) 23-5300
ホームページ <http://www.yanaisoft.co.jp/>
サポートメール support@yanaisoft.co.jp